

2019 年度  
Academic Year 2019/2020

授業内容概略  
**Course Summaries**

東京大学公共政策大学院  
Graduate School of Public Policy  
The University of Tokyo



## はじめに

現在の日本の変化は著しく、産業構造の転換、少子高齢化、国際化の進展等これまでに経験したことのない課題に直面しています。これらの課題に取り組んでいくためには、そうした課題の性質をよく見極め、新たな発想によって政策を形成していくことが必要であり、そのために、実務の世界で通用する政策の立案・実施・評価に関する高い専門能力をもった人材が求められています。

東京大学公共政策大学院（大学院公共政策学教育部）は、このような政策実務家の養成を目標として平成16（2004）年度に発足した新しい大学院です。この大学院では、特に国際的視野のもとで現代社会の直面する課題を発見し、課題の解決に必要な政策と制度を構想する力をもち、またコミュニケーションと合意形成の能力にも秀でた、国家機関・地方自治体の公務員、国際組織やNGOの職員、シンクタンクに勤めるエコノミストや政策アナリストなど、時代の要請に応える政策実務家を育成することをめざしています。

この大学院では、政策の実務家を志す学生諸君が、法学・政治学・経済学・国際関係論を横断した幅広い知識を獲得し、かつ実務で求められるスキルを身につけることができるように、教育科目にも、また教育内容や方法にも、これまでの大学院教育には見られなかった、さまざまな新しい発想や工夫を取り入れています。

この「授業内容概略」は、そうした学生諸君が、効率的かつ体系的に学習を行うために必要な情報を提供する冊子です。これを参考にして自らの学習計画を立ててください。

公共政策大学院



# 目 次

授業等日程及び授業時間	1
修了要件について	2
履修登録の手続きについて	12
教務関係の諸手続きについて	14
公共政策大学院の施設利用について	18
連絡先一覧	20
授業科目表	21
授業内容概略	57

※授業時間表は、公共政策大学院の Web サイトで確認すること。  
各授業科目のシラバス詳細は、UTAS で確認すること。  
休講、補講、教室変更や事務手続き等、**重要な伝達事項は原則として Web 在校生掲示板により周知するので、常に確認すること**  
(「教務関係の諸手続きについて」参照)。

在校生掲示板

- ◆ <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/student-bulletin-board/>
- ◆ 国際学術総合研究棟 13 階掲示場



## 2019年度授業等日程及び授業時間

### 授業期間

S1S2 科目	4月 5日 (金)	～	7月 22日 (月)
S1 科目	4月 5日 (金)	～	6月 4日 (火)
S2 科目	6月 5日 (水)	～	7月 29日 (月)

4月 12日 (金)	創立記念日のため休講
4月 29日 (月)～5月 6日 (月)	祝日のため休講
5月 17日 (金) 午後～19日 (日)	五月祭のため休講
6月 4日 (火)	金曜日の授業を行う
7月 12日 (金) 午前	S1S2 科目は休講 (午後は通常授業) ※S2 科目は終日通常授業
7月 15日 (月)	祝日のため休講
7月 17日 (水)～19日 (金)	S1S2 科目は休講 ※S2 科目は終日通常授業
7月 24日 (水)～26日 (金)	S2 科目は休講 (S1S2 科目は授業期間外)

A1A2 科目	9月 24日 (火)	～	1月 8日 (水)
A1 科目	9月 24日 (火)	～	11月 15日 (金)
A2 科目	11月 18日 (月)	～	1月 15日 (水)

10月 14日 (月)	祝日のため休講
10月 22日 (火)	祝日のため休講
11月 4日 (月)	振替休日のため休講
11月 7日 (木)	月曜日の授業を行う
11月 13日 (水)	月曜日の授業を行う
12月 24日 (火)	A1A2 科目は休講 ※A2 科目は金曜日の授業を行う
12月 25日 (水)	A1A2 科目は休講 ※A2 科目は月曜日の授業を行う
12月 27日 (金)	A1A2 科目は休講 ※A2 科目は終日通常授業
12月 28日 (土)～1月 6日 (月)	休講
1月 10日 (金)	休講 ※A1A2 科目は授業期間外
1月 13日 (月)	祝日のため休講 ※A1A2 科目は授業期間外

※ 試験は原則として、授業の最終日に行う。

※ 他学部・他研究科との合併科目については授業期間や試験日の取り扱いが異なる場合があるので、授業担当教員の指示に従うこと。

### 授業時間

1時限	8 : 30～10 : 15	4時限	14 : 55～16 : 40
2時限	10 : 25～12 : 10	5時限	16 : 50～18 : 35
3時限	13 : 00～14 : 45	6時限	18 : 45～20 : 30

## 修了要件について

公共政策大学院を修了するためには、**2年以上在学し、46単位以上**修得しなければならない。また、コース別、又は、ポリシーストリーム別に定められた授業科目及び単位数を修得しなければならない。

他の研究科等の授業科目、又は学部の授業科目は、合わせて8単位まで、公共政策大学院の修了に必要な単位数に算入することができる。

1年間に38単位を超えて履修科目を登録することができない。リサーチペーパー、研究論文、インターンシップの登録単位数もこれに含まれる。

他の大学院における授業科目の履修、入学前の既修単位等の認定などについては、公共政策学教育部規則を参照すること。

なお、特に指定された科目を除き、既に単位を修得した授業科目と同一科目名の授業科目を再度履修することはできない。

### 〈コース別修了要件〉

- ※ 1つの科目により2つ以上の修了要件として意味を持つ科目は、それぞれの修了要件にカウントされる。
- ※ 修了要件に列挙されている科目が授業科目表にない場合は、今年度は開講しないので注意すること。

### ○ 法政策コース

必要単位数	修了要件
各4単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4単位、全部で12単位以上修得していること
8単位	事例研究を8単位以上修得していること
16単位	基幹科目、展開科目の法律分野に関する授業科目を16単位以上修得していること
4単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること

### ○ 公共管理コース

必要単位数	修了要件
各4単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4単位、全部で12単位以上修得していること
8単位	事例研究を8単位以上修得していること
16単位	基幹科目、展開科目の政治分野に関する授業科目を16単位以上修得していること
4単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること



○ 国際公共政策コース

必要単位数	修了要件
各 4 単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4 単位、全部で 12 単位以上修得していること
8 単位	事例研究を 8 単位以上修得していること
16 単位	<p>基幹科目、展開科目の中で国際公共政策に関する以下の授業科目から 16 単位以上修得していること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際組織と法</li> <li>・ 国際経済法</li> <li>・ 国際人権法</li> <li>・ グローバリゼーションと法</li> <li>・ 国際行政論</li> <li>・ 国際政治経済 I</li> <li>・ 国際政治経済 II</li> <li>・ International Conflict Study</li> <li>・ 開発研究</li> <li>・ Modern Japanese Diplomacy</li> <li>・ Governance and Development</li> <li>・ Introduction to International Politics</li> <li>・ Security Studies</li> <li>・ International Trade Policy</li> <li>・ International Financial Policy</li> <li>・ Development Economics: Microeconomic Approach</li> <li>・ Development Economics: Macroeconomic Approach</li> <li>・ 国際租税法</li> <li>・ 国際環境・エネルギー法</li> <li>・ 国際空間秩序と法</li> <li>・ ヨーロッパ法</li> <li>・ 比較法政策 1</li> <li>・ 比較法政策 2</li> <li>・ 国際法判例研究</li> <li>・ ヨーロッパ統合と法 1</li> <li>・ ヨーロッパ統合と法 2</li> <li>・ ヨーロッパ統合と法 3</li> <li>・ ヨーロッパ統合と法 4</li> <li>・ 国境でメルトダウンする人権保障？-執行共助の刑事と税務</li> <li>・ Theory and Practice of International Human Rights Law</li> <li>・ 日本と国際経済法</li> <li>・ 転換期の WTO</li> <li>・ 国際経済法と「開発」を考える</li> <li>・ 広域 FTA の研究</li> <li>・ アジアビジネスと企業法務</li> <li>・ アジアビジネス法 (旧科目名：アジアビジネス法と企業法務)</li> </ul>

- ・ 国際ビジネス法
- ・ The Negotiations in the WTO
- ・ Law and Society in East Asia
- ・ 国際法の基本問題
- ・ 国際法実務演習
- ・ 国際法演習
- ・ 国際海洋法制度概論
- ・ 比較政策過程論
- ・ 国際政治理論
- ・ 対外政策決定論
- ・ 地域統合論
- ・ 地域政治A
- ・ 地域政治B
- ・ 地域政治C
- ・ Area Politics C
- ・ 国際政治経済の諸問題
- ・ 国連安保理と紛争解決
- ・ 国連安保理と紛争解決 I
- ・ 国連安保理と紛争解決 II
- ・ 西欧比較政治論
- ・ Norms on the Environment: Creation and Compliance
- ・ The Politics and Diplomacy of Contemporary China
- ・ Contemporary Chinese Politics
- ・ Contemporary Chinese Diplomacy
- ・ International Relations and Political Regimes (旧科目名 : Domestic Foundations of International Political Economy、Domestic Foundations of International Policies / International Political Economy)
- ・ 発展途上国の政治
- ・ 先進国の比較政治
- ・ Cross-Strait Relations
- ・ International Politics in East Asia
- ・ 地球規模課題と日本
- ・ Politics of World Trade
- ・ ラテンアメリカの人権問題
- ・ 現代ラテンアメリカ政治の研究
- ・ 体制変動の理論ーラテンアメリカの経験から考える
- ・ ラテンアメリカの政党システム
- ・ 独裁政治の研究
- ・ 紛争と暴力の理論
- ・ Climate Change Politics and Policy
- ・ Human Security: Asian Perspectives
- ・ Comparative Political Institutions in Asia
- ・ 日本外交 : 実践と課題
- ・ Maritime Security in and beyond Asia
- ・ Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia

(旧科目名 : Boom and Bust: the Political Economy of Development in East Asia)

- Global Governance
- 経済と安全保障の交錯
- Asian Economic Development and Integration
- Economic Development in Korea and other Asian countries
- Energy Security
- Field Seminar in International Relations
- Introduction to International Trade
- プライベート・スタンダードの研究
- 法の支配と国際投資法
- 国際商事仲裁
- 第1次大戦中の総力戦体制の比較
- 国際政治特殊研究
- Conflict Prevention and Post-Conflict Politics
- Insurgency and Counterinsurgency
- Transformation of Warfare and Technology
- ラテンアメリカの移行期正義—真実・正義・和解・記憶
- ジェノサイドの心理—普通の人々はなぜ大量虐殺を行うのか
- Advanced Topics in International Trade
- Poverty, Inequality and Development
- Global Financial Regulation
- Economic Crisis
- Public International Law and Domestic Implementation
- Ethics and International Relations
- ユーラシアにおける宗教政治—正教会とイスラーム (旧科目名 : コーカサスおよび中央アジア史、ロシア軍の歴史 : モスクワ国家からセルジュコフ改革まで)
- クリミア後のロシアと周辺諸国—政治体制論を中心に (旧科目名 : 旧ソ連圏の権威主義回帰と政治制度、連邦制と紛争緩和)
- アメリカの環境・エネルギー政策と政治過程
- アメリカ政治におけるメディアの役割
- New Dimensions of Security in the Risk Age
- U.S. Diplomacy toward Asia
- 比較政治学・概論
- アメリカ民事訴訟法判例研究 (旧科目名 : 英米法演習)
- アメリカの経済犯罪
- 国際投資法研究
- 国際社会における法の支配—国際刑事裁判の現場から
- 比較政治学・政党と制度
- Asia-Pacific Security
- ラテンアメリカ発の比較政治学
- 虐殺とジェノサイドのメカニズム
- 現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー
- Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy
- 紛争、独裁後の移行期正義—真実・正義・和解・記憶

	<p>※ この要件に該当する科目が追加されました。</p> <p>2018年度以前の入学者が追加された科目の単位を修得した場合、この要件の単位として認められます。また、それらの科目を2018年度までに履修し、単位を修得している場合でも、同様に認められます。</p>
4単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること

○ 経済政策コース (2014-2015年度入学者)

必要単位数	修了要件
各4単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4単位、全部で12単位以上修得していること
8単位	事例研究を8単位以上修得していること このうち4単位以上を教育部が指定する経済系の事例研究(授業科目表の備考欄に★印のある科目)のうちから修得していること
16単位	基幹科目、展開科目の経済分野に関する授業科目を16単位以上修得していること
17~20単位	<p>修了時までに修得した単位に、以下の授業科目を含んでいること</p> <p>(1) Microeconomics Practice Session for Microeconomics ただし、本学経済学部において既に上級マイクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のマイクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級マイクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のマイクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(2) Macroeconomics Practice Session for Macroeconomics ただし、本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(3) Econometrics for Public Policy Practice Session for Econometrics for Public Policy ただし、本教育部入学前に既に(a)~(f)のいずれかの科目の単位を修得した者及び本教育部入学後に(e)~(g)のいずれかの科目の単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(a) 本学経済学部の 計量経済学 (公共政策学教育部との合併科目) (b) 本学経済学部の 上級応用計量経済学 (公共政策学教育部との合併科目) (c) 本学経済学部の 上級計量経済学 (d) 本学経済学部の 上級計量経済学Ⅰ、上級計量経済学Ⅱ (e) 本学経済学研究科の 基礎計量経済 (f) 本学経済学研究科の 計量経済学Ⅰ、計量経済学Ⅱ (g) 本教育部の Econometrics、Practice Session for Econometrics</p> <p>(4) 公共政策の経済評価</p>

公共政策の経済評価実習	
4 単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を 4 単位以上含んでいること
<p>※ 以下の科目を履修することはできない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミクロ経済学基礎（旧科目名：経済学基礎）</li> <li>・ Principles of Microeconomics</li> <li>・ Principles of Macroeconomics（旧科目名：経済学基礎）</li> <li>・ Microeconomics for Public Policy</li> <li>・ Practice Session for Microeconomics for Public Policy</li> <li>・ Macroeconomics for Public Policy</li> <li>・ Practice Session for Macroeconomics for Public Policy</li> </ul>	

○ 経済政策コース（2016-2018 年度入学者）

必要単位数	修了要件
各 4 単位	基幹科目から法律分野、政治分野、経済分野の授業科目を各々4 単位、全部で 12 単位以上修得していること
8 単位	事例研究を 8 単位以上修得していること このうち 4 単位以上を教育部が指定する経済系の事例研究（授業科目表の備考欄に★印のある科目）のうちから修得していること
16 単位	基幹科目、展開科目の経済分野に関する授業科目を 16 単位以上修得していること
12～15 単位	<p>修了時までに修得した単位に、以下の授業科目を含んでいること</p> <p>(1) Microeconomics Practice Session for Microeconomics ただし、本学経済学部において既に上級ミクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のミクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級ミクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のミクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(2) Macroeconomics Practice Session for Macroeconomics ただし、本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(3) Econometrics for Public Policy Practice Session for Econometrics for Public Policy ただし、本教育部入学前に既に(a)～(f)のいずれかの科目の単位を修得した者及び本教育部入学後に(f)の単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(a) 本学経済学部の 計量経済学（公共政策学教育部との合併科目） (b) 本学経済学部の 上級応用計量経済学（公共政策学教育部との合併科目） (c) 本学経済学部の 上級計量経済学 (d) 本学経済学部の 上級計量経済学Ⅰ、上級計量経済学Ⅱ (e) 本学経済学研究科の 基礎計量経済</p>

	(f) 本学経済学研究科の 計量経済学Ⅰ、計量経済学Ⅱ
4 単位	経済分野の上記の必修科目及び Principles of Microeconomics、Principles of Macroeconomics、統計分析手法、Statistical Methods 以外の基幹科目から、さらに 4 単位以上を修得していること
4 単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を 4 単位以上含んでいること
<p>※ 以下の科目を履修することはできない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Principles of Microeconomics</li> <li>Principles of Macroeconomics (旧科目名：経済学基礎)</li> <li>Microeconomics for Public Policy</li> <li>Practice Session for Microeconomics for Public Policy</li> <li>Macroeconomics for Public Policy</li> <li>Practice Session for Macroeconomics for Public Policy</li> </ul>	

○ 国際プログラム (MPP/IP) コース (2017 年 3 月 31 日までに入学した者)

必要単位数	修了要件
6 単位	<p>政治分野・法律分野の以下の授業科目から 6 単位以上修得していること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Law and Public Policy</li> <li>International Conflict Study</li> <li>Science, Technology and Public Policy</li> <li>Modern Japanese Diplomacy</li> <li>Policy Process and Negotiation</li> <li>Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process</li> <li>Governance and Development</li> <li>Japanese Politics</li> <li>Politics and Public Policy</li> <li>Introduction to International Politics</li> <li>Security Studies</li> <li>Public International Law and Domestic Implementation</li> <li>Japanese Government</li> <li>Japanese Government and Politics</li> <li>International Politics in East Asia</li> <li>Introduction to Public Management</li> <li>Human Security: Asian Perspectives</li> <li>Field Seminar in International Relations</li> <li>Conflict Prevention and Post-Conflict Politics</li> <li>Insurgency and Counterinsurgency</li> <li>Transformation of Warfare and Technology</li> <li>Asia-Pacific Security</li> <li>Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy</li> </ul> <p>※ この要件に該当する科目が追加されました。</p>

	2018年度以前の入学者が追加された科目の単位を修得した場合、この要件の単位として認められます。また、それらの科目を2018年度までに履修し、単位を修得している場合でも、同様に認められます。
15 単位	<p>経済分野の授業科目群(1)から(3)までのすべてを修得していること</p> <p>(1) A 又は B の授業科目を修得する</p> <p>A. Microeconomics for Public Policy Practice Session for Microeconomics for Public Policy</p> <p>B. Microeconomics Practice Session for Microeconomics</p> <p>ただし、本学経済学部において既に上級マイクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のマイクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級マイクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のマイクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(2) A 又は B の授業科目を修得する</p> <p>A. Macroeconomics for Public Policy Practice Session for Macroeconomics for Public Policy</p> <p>B. Macroeconomics Practice Session for Macroeconomics</p> <p>ただし、本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅰの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅰの単位を修得し、かつ本学経済学部において既に上級マクロ経済学Ⅱの単位を修得又は本学経済学研究科のマクロ経済学Ⅱの単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(3) A 又は B の授業科目を修得する</p> <p>A. Statistical Methods Practice Session for Statistical Methods</p> <p>B. Econometrics for Public policy Practice Session for Econometrics for Public policy</p> <p>ただし、本教育部入学前に既に(a)～(f)のいずれかの科目の単位を修得した者及び本教育部入学後に(f)～(g)のいずれかの科目の単位を修得した者は、この限りでない</p> <p>(a) 本学経済学部の 計量経済学（公共政策学教育部との合併科目）</p> <p>(b) 本学経済学部の 上級応用計量経済学（公共政策学教育部との合併科目）</p> <p>(c) 本学経済学部の 上級計量経済学</p> <p>(d) 本学経済学部の 上級計量経済学Ⅰ、上級計量経済学Ⅱ</p> <p>(e) 本学経済学研究科の 基礎計量経済</p> <p>(f) 本学経済学研究科の 計量経済学Ⅰ、計量経済学Ⅱ</p> <p>(g) 本教育部の Applied Econometrics for Public Policy、Practice Session for Applied Econometrics for Public Policy 又は Econometrics、Practice Session for Econometrics</p>
8 単位	事例研究を 8 単位以上修得していること
32 単位	修了時まで修得した単位に、英語で開講された授業科目を 32 単位以上含んでいること
4 単位	修了時まで修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を 4 単位以上含ん

	でいること
--	-------

○ 国際プログラム (MPP/IP) コース (2017年4月1日または、2017年4月1日以降に入学した者)

※英語版 (p. 38) を参照のこと

○ キャンパスアジア (MPP/CAP) コース (2015年度-2016年度入学者)

必要単位数	修了要件
8 単位	<p>政治分野・法律分野の以下の授業科目から 8 単位以上修得していること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Law and Public Policy</li> <li>・ International Conflict Study</li> <li>・ Science, Technology and Public Policy</li> <li>・ Modern Japanese Diplomacy</li> <li>・ Policy Process and Negotiation</li> <li>・ Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process</li> <li>・ Governance and Development</li> <li>・ Japanese Politics</li> <li>・ Politics and Public Policy</li> <li>・ Introduction to International Politics</li> <li>・ Security Studies</li> <li>・ Japanese Government</li> <li>・ Japanese Government and Politics</li> <li>・ Public International Law and Domestic Implementation</li> <li>・ The Politics and Diplomacy of Contemporary China</li> <li>・ International Politics in East Asia</li> <li>・ Introduction to Public Management</li> <li>・ Human Security: Asian Perspectives</li> <li>・ Field Seminar in International Relations</li> <li>・ Conflict Prevention and Post-Conflict Politics</li> <li>・ Insurgency and Counterinsurgency</li> <li>・ Transformation of Warfare and Technology</li> <li>・ Comparative Political Parties and Elections</li> <li>・ Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia</li> <li>・ International Relations and Political Regimes</li> <li>・ Contemporary Chinese Politics</li> <li>・ Contemporary Chinese Diplomacy</li> <li>・ Global Governance</li> <li>・ New Dimensions of Security in the Risk Age</li> <li>・ Transformation of Warfare and Technology</li> <li>・ U.S. Diplomacy toward Asia</li> <li>・ Asia-Pacific Security</li> <li>・ Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy</li> </ul> <p>※ この要件に該当する科目が追加されました。</p>



	2018年度以前の入学者が追加された科目の単位を修得した場合、この要件の単位として認められます。また、それらの科目を2018年度までに履修し、単位を修得している場合でも、同様に認められます。
10単位	<p>経済分野の授業科目群(1)から(3)までのいずれか2以上を修得していること</p> <p>(1) A又はBの授業科目を修得する</p> <p>A. Microeconomics for Public Policy Practice Session for Microeconomics for Public Policy</p> <p>B. Microeconomics Practice Session for Microeconomics</p> <p>(2) A又はBの授業科目を修得する</p> <p>A. Macroeconomics for Public Policy Practice Session for Macroeconomics for Public Policy</p> <p>B. Macroeconomics Practice Session for Macroeconomics</p> <p>(3) A又はBの授業科目を修得する</p> <p>A. Statistical Methods Practice Session for Statistical Methods</p> <p>B. Econometrics for Public policy Practice Session for Econometrics for Public policy</p> <p>ただし、2015年度まで開講の Applied Econometrics for Public Policy、Practice Session for Applied Econometrics for Public Policy 又は Econometrics、Practice Session for Econometrics の単位を修得した者は、この限りでない</p>
8単位	事例研究を8単位以上修得していること
28単位	修了時までに修得した単位に、英語で開講された授業科目を28単位以上含んでいること
4単位	修了時までに修得した単位に、実践科目として認定された授業科目を4単位以上含んでいること
12単位	北京大学及びソウル大学校にて修得した授業科目を12単位以上含んでいること

## 履修登録の手続きについて

履修登録は「UTAS」から行うこと。UTASにログインするためには、入学ガイダンス時に配付された「UTokyo Account パスワード通知書」に記載されたユーザー名・パスワードが必要となる。

### 履修登録期間

- (1) 以下の期間に、各自 PC 等により UTAS にログインし、履修科目を登録すること。集中講義も下記の期間に登録すること。

S1、S1S2、通年科目	4月12日(金)～	4月18日(木)
S2科目	6月12日(水)～	6月18日(火)
A1、A1A2科目	10月1日(火)～	10月7日(月)
A2、W科目	11月25日(月)～	11月29日(金)

[UTAS URL]

<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do>

- (2) 「リサーチペーパー」「研究論文」「インターンシップ」の履修登録については、指導教員の下承が必要であるため、公共政策大学院係で履修登録を行う。(UTASによる各自での履修登録は不要)  
「リサーチペーパー」及び「研究論文」の履修登録方法、履修登録期間、作成要領、日程等詳細については、掲示にて通知する。  
なお、「インターンシップ」の申請は随時受け付ける。申請手続き等詳細については、掲示にて通知する。
- (3) UTAS で登録できない科目がある場合には、各自、シラバスや当該科目を開講している各研究科等の事務室にて履修制限に問題がないことを事前に確認の上、期間内に公共政策大学院係まで申し出ること。履修登録期間を過ぎてからの申し出は認めない。

### 履修登録撤回期間

上記履修登録期間で履修登録した科目のうち、履修を撤回したい科目は、この期間内に UTAS から履修登録を削除すること。なお、この期間に履修登録科目の「変更」及び「追加」は認められない。また、この期間を過ぎてからの撤回は認めない。

S1、S1S2、通年科目	4月22日(月)～	4月25日(木)
S2科目	6月24日(月)～	6月27日(木)
A1、A1A2科目	10月14日(月)～	10月17日(木)
A2、W科目	12月2日(月)～	12月5日(木)

### ※ 集中講義について

集中講義の履修登録撤回は上記「履修登録撤回期間」によらず、初回の授業が実施された日まで認める。履修登録の撤回を希望する場合は、初回の授業が実施された日中に、公共政策大学院係へメールにて履修登録撤回を申し出ること。翌日以降の撤回は認めない。なお、授業担当教員から履修登録撤回についてシラバス等で別途制限がされている場合は、その指示を優先する。また、他学部・他研究科科目の場合、開講学部・研究科の指示を優先する。

## 【重要】履修登録単位の上限について

公共政策大学院では、学生の計画的な授業の履修を促す観点から、履修登録できる単位数の上限を、年間38単位までと定めている。(9月入学の学生は9月から起算して1年間)

「リサーチペーパー」「研究論文」「インターンシップ」の単位数もこれに含まれる。  
また、履修登録期間後ではなく、履修登録撤回期間後の単位数が対象となり、前学期に「未受験」「不可」となった科目の単位数も、上記38単位の中に含まれるので注意すること。

## 他学部・他研究科科目履修上の注意

法学部の演習科目については、公共政策大学院との合併科目でない場合、履修することはできない。

学部・研究科により成績報告期限が異なるため、修了判定の時期までに成績が確定されない場合、当該科目は修了判定に算入しない。従って、最終年次の後期は、他学部・他研究科科目を修了要件に算入する単位として履修登録しないこと。

## 「リサーチペーパー」、「研究論文」用の参考科目

公共政策大学院では、2019年度に、論文（エッセイ）の書き方等を指導する科目を以下のとおり3つ開講する。

特に、リサーチペーパー又は研究論文の提出を予定している場合、博士課程への進学を希望する場合の参考にされたい。

※開講日等の最新の情報は、UTAS で確認すること。

科目名：Essential Academic Skills: Writing and Research Planning

科目番号：5123312-1

担当教員：MARSZALEC Daniel Janusz

科目名：Academic Writing Basic Level I・II

科目番号：5130211、5130212

担当教員：FAYE Singh

科目名：Academic Writing Advanced Level I・II

科目番号：5130215、5130216

担当教員：FAYE Singh

## 教務関係の諸手続きについて

### 住所、電話番号、電子メールアドレスの登録・変更について

- (1) ガイダンス時に配付された「UTokyo Account パスワード通知書」により、UTAS にログインし、速やかに住所・電話番号・電子メールアドレスを UTAS に登録すること。
- (2) 大学からの連絡は、UTAS に登録された連絡先宛に行う。
- (3) 特に、重要な事項（修了に関わること等）や、至急に確認したい事項が発生した場合、個別に電子メールや電話で連絡するので、確実に連絡のとれる電子メールアドレスと電話番号を常時登録しておくこと。連絡先に変更が生じた場合、連絡先を更新しておくこと。

### 学生への連絡方法について

- (1) 一般的な連絡事項、授業に関すること（開講・休講情報等）や、奨学金に関すること、修了（式）に関すること等についての案内は、Web 在校生掲示板に掲載するので毎日必ず確認すること。
- (2) 他学部・他研究科との合併科目について、休講・試験等に関する情報は、当該学部・研究科の掲示板でも、必ず確認すること。

### 証明書等の発行について

- (1) 在学証明書、成績証明書、修了見込み証明書（最終年次のみ）、学割証については、証明書自動発行機により、即時発行される。
- (2) 証明書自動発行機を利用する際に必要な暗証番号は、「UTokyo Account パスワード通知書」で確認すること。
- (3) その他の証明書については、「証明書交付願」に基づき、以下のとおり発行する。  
和文・・・翌日に交付（土日・休日を除く）  
英文・・・1週間後に交付（土日・休日を除く）

### 授業料について

- (1) 授業料は、5月（前期分）及び11月（後期分）に納めること。
- (2) 「授業料預金口座振替依頼書」により登録された口座からの自動引き落としによる。
- (3) 口座振替日は、前期分が5月27日、後期分が11月27日（当該日が金融機関の非営業日にあたる場合は翌営業日）である。
- (4) 口座振替日の前日までに当該口座に授業料相当額を入金しておくこと。

※ 個別に引き落としに係る連絡等は行わない。

\* 参考：[http://www.u-tokyo.ac.jp/fin02/h01\\_01\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/fin02/h01_01_j.html)

## 奨学金について

- (1) 主に、本学独自の学内奨学制度、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・民間団体が設置している奨学金がある。
- (2) 出願方法・スケジュール等の詳細は、随時掲示により周知するので、Web 在校生掲示板を各自確認すること。

\* 参考：[http://www.u-tokyo.ac.jp/index/h02\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/index/h02_j.html)

## 学籍異動について

休学、留学、コース変更、在学期間延長等を願い出る場合は、開始予定日の1ヶ月前までに、所定の様式等を公共政策大学院係窓口に提出すること。

詳細は、後述の「休学の手続きについて」、「海外渡航する場合の手続きについて」、「所属コース変更の手続きについて」、「在学期間延長の手続きについて」の項を参照のこと。

## 公共政策大学院係窓口について

受付時間： 9時00分～17時00分  
(土日・休日、年末年始等の休業期間、入学試験実施日等を除く)

E-mail: [ppin@j.u-tokyo.ac.jp](mailto:ppin@j.u-tokyo.ac.jp)

TEL: 03-5841-1349 (受付時間内)

## ○休学の手続きについて

休学する場合は、次のことを十分心得ておくこと。

### 1. 手続き

休学をする場合は、休学を希望する1ヶ月前までに、所定の「休学願」を公共政策大学院係へ提出し、許可を受けなければならない。

休学の基準については、大学院便覧記載の「学生の休学の基準」及び「学生の休学の基準に関する要介護者及び社会に貢献する活動の範囲について」を参照すること。

なお、申請時の休学期間は1年間が最長である。休学を延長する場合は、休学期間が終了する2ヶ月前までに休学の再手続きをすること。

(休学のために必要な書類)

海外への留学(修学)	休学願、修学計画書、入学許可証明書又は在学証明書
海外への学術調査	休学願、調査見学計画書(日程表含む)
経済的理由	休学願、理由書
病気	休学願、診断書
出産又は育児	休学願、母子手帳(写し)
介護	休学願、医師の診断書
社会に貢献する活動	休学願、計画書
一時帰国(留学生)	休学願、理由書

### 2. 休学期間と修業年限及び在学年数(東京大学大学院専門職学位課程規則第18条)

休学期間として認められる期間は2ヶ月以上で2年を超えることはできない。

休学した期間は修業年限(2年間)及び在学年限(3年間)には算入されないので注意すること。また、休学期間中は、授業科目の履修はできない。

### 3. 復学

休学期間中に休学の事由が解消された場合は、所定の「復学願」を公共政策大学院係へ提出すること。また、休学期間が終了し復学する場合も復学願を提出すること。

### 4. 授業料

休学する者はその期間の授業料は徴収されない。なお、手続きが遅れた場合は、前期分あるいは後期分の授業料を納入しなければならないことがあるので、注意すること。

復学を許可された場合は、復学した月から当該学期末までの授業料を復学した月内に納入しなければならない。なお、既に納入した授業料については、返還しない。

## ○海外渡航する場合の手続きについて

### 1. 休学して海外へ渡航

2ヶ月以上、海外の教育・研究施設等において修学する場合、あるいは海外において調査・見学を必要とする場合は、「休学」の手続きを行うこと。

休学によって海外へ渡航する場合、休学した期間(上限2年間)は修業年限及び在学年限の計算には算入されない。また、前期分の場合は2月末日、後期分の場合は8月末日までに休学願を提出し許可されれば、休学期間中の授業料は免除される(「休学の手続きについて」)

の項を参照すること。)

## 2. 海外留学（東京大学大学院公共政策学教育部規則第9条2項）

海外の大学等に留学することを希望する者は、公共政策大学院係で必要な手続きをとること。

外国の大学等において、専攻分野に関する授業科目を履修し単位を取得した場合、修了要件として定められた単位の1/2を超えない範囲で、本教育部において相当する科目及び単位数を修得したものと認定することができる（ただし、公共政策学教育部規則第10条により入学前の既修得単位の認定を受けている者は、公共政策大学院係に予め問い合わせること。）。

なお、本教育部との交流協定に基づく協定校への留学については、別途掲示される通知を参照すること。

## 3. 海外旅行

2ヶ月未満の短期海外渡航する場合、所定の「海外渡航届」を提出すること。

### ○所属コース変更の手続きについて

特別の事情があると認められた場合に限り、所属するコースを変更することができる。（東京大学大学院公共政策学教育部規則第2条2項）

所属コースの変更は、1回限りとする。また、コース変更にあたっては、①現所属コースに一年以上在籍していること、②変更を希望する先の所属コースの主な科目を履修し、一定の成績を修めていることが必要となる。

コース変更を希望する場合は、あらかじめ公共政策大学院係に確認すること。

#### 1. 手続き

所属コースの変更を希望する場合は、変更を希望する学期が始まる1ヶ月前までに、所定の「所属コース変更願」を公共政策大学院係へ提出し、許可を受けなければならない。

#### 2. 所属コース変更と休学期間、修業年限及び在学年数

所属コースを変更した場合の変更後の修業年限、在学年限及び休学期間は、変更前の期間と通算する。

#### 3. 修得単位

所属コースを変更した者が変更前のコースにおいて取得した単位は、本教育部規則第4条に規定する単位に算入することができる。

### ○在学期間延長の手続きについて

本教育部の標準修業年限は2年間である（東京大学大学院公共政策学教育部規則第3条）。標準年限を超えて在学期間を延長する場合は、当初の修了予定月の前月末までに在学期間延長届を提出すること。（長期履修学生の場合は、公共政策大学院係に確認すること。）

ただし、本教育部の在学年限は3年である（東京大学大学院専門職学位課程規則第17条）ため、延長できる期間は1年間が最長である（休学期間を除く）。

# 公共政策大学院の施設利用について

赤門総合研究棟及び国際学術総合研究棟における公共政策大学院関係施設の学生の利用については、下記の通りとする。

## I 赤門総合研究棟

### 1. 利用可能な室名及び利用方法

赤門総合研究棟4階			
室名	人数	設備	利用方法等
学生自習室N	54人		常時施錠。学生証のID情報をカードリーダーに照合させて入室。
学生自習室W	30人		
学生PC室	24人	PC24台 コピー機	常時施錠。学生証のID情報をカードリーダーに照合させて入室。
ディスカッションスペース1	6人		常時開放。
ディスカッションスペース2	6人		
ディスカッションスペース3	6人		
ディスカッションスペース4	6人		
ディスカッションスペース5	6人		
ロッカー室			常時開放。
学生ラウンジ		コピー機	常時開放。

### 2. 利用日

- 1) 原則として、年末年始その他入学試験等建物への入館できない場合を除いて利用することができる。利用できない日時については、予め公表する。

### 3. 学生自習室及び学生PC室の利用上の注意

- 1) 室内では静粛にし、他の利用者の迷惑となるような行為を慎むこと。(携帯電話はマナーモードにし、会話は禁止。)
- 2) 室内でのペットボトル以外の飲食は、原則として禁止する。
- 3) 私物等を置いて席を占拠しないこと。
- 4) 備品その他は大事に使用し、汚さないこと。
- 5) エネルギーの節約のため、使用しないとき、退室時には、電灯、エアコン、PCのスイッチを切り、窓を閉めること。
- 6) 施設の利用にあたっては、利用上の注意事項を守り、学生の自主的な管理に委ねることとする。ただし、注意事項が守られず、不適切な利用が行われたときは、利用を制限することがある。

### 4. ディスカッションスペースの利用方法

- 1) 利用に際しては、自習室の利用上の注意事項の2)～6)を適用する。

### 5. ロッカー室及び学生ラウンジの利用上の注意

- 1) 使用を認められたロッカーについては、責任をもって管理すること。
- 2) ラウンジでは飲食をすることができる。ただし、備品等は大事に使用し、部屋を汚さないこと。エネルギーの節約を心掛け、退室時には、電灯、エアコンのスイッチを切ること。

## II 国際学術総合研究棟

### 1. 利用可能な室名及び利用方法

国際学術総合研究棟12階		
室名	人数	利用方法等
演習室A	36人	
演習室B	24人	



演習室 C	24 人	全ての演習室が、公共政策大学院係への申込みにより利用可
演習室 D	24 人	
演習室 E	36 人	
演習室 F	12 人	

## 2. 利用日及び利用時間

- 1) 原則として、年末年始その他入学試験等建物への入館できない場合を除いて利用することができる。利用できない日時については、予め公表する。
- 2) 利用時間は、**午前 9 時から午後 10 時 30 分**までとする。

## 3. 演習室の利用方法

- 1) 学生が演習室を利用する場合は、自主的な勉強会のみとする。
- 2) 演習室の利用を希望する学生は、公共政策大学院係に備えた予約簿に予約をする。
- 3) 利用時間は、原則として 2 時間とし、続けて利用可能な場合は延長することができる。
- 4) 既に予約されている場合であっても、授業又は公共政策大学院の行事等の予約申込みがあったときは調整し、予約を変更する場合がある。

## 4. 演習室利用上の注意

- 1) 室内でのペットボトル以外の飲食は、原則として禁止する。
- 2) 備品その他は大事に使用し、汚さないこと。
- 3) エネルギーの節約のため、使用しないとき、退室時には、電灯、エアコンのスイッチを切り、窓を閉めること。
- 4) 施設の利用にあたって、利用上の注意事項が守られず、不適切な利用が行われたときは、利用を制限することがある。

## 連絡先一覧

主な所掌事項	担当部署	場所
学籍・履修・成績に関すること、UTASに関すること、教室や自習室等に関すること	公共政策大学院係 03-5841-1349	国際学術総合研究棟13階
交換留学・ダブルディグリーに関すること	公共政策国際企画チーム exchange@pp.u-tokyo.ac.jp	国際学術総合研究棟13階
全学の相談施設(部署)への総合案内	なんでも相談コーナー 03-5841-7867、0786 <a href="http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/nsc/">http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/nsc/</a>	プレハブ研究A棟(第2食堂隣)
学業・進路・人間関係等の悩みに関すること、カウンセリング、コンサルテーション	学生相談所 03-5841-2516 <a href="http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/scc/">http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/scc/</a>	プレハブ研究A棟(第2食堂隣)
キャリア相談、就職活動支援	キャリアサポート室 03-5841-2650 <a href="http://www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/">http://www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/</a>	学生支援センターB1F
入学料・授業料の免除・徴収猶予に関すること	奨学厚生課奨学チーム 03-5841-2547	学生支援センターB1F
日本学生支援機構奨学金、地方公共団体・公益法人奨学金に関すること	奨学厚生課奨学チーム 03-5841-2520	学生支援センターB1F
学生PC室のプリンター・コピー機に関すること	東大生協 第一購買部 03-3816-0711	
アパート・貸間の紹介	東京大学生協 住まい相談コーナー 03-5841-7945	法文2号館地階
定期健康診断、診療、健康相談	本郷保健センター 03-5841-2573 <a href="http://www.hc.u-tokyo.ac.jp">http://www.hc.u-tokyo.ac.jp</a>	第2本部棟2階
セクシュアル・ハラスメントに関すること	ハラスメント相談所 03-5841-2233 <a href="http://har.u-tokyo.ac.jp/">http://har.u-tokyo.ac.jp/</a>	医学部1号館1階S107
アカデミック・ハラスメントに関すること	学生相談所、ハラスメント相談所、等	
学内の遺失物、警備、盗難に関すること	警備室 03-5841-4919	安田講堂1階北側(ローソン側)

# 授業科目表

## **Class Subject List**

最新版は公共政策大学院 Web サイトで  
確認すること。

Make sure to check updated list on the GraSPP Website.

Reference : <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/courses/>



## 履修登録に際しての注意点

原則、既に単位を修得した授業科目名と同一科目名の授業科目を再度履修することはできない。ただし、下記科目を除く。

- ・ 5140735 Case Study (GraSPP Policy Challenge for SDGs 1)  
 (旧科目名 : Case Study (GraSPP Policy Challenge I))  
 4単位を上限として履修可能

また、下表の科目について、科目名が変更となっているが授業内容が同一のため、昨年度までに下表右の授業科目の単位を修得している者についての履修を認めない。

2019年度科目名			2018年度までの科目名		
科目番号	授業科目名	単位数	科目番号	授業科目名	単位数
5121452	アジア・ビジネス法	2	5121452	アジアビジネス法と企業法務	2
5122375	Causal Inference	2	5122375	Quantitative Social Science	2
5122384	Space Development and Public Policy	2	5122384	宇宙開発と公共政策	2
5123211	Development Economics II (Methods in Advanced Development Economics)	2	5123211	Advanced Development Economics	2
5123485	Environmental Economics	2	5123485	Natural Resource and Environmental Economics	2
5130072	Economic Structural Policy and Abenomics	2	5130072	Globalization and Economic Structural Policy	2
5130210-1	Presentations and Discussion I	2	5130210-1	Presentations and Discussion	2
5130210-2	Presentations and Discussion II	2	5130210-2	Presentations and Discussion	2
5130211	Academic Writing Basic Level I	2	5130211	Academic Writing Basic Level	2
5130212	Academic Writing Basic Level II	2	5130212	Academic Writing Basic Level	2
5130280	Macroeconomics in the real world: A view from the IMF	2	5130280	Life at an IFI: Understanding, Designing and Debating Macroeconomic Policy	2
5140162	事例研究 (デジタル時代の行政と社会 I)	2	5140162	事例研究 (デジタル時代の行政と社会 I (デジタル時代における行政制度の変容と課題))	2
5140163	事例研究 (デジタル時代の行政と社会 II)	2	5140163	事例研究 (デジタル時代の行政と社会 II (現代行政情報システム特論))	2
5140404-1	Case Study (Foreign Policy of Japan I)	2	5140404-1	Case Study (Japan's Asia Pacific Policy I)	2
5140404-2	Case Study (Foreign Policy of Japan II)	2	5140404-2	Case Study (Japan's Asia Pacific Policy II)	2

5140416	Case Study (Global Financial Policy Making)	2	5140416	Case Study (FSB's Global Financial Policy-Making)	2
5140610	事例研究 (科学技術と政治・行政 I)	2	5140610	事例研究 (科学技術と政治・行政)	2
5140741	Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)	2	5140741	Case Study (Project Based Learning on the Medical, Environmental and IT Innovation and the Role of Public Policy)	2
5140751	事例研究 (社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 I)	2	5140751	事例研究 (社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 III)	2
5140752	事例研究 (社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 II)	2	5140752	事例研究 (社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 IV)	2

2019年度公共政策学教育部授業科目表

Class Subject List offered by GraSPP for AY2018/2019

- 基幹科目 (法律分野) / Basic Courses: Law
- 基幹科目 (政治分野) / Basic Courses: Political Science
- 基幹科目 (経済分野) / Basic Courses: Economics
- 展開科目 (法律分野) / Topics Courses: Law
- 展開科目 (政治分野) / Topics Courses: Political Science
- 展開科目 (経済分野) / Topics Courses: Economics
- 実践科目 / Practical Training
- 事例研究 / Case Studies
- リサーチペーパー・研究論文 / Research Paper and Thesis

Courses taught in English are indicated by English course titles.

	科目番号	授業科目	担当教員		学期	単位数			備考
			職名	氏名		講義	演習	実習	
基幹科目 法律分野	5111010	*民事法の基層と現代的課題	教授	石川 博康	S1S2	2			
	5111020	*公法の基層と現代的課題	准教授	小島 慎司	S1S2	2			
			非常勤講師	横田 明美					
	5111050	財政法	准教授	藤谷 武史	S1S2	2			(法科)(総)
	5111060	地方自治法	非常勤講師	板垣 勝彦	A1A2	2			(法科)(総)
	5111070	地方財政・租税論	教授	増井 良啓	A1A2	2			(法科)(法)(総)
	5111080	租税政策	教授	中里 実	A1A2	2			(法科)(法)(総)
			非常勤講師	米田 隆					
	5111090	立法学	非常勤講師	茅野 千江子	A1A2	2			(法科)(総)実践科目
	5111110	刑事政策	教授	川出 敏裕	A1A2	2			(法科)(総)
	5111120	知的財産政策	非常勤講師	加藤 浩	S1S2	2			実践科目
	5111150	国際組織と法	教授	森 肇志	S1S2	2			(法科)
	5111160	国際経済法	教授	中谷 和弘	A1A2	2			(法科)(総)
			准教授	北村 朋史					
	5111170	国際人権法	教授	寺谷 広司	A1A2	2			(法科)(総)
	5111190	Law and Public Policy	特任准教授	佐藤 智晶	S1S2	2			E
5111200	法制執務の基礎と応用-法治国家の政策対応	非常勤講師	外山 秀行	S1S2	2			実践科目	
5111210	Introduction to Japanese Law	特任准教授	FISHER James	A1A2	2			(法)(総)E	
政治分野	5112010	*政治学I	教授	谷口 将紀	S1S2	2			
	5112020	*政治学II	教授	田邊 國昭	S1S2	2			
	5112030	政治思想と公共政策	教授	荏部 直	S1S2	2			(法)(総)
	5112040	政策分析	教授	田邊 國昭	S1S2	2			(総)[科]
	5112050	自治体行政学	教授	金井 利之	S1S2	2			(法)(総)実践科目
	5112060	公共管理論I	教授	金井 利之	S1S2	2			実践科目
			非常勤講師	尾西 雅博					
	5112070	公共管理論II	准教授	柳生 正毅	A1A2	2			実践科目
	5112080	ポリティカル・メソドロジー	教授	加藤 淳子	S1S2	2			(総)(総合文化)
	5112090	国際行政論	教授	城山 英明	A1A2	2			(法)(総)
	5112101	国際政治経済 I	教授	飯田 敬輔	A1A2	2			(法)(総)
	5112102	国際政治経済 II	教授	樋渡 展洋	S1S2	2			
	5112111	International Conflict Study	教授	藤原 帰一	S1S2	2			(法)(総)(学際)E
	5112131	Science, Technology and Public Policy	教授	城山 英明	A1	2			(工)(新領域)
			非常勤講師	ALEMANNO Alberto					[海][科]E
			特任講師	松尾 真紀子					

	5112140	開発研究	教授	佐藤 仁	A1	2	(総合文化) (新領域)実践科目	
	5112150	政策過程論	教授	田邊 國昭	A1A2	2	(総)[科]	
	5112170	現代日本政治	教授	谷口 将紀	S1S2	2	(法)(総)	
	5112181	Modern Japanese Diplomacy	教授	小原 雅博	A1A2	2	(法)(総)(学際)E	
	5112191	Policy Process and Negotiation	教授	城山 英明	S2集中	2	[科]実践科目E	
			准教授	前田 健太郎				
			特任講師	羅 芝賢				
	5112195	Field Seminar in International Relations	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2	E	
			教授	青井 千由紀				
	5112211	Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process	客員教授	林 良造	A1A2	2	実践科目E	
	5112220	Governance and Development	非常勤講師	元田 結花	A1A2	2	E	
	5112241	Politics and Public Policy	准教授	前田 健太郎	A1A2	2	(法)(総)E	
	5112242-1	ユーラシアにおける宗教政治—正教会とイスラーム	教授	松里 公孝	A1A2	2	(法)(総)	
	5112243-1	クリミア後のロシアと周辺諸国—政治体制論を中心に	教授	松里 公孝	S1S2	2	(法)(総)	
	5112250	Introduction to Social Science	特任准教授	ORSI Roberto	A1A2集中	2	E	
	5112260	Introduction to International Politics	特任准教授	ORSI Roberto	A1A2	2	E	
	5112270	Security Studies	教授	HENG Yee Kuang	A1A2	2	E	
経済分野	5113007	*Principles of Microeconomics	教授	小川 光	S1	2	E	
	5113009	*Principles of Macroeconomics	非常勤講師	山名 一史	S2	2	E	
	5113016	*Microeconomics for Public Policy	教授	飯塚 敏晃	A1A2	4	E	
	5113017	*Practice Session for Microeconomics for Public Policy	教授	飯塚 敏晃	A1A2	1	E	
	5113018	*Macroeconomics for Public Policy	特任教授	加藤 涼	S1S2	4	E	
	5113019	*Practice Session for Macroeconomics for Public Policy	特任教授	加藤 涼	S1S2	1	E	
	5113021	Microeconomics	非常勤講師	浅野 哲人	S1S2	4	E	
	5113031	Practice Session for Microeconomics	非常勤講師	浅野 哲人	S1S2	1	E	
	5113041	*Macroeconomics	准教授	楡井 誠	A1A2	4	E	
	5113051	*Practice Session for Macroeconomics	准教授	楡井 誠	A1A2	1	E	
	5113060	*統計分析手法	非常勤講師	陣内 悠介	S1S2	4		
	5113061	*Statistical Methods	特任准教授	能勢 学	A1A2	4	E	
	5113065	*Practice Session for Statistical Methods	特任准教授	能勢 学	A1A2	1	E	
	5113074	Econometrics for Public Policy	教授	川口 大司	S1S2	4	E	
	5113075	Econometrics for Public Policy	非常勤講師	長谷部 拓也	A1A2	4	E	
	5113084	Practice Session for Econometrics for Public Policy	教授	川口 大司	S1S2	1	E	
	5113085	Practice Session for Econometrics for Public Policy	非常勤講師	長谷部 拓也	A1A2	1	E	
	5113105	政策評価の経済学	非常勤講師	岩本 康志	A1A2	2	(経)[科]実践科目	
	5113152	International Trade Policy	講師	KUCHERYAVYVY Konstantin	S1	2	(経)E	
	5113161	International Financial Policy	准教授	植田 健一	A1	2	(経)E	
			特任教授	加藤 涼				
	5113180	Development Economics: Microeconomic Approach	教授	高崎 善人	A1A2	2	(経)E	
	5113190	Development Economics: Macroeconomic Approach	准教授	植田 健一	S1S2	2	(経)E	
	5113240	Economic Analysis of Public Sector	教授	小川 光	A1A2	2	E	
展開科目	法律分野	5121010	環境法	教授	中谷 和弘	S1S2	2	(法科)
				非常勤講師	大塚 直			
				非常勤講師	桑原 勇進			
		5121020	競争政策と法	教授	白石 忠志	S1S2	4	(法科)(総)
		5121040	経済刑法	准教授	樋口 亮介	A1A2	2	(法科)(総)
		5121050	公共哲学と法	教授	井上 達夫	A1A2	2	
	5121080	労働法政策	非常勤講師	濱口 桂一郎	S1S2	2	実践科目	



	5121090	社会保障法政策	非常勤講師	島崎 謙治	A1A2	2	(総)(医)
	5121110	国際租税法	教授	増井 良啓	S1S2	2	(法科)(総)
			客員教授	佐藤 修二			
	5121130	国際空間秩序と法	教授	中谷 和弘	S1S2	2	(法科)(総)[海]
	5121150	ヨーロッパ法	教授	伊藤 洋一	A1A2	2	(法科)(総)(総合文化)
	5121160	比較法政策1	教授	海老原 明夫	A1A2	2	(法科)(総)
	5121203	ヨーロッパ統合と法3	教授	伊藤 洋一	S1S2	2	(法科)(法)(総)
	5121204	ヨーロッパ統合と法4	教授	伊藤 洋一	A1A2	2	(法科)(総)
			非常勤講師	網谷 龍介			
	5121222	法社会学演習：マスメディアと法	教授	FOOTE Daniel	A1A2	2	(法科)(法)(総)
	5121223	Comparative Trusts Law	特任准教授	FISHER James	S1S2	2	(法)(総)E
	5121224	Making Legal Arguments: Legal Writing in Theory and Practice	特任准教授	FISHER James	A1A2	2	(法)(総)実践科目E
	5121225	English Contract Law	特任准教授	FISHER James	S1S2	2	(法)(総)E
	5121226	English Contract Law	特任准教授	FISHER James	A1A2	2	(法)(総)E
	5121227	国家と法の基本問題	教授	石川 健治	A1A2	2	(法科)(法)(総)
	5121271	金融商品取引法	客員教授	大崎 貞和	S1S2	2	実践科目
	5121272	上級金融商品取引法	准教授	飯田 秀総	A1A2	2	(法科)(総)実践科目
	5121291	医事法発展演習	准教授	米村 滋人	A1A2	2	(法科)(法)(総)実践科目
	5121300	金融法	教授	神作 裕之	A1A2	2	(法)(総)
			准教授	加藤 貴仁			
	5121380	法医学	非常勤講師	岩瀬 博太郎	A1A2	2	(法)
	5121394	Perspectives on Law : Japanese Law as Viewed from Abroad	教授	FOOTE Daniel	S1S2	2	(法科)(総)E
	5121423	アメリカ民事訴訟法	教授	浅香 吉幹	A1A2	2	(法科)(総)
	5121433	証券市場法演習	客員教授	大崎 貞和	A1A2	2	(法)(総)
	5121436	国際商事仲裁	教授	唐津 恵一	A1A2	2	(法科)(総)実践科目
	5121450	企業法務	教授	唐津 恵一	A1A2	2	(法科)(総)実践科目
	5121452	アジア・ビジネス法	教授	平野 温郎	A1A2	2	(法科)(法)(総)実践科目
	5121454	国際ビジネス法	教授	唐津 恵一	S1S2	2	(法)(総)
			教授	平野 温郎			
	5121461	Law and Society in East Asia	教授	松原 健太郎	S1S2	2	(法)(総)E
	5121470	国際法の基本問題	教授	寺谷 広司	A1A2	2	(法科)(総)
	5121490	国際法実務演習	非常勤講師	三上 正裕	S1S2	2	実践科目
			非常勤講師	北川 剛史			
	5121495	技術利用と法	特任准教授	佐藤 智晶	S1S2	2	(情報理工)
	5121496	Public International Law and Domestic Implementation	非常勤講師	BARNSELEY Ingrid	A1A2集中	2	実践科目E
	5121501	沿岸域管理法制度論	非常勤講師	三浦 大介	A1A2	2	[海]
	5121510	コーポレートガバナンス	客員教授	林 良造	S1S2	2	
			客員教授	中原 裕彦			
			特任准教授	佐藤 智晶			
政治分野	5122011	市民社会組織・政策論	非常勤講師	田中 弥生	S1S2	2	
	5122020	比較政策過程論	教授	久保 文明	A1A2	2	
			教授	平島 健司			
			教授	中山 洋平			
	5122035	政府間関係論	教授	金井 利之	A1A2	2	(総)
	5122070	地域政治A (現代中国の政治)	教授	高原 明生	S1S2	2	(法)(総)(総合文化)(新領域)
	5122080	地域政治B (現代東南アジアの政治)	教授	藤原 帰一	A1A2	2	(法)(総)
5122086	地域政治B (現代中東の政治)	准教授	池内 恵	S1S2	2	(法)(総)	

5122090	地域政治C (現代南欧の政治)	准教授	伊藤 武	A1A2	2	(法)(総)(教養)
5122097	地域政治C (現代アメリカ政治特殊研究)	教授	久保 文明	S1S2	2	(総)
5122110	自治体行政聴査	教授	金井 利之	通年	2	(法)(総)実践科目
5122135	New Dimensions of Security in the Risk Age	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2	E
5122136	U.S. Diplomacy toward Asia	非常勤講師	森 聡	A1A2	2	(法)(総)(学際)E
5122137	Ethics and International Relations	特任准教授	ORSI Roberto	A1A2	2	E
5122140	国際政治経済の諸問題	教授	飯田 敬輔	A1A2	2	(法)(総)
5122156	国際政治特殊研究	教授	藤原 帰一	S1S2	2	(法)(総)
5122158	Insurgency and Counterinsurgency	教授	青井 千由紀	S1S2	2	E
5122159	Transformation of Warfare and Technology	教授	青井 千由紀	A1A2	2	E
5122170	西欧比較政治論	教授	中山 洋平	A1A2	2	(法)(総)(総合文化)
5122182	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy	教授	高原 明生	S1S2	2	(法)(経学)実践科目E
		教授	五百旗頭 薫			
		非常勤講師	加藤 宏			
		非常勤講師	萱島 信子			
		非常勤講師	北岡 伸一			
		非常勤講師	北野 尚宏			
		非常勤講師	澤田 寛之			
		教授	西沢 利郎			
		教授	新田 一郎			
		客員教授	林 良造			
		教授	牧原 出			
		非常勤講師	山田 順一			
5122201-1	Contemporary Chinese Politics	非常勤講師	林 載桓	A1A2	2	(法)(総)(新領域)(学際)E
5122201-2	Contemporary Chinese Diplomacy	教授	高原 明生	A1A2	2	(法)(総)(総合文化) (新領域)(学際)E
5122202	比較政治学・概論	准教授	MCELWAIN Kenneth Mori	A1A2	2	(法)(総)(学際)
5122206	International Relations and Political Regimes	教授	樋渡 展洋	A1A2	2	E
5122211	発展途上国の政治	教授	大串 和雄	S1S2	2	(法)(総)
5122215	先進国の比較政治	非常勤講師	網谷 龍介	S1S2	2	(法)(総)
5122236	International Politics in East Asia	准教授	佐橋 亮	A1A2	2	(総)(学際)E
5122255	社会安全政策論	非常勤講師	堀 誠司	S1S2	2	実践科目
5122261	Introduction to Public Management	客員教授	工藤 裕子	A1A2	2	E
5122286	ラテンアメリカの移行期正義—真実・正義・和解・記憶	教授	大串 和雄	A1A2	2	(法)(総)
5122294	紛争、独裁後の移行期正義—真実・正義・和解・記憶	教授	大串 和雄	S1S2	2	(法)(総)
5122370-1	現代日本政治論演習	教授	谷口 将紀	S1S2	2	(法)(総)
5122375	Causal Inference	教授	今井 耕介	S1S2集中	2	(法)(総)(総合文化) (教養)E
5122384	Space Development and Public Policy	非常勤講師	水野 素子	A1A2	2	[科]
		教授	城山 英明			
		教授	中須賀 真一			
		非常勤講師	菊地 耕一			
5122389	Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia	教授	NOBLE Gregory	A1A2	2	(法)(総)E
5122394	現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー	教授	平島 健司	A1A2	2	(総)(総合文化)
5122400	Global Governance	非常勤講師	TIBERGHEN Yves	A1A2集中	2	E
5122402	Japan in Today's World	教授	藤原 帰一	S1S2集中	2	(法)(総)実践科目E
5122410	Risk and Regulatory Policy	客員教授	岸本 充生	S1S2	2	(工)[科]E
5122501	海洋科学技術政策論	非常勤講師	諏訪 達郎	A1A2	2	[海][科]実践科目
		教授	城山 英明			

	5122502	海事政策論	特任教授	長谷 知治	A1A2	2		[海]実践科目
経済分野	5123021	環境政策	教授	有馬 純	A1A2	2		(経学)
	5123026	再生可能エネルギーと公共政策	教授	有馬 純	S1S2	2		(経学)
	5123027	再生可能エネルギーと公共政策	教授	有馬 純	A1A2	2		(経学)
	5123028	観光政策概論	客員教授	佐藤 善信	S1S2	2		[科]
			特任教授	洪武 容				
			教授	大橋 弘				
	5123029	観光地域政策	客員教授	佐藤 善信	A1A2	2		[科]
			特任教授	洪武 容				
			教授	大橋 弘				
	5123030	都市地域政策	特任教授	長谷 知治	A1A2	2		(経)
			教授	高橋 孝明				
			非常勤講師	河端 瑞貴				
			講師	中川 万理子				
	5123031	地域交通政策研究	客員教授	宿利 正史	A1A2	2		[科]
			特任教授	長谷 知治				
	5123032-1	Energy Security	教授	有馬 純	S1S2	2		実践科目E
			客員教授	田中 伸男				
	5123032-2	Energy Security	教授	有馬 純	A1A2	2		実践科目E
			客員教授	田中 伸男				
	5123033	Energy Systems	准教授	小宮山 涼一	S2	2		(工)E
			教授	藤井 康正				
	5123034	Resilience Engineering	准教授	小宮山 涼一	S1S2	2		(工)E
			教授	古田 一雄				
	5123035	災害・リスクと経済	非常勤講師	中田 啓之	S1S2	2		
			非常勤講師	深尾 光洋				
			非常勤講師	木原 隆司				
			非常勤講師	齊藤 誠				
		非常勤講師	庄司 匡宏					
5123036	Advanced Topics in International Trade	講師	藤井 大輔	A1A2	2		(経)E	
5123038	Data Science for Practical Economic Research	講師	KUCHERYAVY Konstantin	S1S2	2		(経)(経学)E	
5123042	International Trade	教授	古澤 泰治	S2	2		(経)E	
5123062	国際開発政策・評価論	非常勤講師	青柳 恵太郎	S1S2	2		実践科目	
5123081	Political Economics	准教授	WEESE Eric	S1S2	2		(経)(経学)E	
5123179	上級マクロ金融	教授	福田 慎一	A1A2	2		(経)(経学)	
5123211	Development Economics II (Methods in Advanced Development Economics)	特任准教授	能勢 学	A1A2	2		(経)E	
5123211-2	Development Economics I (Foundations of Advanced Development Economics)	教授	澤田 康幸	S2	2		(経)(経学) (総合文化)E	
5123231	マクロ時系列の実証分析	教授	宮尾 龍蔵	A1A2	2		(経)(経学)	
5123241	不動産証券化と社会資本マネジメント	特任教授	田中 健一	A1A2	2		(経学)	
		客員教授	中川 雅之					
5123245	保健医療経済学	教授	康永 秀生	S1	2		(医)	
5123250	エネルギー政策	客員教授	小山 堅	S1S2	2		(経学)	
		教授	有馬 純					
5123256	Central Banking	非常勤講師	白塚 重典	S1	2		(経)(経学)E	
5123262	Asian Economic Development and Integration	特任教授	河合 正弘	A1A2	2		E	
5123272	医療イノベーション政策	客員教授	大西 昭郎	A1A2	2		[科]実践科目	
		教授	鈴木 寛					
		客員教授	岸本 充生					

			客員教授	林 良造					
			特任准教授	佐藤 智晶					
	5123275	イノベーションの経済学	非常勤講師	五十川 大也	A1A2	2		[科]	
	5123300	Asian Financial Markets	特任教授	河合 正弘	S1S2	2		E	
	5123310	Population Aging and the Generational Economy	特任教授	小川 直宏	A1A2	2		(経)(経学)E	
	5123311	Introduction to Auctions and Mechanism Design	講師	MARSZALEC Daniel	A1A2	2		(経)(経学)E	
	5123312-1	Essential Academic Skills: Writing and Research Planning	講師	MARSZALEC Daniel	A1	2		(経)(経学)E	
	5123312-2	Essential Academic Skills: Speaking and Presentation	講師	MARSZALEC Daniel	A2	2		(経)(経学)E	
	5123350	Public Policy and Energy	特任教授	芳川 恒志	A1A2	2		実践科目E	
			客員教授	BIROL Fatih					
			客員教授	日下 一正					
	5123390	日本のマクロ経済分析と政策形成	非常勤講師	齋藤 潤	S1S2	2		実践科目	
	5123400	Economic Analysis of Innovation	客員准教授	鎗目 雅	S1S2集中	2		[科]E	
	5123402	Advanced Time Series Analysis	教授	新谷 元嗣	A1A2	2		(経)(経学)E	
	5123405	Global Financial Regulation	客員教授	河合 美宏	A1A2	2		実践科目E	
	5123433	Sovereign Debt	教授	西沢 利郎	A1A2	2		実践科目E	
	5123440	経済物理学	准教授	島田 尚	S1S2集中	2		実践科目	
			非常勤講師	高安 秀樹					
			非常勤講師	高安 美佐子					
			非常勤講師	伊藤 隆敏					
			非常勤講師	水田 孝信					
			非常勤講師	金澤 輝代士					
	5123450	国際交通政策	客員教授	宿利 正史	S1S2	2		[科]	
			特任教授	長谷 知治					
			教授	大橋 弘					
	5123471	Labor Economics	教授	川口 大司	A2	2		(経)E	
	5123475	機械学習の実証経済学への応用	准教授	川田 恵介	A1A2	2		(経)(経学)	
	5123480	コーポレートファイナンスと公共政策	非常勤講師	新井 富雄	A1A2	2			
	5123485	Environmental Economics	教授	高崎 善人	A1A2	2		E	
	5123487	Economic Crisis	准教授	植田 健一	A2	2		(経)E	
			特任教授	加藤 涼					
	5123488-1	金融市場と公共政策	特任教授	湯山 智教	S1S2	2		(経学)実践科目	
	5123491	規制政策	教授	松村 敏弘	A1A2	2		(経学)[科]	
	5123495	Monetary Policy	特任教授	中曾 宏	S1	2		(経)(経学)E	
	5123497	Empirical Industrial Organization	講師	若森 直樹	S2	2		(経)E	
	5123498	Advanced Industrial Organization	講師	若森 直樹	S1	2		(経)E	
	5123499	Financial Markets and Institutions	特任教授	加藤 涼	A1A2	2		E	
	5123500	Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions I	教授	内田 善彦	S1	2		実践科目E	
	5123501	Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions II	教授	内田 善彦	S2	2		実践科目E	
実践科目	5130010	政策分析・立案の基礎	准教授	柳生 正毅	A1A2	2		実践科目	
	5130020-1	交渉と合意	客員教授	松浦 正浩	S1S2	2		[海][科]実践科目	
	5130030	社会調査法	教授	石田 浩	A1A2	2		(総)実践科目	
	5130072	Economic Structural Policy and Abenomics	客員教授	林 良造	S1S2	2		実践科目E	
	5130092	Development Operations of the World Bank Group	教授	仲 浩史	S1S2	2		実践科目E	
	5130095	消費者政策の現代的展開	客員教授	山田 正人	S1S2	2		実践科目	
			非常勤講師	加納 克利					

	5130120	精神保健学 I	特任准教授 教授	佐藤 智晶 川上 憲人	S1S2	2	(医)実践科目
	5130210-1	Presentations and Discussion I	非常勤講師	FAYE Singh	S1	1	実践科目E
	5130210-2	Presentations and Discussion II	非常勤講師	FAYE Singh	S2	1	実践科目E
	5130211	Academic Writing Basic Level I	非常勤講師	FAYE Singh	S1	1	実践科目E
	5130212	Academic Writing Basic Level II	非常勤講師	FAYE Singh	S2	1	実践科目E
	5130215	Academic Writing Advanced Level I	非常勤講師	FAYE Singh	A1	1	実践科目E
	5130216	Academic Writing Advanced Level II	非常勤講師	FAYE Singh	A2	1	実践科目E
	5130220	Advanced Study of Science & Technology	教授	小林 廉毅	A1集中	2	[科]実践科目E
			教授	光石 衛			
			准教授	中富 浩文			
			教授	元橋 一之			
			教授	松橋 隆治			
			教授	古田 一雄			
			准教授	加納 信吾			
			教授	丸山 茂夫			
			特任准教授	李 廷秀			
	5130230	Social Design and Global Leadership	教授	鈴木 寛	S1S2集中	2	実践科目E
			教授	城山 英明			
	5130240	社会と健康I	准教授	近藤 尚己	A1	2	(医)実践科目
			教授	橋本 英樹			
			教授	川上 憲人			
	5130241	社会と健康II	准教授	近藤 尚己	A2	2	(医)実践科目
	5130245	Global Health Policy	教授	渋谷 健司	S1A1	2	(医)実践科目E
	5130248	Introduction to Cybersecurity Policy	客員教授	林 良造	S1S2	2	実践科目E
			客員教授	大西 昭郎			
	5130250	Mathematics for Public Policy	非常勤講師	柿中 真	A1A2	1	実践科目E
	5130260	社会保障・人口問題の現代的諸相	非常勤講師	暮石 涉	A1A2	2	実践科目
	5130270	医療コミュニケーション学	教授	木内 貴弘	S1	2	(医)実践科目
	5130280	Macroeconomics in the real world: A view from the IMF	非常勤講師	SCHIFF Jerald	S2	2	実践科目E
			教授	西沢 利郎			
	5130290	International Projects	教授	加藤 浩徳	S2	2	(工)実践科目E
			講師	小松崎 俊作			
	5135030	CAMPUS Asia Joint Course: International Public Policy in East Asia	特任准教授	能勢 学	S1S2	4	実践科目E
	5139000	インターンシップ		各教員	通年	1	実践科目
事例研究	5140011	事例研究 (法政策I-A)	准教授	柳生 正毅	S1S2	2	実践科目
	5140012	事例研究 (法政策I-B)	准教授	柳生 正毅	S1S2	2	実践科目
	5140040	事例研究 (現代行政I)	客員教授	増田 寛也	A1A2	4	(総)
	5140060	事例研究 (現代行政III)	教授	金井 利之	S1S2	4	(総)実践科目
	5140074	Case Study (Labor Policy I)	教授	川口 大司	S1S2	2	E★
	5140075	Case Study (Labor Policy II)	教授	川口 大司	A1A2	2	E★
	5140076	事例研究 (テクノロジーアセスメント)	客員教授	谷口 武俊	S1S2	4	(工)[科]
			特任講師	松尾 真紀子			
	5140078	事例研究 (人工知能と社会)	特任講師	江間 有沙	S1S2	2	(総合文化)(情報理工)
			教授	國吉 康夫			(学際)[科]
		教授	佐倉 統				
		教授	城山 英明				
5140079	Case Study (Cybersecurity)	客員教授	林 良造	A1A2	2	実践科目E	
		客員教授	大西 昭郎				

5140090	事例研究 (外交政策I)	客員教授	齋木 昭隆	S1S2	4	実践科目
5140100	事例研究 (外交政策II)	客員教授	齋木 昭隆	A1A2	4	実践科目
5140105	事例研究 (現代日本外交演習)	教授	小原 雅博	S1S2	2	(法)(総)(総合文化)
5140143	Case Study (International Political Economy)	教授	樋渡 展洋	S1S2	4	E
5140162	事例研究 (デジタル時代の行政と社会I)	特任講師	羅 芝賢	S1S2	2	(情報理工)[科]
		教授	城山 英明			
		教授	坂井 修一			
5140163	事例研究 (デジタル時代の行政と社会II)	特任講師	羅 芝賢	A1A2	2	(情報理工)[科]
		教授	城山 英明			
5140205	事例研究 (公共経済政策：問題分析)	教授	小川 光	S1S2	2	実践科目★
		非常勤講師	深澤 映司			
5140206	事例研究 (公共経済政策：解決策分析)	教授	小川 光	A1A2	2	実践科目★
		非常勤講師	深澤 映司			
5140209	Case Study (Japanese Foreign Economic Policy)	教授	飯田 敬輔	A1A2	4	(法)(学際)E
5140217	事例研究 (政治とマスメディア I)	教授	谷口 将紀	S1S2	2	(法)(総)実践科目
		客員教授	吉田 貴文			
5140218	事例研究 (政治とマスメディア II)	教授	谷口 将紀	A1A2	2	(法)(総)実践科目
		客員教授	吉田 貴文			
5140226	事例研究 (都市地域政策と 社会資本ファイナンス・問題分析)	客員教授	金本 良嗣	S1S2	2	実践科目★
		特任教授	田中 健一			
		特任教授	長谷 知治			
		客員教授	楠田 幹人			
5140256	事例研究 (都市地域政策と 社会資本ファイナンス・解決策分析)	客員教授	金本 良嗣	A1A2	2	実践科目★
		特任教授	田中 健一			
		特任教授	長谷 知治			
		客員教授	楠田 幹人			
5140286	Case Study (International Intellectual Property Management)	教授	渡部 俊也	A1A2	2	(工)実践科目E
5140298	Case Study (Japanese Macroeconomic Policy: Solutions to Monetary and Fiscal Policy Challenges)	非常勤講師	林 伴子	S1S2	2	実践科目E★
5140299	事例研究 (日本のマクロデータによる政策分析)	非常勤講師	林 伴子	A1A2	2	実践科目★
		非常勤講師	梅溪 健児			
5140346	事例研究 (都市地域政策と 社会資本ファイナンス・政策分析入門)	客員教授	金本 良嗣	S1S2	2	実践科目★
		特任教授	田中 健一			
		特任教授	長谷 知治			
		客員教授	楠田 幹人			
5140348	事例研究 (金融システム分析)	特任教授	湯山 智教	S1S2	2	実践科目★
5140393	Case Study (Quantitative Macroeconomics I)	准教授	楡井 誠	S1S2	2	E★
5140394	Case Study (Quantitative Macroeconomics II)	准教授	楡井 誠	A1A2	2	E★
5140395	事例研究 (資本市場と公共政策)	客員教授	小野 傑	A1A2	2	(法科)(総)実践科目
		特任教授	湯山 智教			
5140396	事例研究 (金融資本市場論)	特任教授	湯山 智教	A1A2	2	実践科目★
5140397-1	事例研究 (信託法に関する実務上の諸問題)	非常勤講師	水野 大	S1S2	2	(法)(総)実践科目
5140398	Case Study (Macro-Financial Linkages)	准教授	植田 健一	A1A2	2	E★
5140404-1	Case Study (Foreign Policy of Japan I)	非常勤講師	竹内 春久	S1S2	2	実践科目E
5140404-2	Case Study (Foreign Policy of Japan II)	非常勤講師	竹内 春久	A1A2	2	実践科目E
5140412	Case Study (International Financial Institutions)	客員教授	河合 美宏	A1A2	2	実践科目E★
5140415	事例研究 (国際経済ルールの形成と利用)	非常勤講師	中川 淳司	A1A2	2	実践科目★
		非常勤講師	米谷 三以			
5140416	Case Study (Global Financial Policy Making)	客員教授	河合 美宏	A1A2	2	実践科目E★

5140485	事例研究（政策環境検討手法としてのシナリオプランニング：理論と実践）	客員教授 非常勤講師	角和 昌浩 杉野 綾子	S1S2	2	[科]実践科目
5140486	Case Study (Business environment, stakeholders and issues; a learning experience in collaboration with Japanese industry)	客員教授 非常勤講師	角和 昌浩 九門 崇	A1A2	2	[科]実践科目E
5140488	Case Study (Public-Private Partnerships)	教授	西沢 利郎	S1S2	2	実践科目E★
5140494	事例研究（アメリカ政治外交史演習）	教授	久保 文明	通年	4	(法)(総)実践科目
5140498	Case Study (Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy)	特任教授	鎌江 伊三夫	A1A2	2	[科]E★
5140500	事例研究（海洋問題演習Va）	教授	木村 伸吾	S1S2	2	[海]実践科目
5140501	事例研究（海洋問題演習Vb）	教授	木村 伸吾	A1A2	2	[海]実践科目
5140502	事例研究（アメリカの環境・エネルギー政策と政治過程）	教授 非常勤講師	久保 文明 杉野 綾子	A1A2	2	実践科目
5140503	事例研究（アメリカ政治におけるメディアの役割）	教授 非常勤講師	久保 文明 山脇 岳志	A1A2	2	実践科目
5140600	事例研究（科学技術イノベーション政策研究）	特任講師 非常勤講師	松尾 真紀子 五十川 大也	A1A2	2	(工)[科]実践科目
5140610	事例研究（科学技術と政治・行政 I）	教授	城山 英明	S1S2	2	(法)(総)[科]
5140620	Case Study (Diversity and Inclusion)	准教授	前田 健太郎	S1S2	2	(総)E
5140700-1	Case Study (International Energy Governance)	教授	有馬 純	S1S2	2	実践科目E
5140700-2	Case Study (International Energy Governance)	教授 客員教授	有馬 純 田中 伸男	A1A2	2	実践科目E
5140715	事例研究（コーポレートガバナンス）	客員教授 客員教授 特任准教授	林 良造 中原 裕彦 佐藤 智晶	A1A2	2	
5140723	Case Study (Finance and Development in Emerging Asia)	教授	西沢 利郎	A1A2	2	実践科目E★
5140730-1	Case Study (International Field Workshop)	教授	西沢 利郎	S2集中	2	実践科目E
5140730-2	Case Study (International Field Workshop)	教授	西沢 利郎	A2集中	2	実践科目E
5140735	Case Study (GraSPP Policy Challenge for SDGs 1)	教授 教授 特任准教授	鈴木 寛 城山 英明 ORSI Roberto	A2集中	2	[科]実践科目E
5140738	Case Study (Writing public policy cases for SDGs)	教授 非常勤講師	西沢 利郎 K. E. SEETHARAM	S1S2	2	実践科目E
5140741	Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)	教授 非常勤講師	鈴木 寛 五十棲 浩二	A1A2集中	2	[科]実践科目E
5140751	事例研究（社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 I）	教授	鈴木 寛	S1S2	2	実践科目
5140752	事例研究（社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 II）	教授	鈴木 寛	A1A2	2	実践科目
5140771	Case Study (Current Global Economic Issues)	准教授	植田 健一	S1S2	2	E★
5140790	Case Study (Empirical Development Microeconomics I)	教授	高崎 善人	S1S2	2	E★
5140791	Case Study (Empirical Development Microeconomics II)	教授	高崎 善人	A1A2	2	E★
5150010	リサーチペーパー		各教員	通年	2	
5150011	Research Paper		各教員	年度跨り	2	
5150020	研究論文		各教員	通年	6	
5150021	Thesis		各教員	年度跨り	6	

※（法科）は、法科大学院との合併授業を示す。

（総）は、法学政治学研究科総合法政専攻との合併授業を示す。

（法）は、法学部との合併授業を示す。

（経）は、経済学研究科との合併授業を示す。

- (経学)は、経済学部との合併授業を示す。  
(人文)は、人文社会系研究科との合併授業を示す。  
(教育学)は、教育学研究科との合併授業を示す。  
(総合文化)は、総合文化研究科との合併授業を示す。  
(教養)は、教養学部後期課程との合併授業を示す。  
(工)は、工学系研究科との合併授業を示す。  
(医)は、医学系研究科との合併授業を示す。  
(新領域)は、新領域創成科学研究科との合併授業を示す。  
(情報理工)は、情報理工学系研究科との合併授業を示す。  
(学際)は、学際情報学府との合併授業を示す。  
[海]は、海洋学際教育プログラムを示す。  
[科]は、科学技術イノベーション政策の科学教育プログラムを示す。  
Eは、英語で行われる授業科目を示す。  
★は、経済系の事例研究の授業科目を示す。  
\*印は未修者対象の授業科目を示す。



国際公共政策学専攻

	科目 番号	授 業 科 目	担 当 教 員		学期	単 位 数			備 考
			職 名	氏 名		講 義	演 習	実 習	
共通 研究 科目	必	5170001	教授	青井 千由紀	A1A2		2		
		5170002	教授	HENG Yee Kuang	A1A2		2		
	修	5170003		各指導教員	通年		6		
		5170004	国際公共政策研究						
専門 応用 科目	選	5171001	准教授	植田 健一	A2	2			
			特任教授	加藤 涼					
	択	5171003	准教授	植田 健一	A1	2			
			特任教授	加藤 涼					
		5171004	教授	高崎 善人	A1A2	2			
		5171005	准教授	植田 健一	S1S2	2			
		5171006	特任准教授	能勢 学	A1A2	2			
		5171006-2	教授	澤田 康幸	S2	2			
		5171007	特任教授	中曾 宏	S1	2			
		5171008	講師	KUCHERYAVYV Konstantin	S1	2			
		5171009	非常勤講師	白塚 重典	S1	2			
		5171010	教授	福田 慎一	A1A2	2			
		5171011	講師	若森 直樹	S1	2			
		5171012	教授	高崎 善人	A1A2	2			
		5171013	准教授	植田 健一	S1S2	2			
		5171014	講師	藤井 大輔	A1A2	2			
		5171015	非常勤講師	青柳 恵太郎	S1S2	2			
		5171016	教授	仲 浩史	S1S2	2			
		5171017	教授	古澤 泰治	A1A2	2			
		5171018	教授	新谷 元嗣	A1A2	2			
	5172001	教授	樋渡 展洋	A1A2	2				
	5172002	非常勤講師	元田 結花	A1A2		2			
	5172003	教授	佐藤 仁	A1		2			
	5173001	教授	中谷 和弘	A1A2	2				
		准教授	北村 朋史						
	5174001	教授	加藤 浩徳	S2	2				
		講師	小松崎 俊作						
	5174002	教授	渡部 俊也	A1A2	2				
	5174003	准教授	島田 尚	S1S2集中	2				
		非常勤講師	高安 秀樹						
		非常勤講師	高安 美佐子						
		非常勤講師	伊藤 隆敏						
		非常勤講師	水田 孝信						
		非常勤講師	金澤 輝代士						
		国際安全保障研究：政治学系							

	5175001	(Security Studies)	教授	HENG Yee Kuang	A1A2	2		
	5175002	(New Dimensions of Security in the Risk Age)	教授	HENG Yee Kuang	S1S2	2		
	5175003	(Insurgency and Counterinsurgency)	教授	青井 千由紀	S1S2	2		
	5175004	(Transformation of Warfare and Technology)	教授	青井 千由紀	A1A2	2		
	5175005	(International Conflict Study)	教授	藤原 焯一	S1S2	2		
	5175006	(Science, Technology and Public Policy)	教授	城山 英明	A1	2		
			非常勤講師	ALEMANNO Alberto				
			特任講師	松尾 真紀子				
	5175007-1	(Contemporary Chinese Politics)	非常勤講師	林 載桓	A1A2	2		
	5175007-2	(Contemporary Chinese Diplomacy)	教授	高原 明生	A1A2	2		
	5175008	(International Politics in East Asia)	准教授	佐橋 亮	A1A2	2		
	5075010	(国際政治経済の諸問題)	教授	飯田 敬輔	A1A2	2		
	5075011	(アメリカ政治外交史)	教授	久保 文明	通年	4		
	5176001	国際安全保障研究：法学系 (国際組織と法)	教授	森 肇志	S1S2	2		
	5176002	(国際人権法)	教授	寺谷 広司	A1A2	2		
	5177001	国際安全保障研究：経済学系 (Risk and Regulatory Policy)	客員教授	岸本 充生	S1S2	2		
	5177002	(災害・リスクと経済)	非常勤講師	中田 啓之	S1S2	2		
			非常勤講師	深尾 光洋				
			非常勤講師	木原 隆司				
			非常勤講師	齊藤 誠				
			非常勤講師	庄司 匡宏				
	5178001	国際安全保障研究：学際系 (Resilience Engineering)	准教授	小宮山 涼一	S1S2	2		
	5178002	(Energy Systems)	教授	古田 一雄	S2	2		
	5178003	(Global Health Policy)	准教授	小宮山 涼一	S2	2		
			教授	藤井 康正				
			教授	渋谷 健司	S1A1	2		
実践科目	5179001	国際公共政策実践研究 (Social Design and Global Leadership)	教授	鈴木 寛	S1S2集中	2		
	5179002	(Public-Private Partnerships)	教授	城山 英明				
	5179003	(GraSPP Policy Challenge for SDGs 1)	教授	西沢 利郎	S1S2	2		
			教授	鈴木 寛	A2集中	2		
			教授	城山 英明				
			特任准教授	ORSI Roberto				
	5179004-1	(International Field Workshop)	教授	西沢 利郎	S2集中	2		
	5179004-2	(International Field Workshop)	教授	西沢 利郎	A2集中	2		
	5179005	(Writing public policy cases for SDGs)	教授	西沢 利郎	S1S2	2		
			非常勤講師	K. E. SEETHARAM				
	5179006	Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)	教授	鈴木 寛	A1A2集中	2		
			非常勤講師	五十棲 浩二				
			教授	城山 英明				

## Contents

Year Schedule and Class Hours	-----	35
Completion Requirements	-----	36
Course Registration	-----	44
Procedures for Academic Matters	-----	46
Various Contact Information List	-----	51
GraSPP Room Use Guidelines	-----	52
Important Reminder on the Course Registration	-----	55
Class Summaries	-----	57

※ Refer to GraSPP website for class schedules.

Refer to UTAS and GraSPP website for details of Class Summaries. Confirm the notice of bulletin board, always, because important messages including class cancellation, classroom change, and administrative procedures are posted ( See "Procedures for Academic Matters" ) .

### **Bulletin Board of GraSPP is**

- on the Website of GraSPP

<http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/student-bulletin-board/>

- on the 13F of International Academic Research Bldg.



## 2019/2020 Academic Year Schedule and Class Hours

### Academic schedule

[S1S2] Classes April 5 (Fri) – July 22 (Mon)

[S1] Classes April 5 (Fri) – June 4 (Tue)

[S2] Classes June 5 (Wed) – July 29 (Mon)

April 12(Fri)	no class day, The University of Tokyo Anniversary
April 29(Mon) – May 6(Mon)	no class day, Public holidays
May 17(Fri) PM – 19(Sun)	no class day, GOGATSU-SAI
June 4(Tue)	Friday classes will be held
July 12(Wed) AM	S1S2, no class day (PM classes will be held ) S2, normal class day
July 15(Mon)	no class day, Public holidays
July 17(Wed) – 19(Fri)	S1S2, no class day S2, normal class day
July 24(Wed) – 26(Fri)	S2, no class day (S1S2, outside of classes term)

[A1A2] Classes September 24 (Tue) – January 8 (Wed)

[A1] Classes September 24 (Tue) – November 15 (Fri)

[A2] Classes November 18 (Mon) – January 15 (Wed)

October 14(Mon)	no class day, Public holiday
October 22(Tue)	no class day, Public holiday
November 4(Mon)	no class day, Substitute public holiday
November 7(Thu)	Monday classes will be held
November 13(Wed)	Monday classes will be held
December 24(Tue)	A1A2, no class day A2, Friday classes will be held
December 25(Wed)	A1A2, no class day A2, Monday classes will be held
December 27(Fri)	A1A2, no class day A2, normal class day
December 28(Sat) – January 6(Mon)	no class day
January 10(Fri)	no class day (A1A2, outside of classes term)
January 13(Mon)	no class day, Public holiday (A1A2, outside of classes term)

※ Examinations are held during the last class of the term/semester.

※ With respect to combined courses offered by other faculties and graduate schools, examinations will be held during the periodical examination periods set by each respective faculty and graduate school.

### Class hours

Period 1:	8:30 – 10:15	Period 4:	14:55 – 16:40
Period 2:	10:25 – 12:10	Period 5:	16:50 – 18:35
Period 3:	13:00 – 14:45	Period 6:	18:45 – 20:30

## Completion Requirements

In order to complete the program of study at the Graduate School of Public Policy (GraSPP), you must be enrolled for **two years or longer and earn 46 course credits or more.** In addition, you must complete the required courses in your program (sub-specialization) and policy stream when applicable, and earn credits for them.

You may include up to eight credits earned for courses taken at the University of Tokyo's other graduate schools or the Interfaculty Initiative in Information Studies, or faculties when calculating the required credits for completion of the GraSPP degree.

You cannot register more than 38 credits of courses in one academic year. This includes credits for Research Paper, Thesis, and/or Internship as well. Please refer to the University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy in regards to credits obtained at another graduate school or obtained before admission to the Graduate School.

Take note that you basically cannot register for courses which have the same name as the courses for which you have already earned credits for.

Program-specific completion requirements:

- ※ A module which meets more than one completion requirement will be counted as meeting all relevant completion requirements.
- ※ Take note that if a course is not listed in the Class Subject List, it is not held in this academic year.

### ○ International Program (MPP/IP)

**for students who enrolled in MPP/IP before March 31, 2017**

Required credits number	Completion Requirements
6 credits	<p>A minimum of six credits listed below from the field of politics and law:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Law and Public Policy</li> <li>• International Conflict Study</li> <li>• Science, Technology and Public Policy</li> <li>• Modern Japanese Diplomacy</li> <li>• Policy Process and Negotiation</li> <li>• Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process</li> <li>• Governance and Development</li> <li>• Japanese Politics</li> <li>• Politics and Public Policy</li> <li>• Introduction to International Politics</li> <li>• Security Studies</li> <li>• Public International Law and Domestic Implementation</li> <li>• Japanese Government</li> <li>• Japanese Government and Politics</li> <li>• International Politics in East Asia</li> <li>• Introduction to Public Management</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Human Security: Asian Perspectives</li> <li>• Field Seminar in International Relations</li> <li>• Conflict Prevention and Post-Conflict Politic</li> <li>• Insurgency and Counterinsurgency</li> <li>• Transformation of Warfare and Technology</li> <li>• Asia-Pacific Security</li> <li>• Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy</li> </ul> <p>※ Subjects falling under this requirement were added. When the enrollee in AY 2018 or before acquire credits of those added subjects, it is counted as completion requirements credits of this requirement. Besides, it is also counted when you have taken them in AY 2018 or before.</p>
15 credits	<p>Completion of economics courses below:</p> <p>(1) A or B</p> <p>A. Microeconomics for Public Policy Practice Session for Microeconomics for Public Policy</p> <p>B. Microeconomics Practice Session for Microeconomics</p> <p>Note: If you have completed and earned credit for Advanced Microeconomics I given by the Faculty of Economics or Microeconomics I given by the Graduate School of Economics and Advanced Microeconomics II given by the Faculty of Economics or Microeconomics II given by the Graduate School of Economics, you do not need to take these courses in the GraSPP program</p> <p>(2) A or B</p> <p>A. Macroeconomics for Public Policy Practice Session for Macroeconomics for Public Policy</p> <p>B. Macroeconomics Practice Session for Macroeconomics</p> <p>Note: If you have completed and earned credit for Advanced Macroeconomics I given by the Faculty of Economics or Macroeconomics I given by the Graduate School of Economics and Advanced Macroeconomics II given by the Faculty of Economics or Macroeconomics II given by the Graduate School of Economics, you do not need to take these courses in the GraSPP program</p> <p>(3) A or B</p> <p>A. Statistical Methods Practice Session for Statistical Methods</p> <p>B. Econometrics for Public Policy Practice Session for Econometrics for Public Policy</p> <p>Note: If you have already completed and earned credit for one of (a) to (f) prior to enrollment of GraSPP, you do not need to take A or B above. If you complete and earn credit for one of (f) to (g) after enrollment of GraSPP, you do not need to take A or B above.</p> <p>(a)Econometrics given by the Faculty of Economics (combined course with GraSPP)</p> <p>(b)Advanced Applied Econometrics (Graduate Level) given by</p>

	<p>the Faculty of Economics (combined course with GraSPP)</p> <p>(c)Advanced Econometrics (Graduate Level) given by the Faculty of Economics</p> <p>(d)Advanced Econometrics I and Advanced Econometrics II given by the Faculty of Economics</p> <p>(e)Basic Econometrics given by the Graduate School of Economics</p> <p>(f) Econometrics I and Econometrics II given by the Graduate School of Economics</p> <p>(g) Applied Econometrics for Public Policy and Practice Session for Applied Econometrics for Public Policy or Econometrics and Practice Session for Econometrics given by GraSPP</p>
8 credits	A minimum of eight credits of Case Studies
32 credits	A minimum of thirty-two credits of courses offered in English
4 credits	A minimum of four credits of courses listed as Practical Training

○ **International Program (MPP/IP)**

**for students who enrolled in MPP/IP on or after April 1, 2017**

<NOTES>

Students must complete the required courses and gain credits for them in one of the policy streams of their choice from Economic Policy, Finance and Development (EPFD) or Public Management and International Relations (PMIR).

< **Economic Policy, Finance and Development (EPFD)** >

Required credits number	Completion Requirements
6 credits	<p>Completion of Law and Political Science courses listed below (6 credits, including 2 credits obtained for one of the compulsory elective courses indicate with * below)</p> <p><i>Public Management</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Politics and Public Policy*</li> <li>• Introduction to Public Management</li> <li>• Comparative Political Parties and Elections</li> <li>• Policy Process and Negotiation</li> <li>• Science, Technology and Public Policy</li> <li>• Governance and Development</li> <li>• Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process</li> <li>• Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia</li> </ul> <p><i>International Relations</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Introduction to International Politics*</li> <li>• International Conflict Study*</li> <li>• Field Seminar in International Relations*</li> <li>• International Relations and Political Regimes</li> </ul>



	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Modern Japanese Diplomacy</li> <li>• Security Studies</li> <li>• Insurgency and Counterinsurgency</li> <li>• Contemporary Chinese Politics</li> <li>• Contemporary Chinese Diplomacy</li> <li>• International Politics in East Asia</li> <li>• Conflict Prevention and Post Conflict Politics</li> <li>• Global Governance</li> <li>• New Dimensions of Security in the Risk Age</li> <li>• Transformation of Warfare and Technology</li> <li>• U.S. Diplomacy toward Asia</li> <li>• Asia-Pacific Security</li> <li>• Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy</li> </ul> <p><i>Law</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Law and Public Policy</li> <li>• Public International Law and Domestic Implementation</li> </ul> <p>※Subjects falling under this requirement were added. When the enrollee in AY 2018 or before acquire credits of those added subjects, it is counted as completion requirements credits of this requirement. Besides, it is also counted when you have taken them in AY 2018 or before.</p>
12 - 15 credits	<p>I. Completion of Basic Economics Courses listed below (12-15 credits from all the three groups 1 to 3)</p> <p>1 A or B or C</p> <p>A Microeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Microeconomics for Public Policy (1 credit)</p> <p>B Microeconomics (4 credits) and Practice Session for Microeconomics (1 credit)</p> <p>C Microeconomics I (2 credits) and Microeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>2 A or B or C</p> <p>A Macroeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics for Public Policy (1 credit)</p> <p>B Macroeconomics (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics (1 credit)</p> <p>C Macroeconomics I (2 credits) and Macroeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>3 A or B or C</p> <p>A Statistical Methods (4 credits) and Practice Session for Statistical Methods (1 credit)</p> <p>B Econometrics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Econometrics for Public Policy (1 credit)</p> <p>C Econometrics I (2 credits) and Econometrics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p>
8 credits	A minimum of eight credits of Case Studies offered by GraSPP

28 credits	A minimum of twenty-eight credits of courses taught in English (28 credits out of 46, double-countable)
4 credits	A minimum of four credits of courses categorized as Practical Training (4 credits out of 46, double-countable)

**< Public Management and International Relations (PMIR) >**

Required credits number	Completion Requirements
10 credits	<p>Completion of Law and Political Science courses listed below</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. A and B (4 credits) <ol style="list-style-type: none"> <li>A. Politics and Public Policy (2 credits)</li> <li>B. Compulsory elective courses (Choose one): Introduction to International Politics (2 credits); or International Conflict Study (2 credits); or Field Seminar in International Relations (2 credits)</li> </ol> <p>Note: If you have completed and earned credits for Politics and Public Policy given by Faculty of Law, you do not need to take this course in the GraSPP Program.</p> </li> <li>2. Choose three courses from Law and Political Science courses listed below, but not to be taken twice. (6 credits)</li> </ol> <p><i>Public Management</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Introduction to Public Management</li> <li>• Comparative Political Parties and Elections</li> <li>• Policy Process and Negotiation</li> <li>• Science, Technology and Public Policy</li> <li>• Governance and Development</li> <li>• Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process</li> <li>• Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia</li> </ul> <p><i>International Relations</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Introduction to International Politics*</li> <li>• International Conflict Study*</li> <li>• Field Seminar in International Relations*</li> <li>• International Relations and Political Regimes</li> <li>• Modern Japanese Diplomacy</li> <li>• Security Studies</li> <li>• Insurgency and Counterinsurgency</li> <li>• Contemporary Chinese Politics</li> <li>• Contemporary Chinese Diplomacy</li> <li>• International Politics in East Asia</li> <li>• Conflict Prevention and Post Conflict Politics</li> <li>• Global Governance</li> <li>• New Dimensions of Security in the Risk Age</li> <li>• Transformation of Warfare and Technology</li> <li>• U.S. Diplomacy toward Asia</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Asia-Pacific Security</li> <li>• Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy</li> </ul>
	<p><i>Law</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Law and Public Policy</li> <li>• Public International Law and Domestic Implementation</li> </ul> <p>※Subjects falling under this requirement were added. When the enrollee in AY 2018 or before acquire credits of those added subjects, it is counted as completion requirements credits of this requirement. Besides, it is also counted when you have taken them in AY 2018 or before.</p>
8 - 10 credits	<p>I. Completion of Basic Economics Courses listed below (8-10 credits when the option 1 is chosen or 9 credits with the option 2)</p> <p>1 Choose two out of A, B or C</p> <p>A Microeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Microeconomics for Public Policy (1 credit); or Microeconomics (4 credits) and Practice Session for Microeconomics (1 credit); or the set of Microeconomics I (2 credits) and Microeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>B Macroeconomics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics for Public Policy (1 credit); or Macroeconomics (4 credits) and Practice Session for Macroeconomics (1 credit); or the set of Macroeconomics I (2 credits) and Macroeconomics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>C Statistical Methods (4 credits) and Practice Session for Statistical Methods (1 credit); or Econometrics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Econometrics for Public Policy (1 credit); or the set of Econometrics I (2 credits) and Econometrics II (2 credits) offered by the Graduate School of Economics</p> <p>2 The following three courses</p> <p>A Principles of Microeconomics (2 credits)</p> <p>B Principles of Macroeconomics (2 credits)</p> <p>C Statistical Methods (4 credits) and Practice Session for Statistical Methods (1 credit); or Econometrics for Public Policy (4 credits) and Practice Session for Econometrics for Public Policy (1 credit)</p>
8 credits	A minimum of eight credits of Case Studies offered by GraSPP
28 credits	A minimum of twenty-eight credits of courses taught in English (28 credits out of 46, double-countable)
4 credits	A minimum of four credits of courses categorized as Practical Training (4 credits out of 46, double-countable)

○ Campus Asia Program (MPP/CAP)

for students who enrolled in MPP/CAP in the academic year 2015 or 2016

Required credits number	Completion Requirements
8 credits	<p>A minimum of eight credits listed below from the field of politics and law:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Law and Public Policy</li> <li>• International Conflict Study</li> <li>• Science, Technology and Public Policy</li> <li>• Modern Japanese Diplomacy</li> <li>• Policy Process and Negotiation</li> <li>• Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process</li> <li>• Governance and Development</li> <li>• Japanese Politics</li> <li>• Politics and Public Policy</li> <li>• Introduction to International Politics</li> <li>• Security Studies</li> <li>• Public International Law and Domestic Implementation</li> <li>• Japanese Government</li> <li>• Japanese Government and Politics</li> <li>• The Politics and Diplomacy of Contemporary China</li> <li>• International Politics in East Asia</li> <li>• Introduction to Public Management</li> <li>• Human Security: Asian Perspectives</li> <li>• Field Seminar in International Relations</li> <li>• Conflict Prevention and Post-Conflict Politics</li> <li>• Insurgency and Counterinsurgency</li> <li>• Transformation of Warfare and Technology</li> <li>• Comparative Political Parties and Elections</li> <li>• Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia</li> <li>• International Relations and Political Regimes</li> <li>• Contemporary Chinese Politics</li> <li>• Contemporary Chinese Diplomacy</li> <li>• Global Governance</li> <li>• New Dimensions of Security in the Risk Age</li> <li>• Transformation of Warfare and Technology</li> <li>• U.S. Diplomacy toward Asia</li> <li>• Asia-Pacific Security</li> <li>• Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy</li> </ul> <p>※ Subjects falling under this requirement were added. When the enrollee in AY 2018 or before acquire credits of those added subjects, it is counted as completion requirements credits of this requirement. Besides, it is also counted when you have taken them in AY 2018 or before.</p>
10 credits	Choose two categories from (1) to (3):

	<p>(1) A or B  A. Microeconomics for Public Policy  Practice Session for Microeconomics for Public Policy  B. Microeconomics  Practice Session for Microeconomics</p> <p>(2) A or B  A. Macroeconomics for Public Policy  Practice Session for Macroeconomics for Public Policy  B. Macroeconomics  Practice Session for Macroeconomics</p> <p>(3) A or B  A. Statistical Methods  Practice Session for Statistical Methods  B. Econometrics for Public Policy  Practice Session for Econometrics for Public Policy</p> <p>[Note] Applied Econometrics for Public Policy and Practice Session for Applied Econometrics for Public Policy or Econometrics and Practice Session for Econometrics offered until AY2015, you do not need to take these courses in the GraSPP program.</p>
8 credits	A minimum of eight credits of Case Studies
28 credits	A minimum of twenty-eight credits of courses offered in English
4 credits	A minimum of four credits of courses listed as Practical Training
12 credits	A minimum of twelve credits transferred in total from Pecking University and Seoul National University

# Course Registration

You should register your courses online using the UTAS system on the internet. You will need a user ID and password to log onto UTAS. These are noted in the "Password Notice" which was distributed during the new student orientation session.

## Registration period

- (1) From your personal computer, log onto UTAS using the URL below to register your courses. Intensive courses registration period is the same as regular courses registration period.

**S1, S1S2 and year-round courses: April 12 (Fri) – April 18 (Thu)**

**S2 courses: June 12 (Wed) – June 18 (Tue)**

**A1, A1A2 courses: October 1 (Tue) – October 7 (Mon)**

**A2 courses and W courses: November 25 (Mon) – November 29 (Fri)**

[UT–mate URL]

[https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do?locale=en\\_US](https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/campusportal.do?locale=en_US)

- (2) The consent from an academic advisor is required to register for “Research Paper”, “Thesis”, and “Internship”. Please submit your application form to the GraSPP Office for registration. (Your registration via UTAS is unnecessary.)

The registration procedure and period for “Research Paper” and “Thesis” will be announced via Current Students webpage. Further information on report writing requirements and the schedule will also be announced via Current Students webpage.

Internship applications are accepted as needed. Details on application procedures will be announced via Current Students webpage.

- (3) If you are experiencing difficulties with registration of courses via UTAS, please first check the syllabus or with the respective graduate school administrative offices on your eligibility to take those courses, then contact GraSPP Office within the registration period.

## Course registration withdrawal period

If you wish to withdraw from any of the courses in which you have registered according to Registration period mentioned above, you must de-register them using the UTAS system during this period. **Changes or additions to registration of courses are not allowed during this period. Besides, withdraw beyond this period is not permitted.**

**S1, S1S2 and year-round courses: April 22 (Mon) – April 25 (Thu)**

**S2 courses: June 24 (Mon) – June 27 (Thu)**

**A1, A1A2 courses: October 14 (Mon) – October 17 (Thu)**

**A2 and W courses: December 2 (Mon) – December 5 (Thu)**

※ Intensive Courses

Withdrawal of Intensive courses does not apply to the withdrawal period indicated above. Withdrawal of Intensive courses should be requested by notifying Graduate School Office via email to Graduate School Office by the end of the 1st class day of the course. Any request for withdrawal after the 1st class day of the course will not be accepted.

If there is any specific announcement given by the faculty of the course regarding withdrawal such as in the syllabus, such announcement will override the rule mentioned above. If intensive courses are offered from other faculties or schools, the rules at such faculties or schools will be prioritized.

### **[IMPORTANT] Maximum amount of credits**

At GraSPP, maximum amount of credits that students can register per academic year\* is 38 in order for students to achieve in systematic manner.

This includes credits for Research Paper, Thesis and Internship which registration is done outside of the registration period. The amount of credits are counted after the withdrawal period and not after the registration period. Courses students received M or F in previous semester shall also be counted as part of the maximum amount of credits.

**\*Fall enrolled students: academic year will be counted from fall.**

### **Caution: Registration of Courses with Other Faculties and Graduate Schools**

You cannot take courses for those case studies of Faculty of Law which are not joint curricular courses with GraSPP.

As the grades reporting period differ amongst faculties/graduate schools, there is a possibility that you will not be able to complete in time should your grades cannot be ascertained by the completion assessment period. Students in their final semester of studies should not take courses from other faculties or graduate schools as part of your credits required for completion. Those credits are NOT counted as required credits for completion.

### **Information: Courses for “Research Paper” and “Thesis”**

In AY2019/2020, GraSPP will offer three courses to strengthen English writing skills, presentation skills and effective delivery of works.

Students, especially those who are willing to submit either Research Paper or Thesis or those who seek to enroll in a PhD program, are advised to consider taking the course(s) below.

※Please check syllabus in the UTAS for more details.

Course Title : Essential Academic Skills: Writing and Research Planning

Course Number : 5123312-1

Name of Lecturer : MARSZALEC Daniel Janusz

Course Title : Academic Writing Basic Level I · II

Course Number : 5130211, 5130212

Name of Lecturer : FAYE Singh

Course Title : Academic Writing Advanced Level I · II

Course Number : 5130215, 5130216

Name of Lecturer : FAYE Singh

## Procedures for Academic Matters

### Registration and change of address, telephone number and e-mail address:

- (1) Once you receive a notice of your UTAS password, you must promptly register your address, telephone number and e-mail address through the UTAS system.
- (2) GraSPP Office may contact you via e-mail or telephone when necessary. **Be sure to check your e-mail address registered to UTAS.**
- (3) When critical matters arise (i.e. regarding completion requirements) or urgent issues occur, GraSPP Office will contact you via e-mail or telephone respectively. It is crucial that student register e-mail address and telephone number at all times in UT-mate and update in case of change in e-mail address and telephone number.

### Student Contact (Announcements etc.):

- (1) GraSPP Bulletin Board or Current Students webpage are to be checked daily by students as information on academic matters, scholarship, commencement ceremony information etc. are posted frequently.
- (2) Please also check information on examinations and cancellation of classes etc. of the joint curricular courses with other faculties and graduate schools, which are announced at their various respective bulletin boards.

### Issuance of certificates:

- (1) Some certificates, such as student records, student identification, and expectation of completion, as well as student fare cards are issued immediately by the automatic certificate dispenser.  
\* An expectation of completion certificate can be issued for only the second year.
- (2) Your PIN for the automatic certificate dispenser is the same as the UTAS password.
- (3) Other certificates are issued according to a "Application for Certificate" as follows.  
Certificates in Japanese: Issued next day (except Saturdays, Sundays and holidays)  
Certificates in English: Issued in a week (except Saturdays, Sundays and holidays)

### Tuition Payments:

- (1) Tuition payments are made twice a year for the summer semester (April – September) and the winter semester (October – March) and one half of the annual amount must be paid each in May and November.
- (2) Payment by automatic remittance from an account registered based on a tuition deposit account remittance request form.
- (3) Account remittance dates are May 27 for the summer semester and November for the winter semester (or the next business day if the payment date is a financial institution non-business day).
- (4) Please be sure to deposit an amount equal to the tuition payment in the relevant account at least one day prior to the remittance date.  
※ **There will not be notifications for each deduction of tuition fees.**

\* Reference: <http://www.u-tokyo.ac.jp/en/campus-life/students/financial-aid/tuition/payments.html>



**Scholarship Matters:** ※ (*mainly for Japanese Students*)

- (1) Primarily, scholarships are available under UT's in-house scholarship schemes, Japan Student Services Organization (JASSO), Local Public Organizations or Public Interest Organizations.
- (2) Please check GraSPP Current Students webpage on your own for information on application procedures and schedule etc, which will be announced when available.

※ **International Students should be careful of information from International Student Adviser. Please ask International Student Adviser if you want to know the details.**

\* Reference: <http://www.u-tokyo.ac.jp/en/campus-life/students/financial-aid/scholarships/>

**Changes on your student registration status:**

If you wish to request permission for temporary withdrawal, study abroad, change of division, or extension of your enrollment period, you must submit a designated application form to the GraSPP Graduate School Office to request permission one month in advance of the commencement of the requested leave. For more information, see the sections relating to the procedures for “temporary withdrawal”, “foreign travel”, “changing program” and “extension of enrollment period” below.

**GraSPP Graduate School Office**

Office hours: 9:00 – 17:00

(Except Saturdays, Sundays, holidays, the New Year holidays and the day of entrance exam)

E-mail: [ppin@j.u-tokyo.ac.jp](mailto:ppin@j.u-tokyo.ac.jp)

Phone: 03-5841-1349 (same as office hours)

- Procedures for temporary withdrawal

If you wish to temporarily withdraw from your degree, you should keep the following in mind:

### 1. Procedures

If you wish to temporarily withdraw from your study at GraSPP, by one month before submit a designated application form to the GraSPP Graduate School Office to request permission.

For the criteria regarding the granting of permission for temporary withdrawal, refer to the “Criteria for Granting Permission for Temporary Withdrawal by Student” and the “Scope of Recipient of Care and Activities of Social Merits for the Criteria for Granting Permission for Temporary Withdrawal by Student”.

The maximum period for temporary withdrawal is one year. If you wish to extend your withdrawal beyond this period you must re-apply at least two months before the expiration of your permitted withdrawal.

(Documents required for the application of temporary withdrawal)

For studying (taking course) abroad	Application for permission of temporary withdrawal; study plan; letter of acceptance or student identification from the foreign institution.
For scientific research abroad	Application for permission of temporary withdrawal; research/field trip plan (including itinerary)
For financial reasons	Application for permission of temporary withdrawal; letter of explanation
For medical reasons	Application for permission of temporary withdrawal; doctor’s certificate
Due to childbirth or childcare commitments	Application for permission of temporary withdrawal; maternity record book (copy)
For nursing care	Application for permission of temporary withdrawal; doctor’s certificate
For activities of social merit	Application for permission of temporary withdrawal; activity plan
For a home visit (foreign students)	Application for permission of temporary withdrawal; letter of explanation

### 2. Temporary withdrawal, years required for completion and years in enrollment

(see Article 18 of The University of Tokyo Rules on Graduate School Professional Degree Programs)

The duration of temporary withdrawal to be permitted is a minimum of two months but shall not exceed two years.

You should note that the period of your temporary withdrawal will not be included in the calculation of the years required for completion (i.e., 2 years) and the limit on years in enrollment (i.e., 3 years). You are not allowed to take any courses during the period of temporary withdrawal.

### 3. Re-enrollment

Once the reason for your temporary withdrawal becomes non-existent at any time during your leave, you must submit a designated application form to the GraSPP Graduate School Office to request permission. You must follow the same procedures when you return to school at the end of your temporary withdrawal period.

#### 4. **Tuition fees**

You are exempted from payment of tuition during your temporary withdrawal. If you have not completed the temporary withdrawal procedure on time, you should note that you could pay tuition for either the summer or winter semester even if you will be absent from your studies.

When you receive permission to return to your studies, you must pay tuition fees during the month in which you return for the entire period from that month to the end of the semester. Any tuition which has been paid will not be refunded.

- **Procedures for foreign travel**

1. **Traveling abroad while on leave for temporary withdrawal**

If you intend to enroll in an educational or research institution abroad, or conduct research and field trips abroad, you must take procedure of temporarily withdraw.

The period of temporary withdrawal (a maximum of two years) will not be included in the calculation of the years required for completion and the enrollment limit. Further, if you have submitted and received approval for an application for temporary withdrawal prior to the end of the submission period (end of February for the summer semester and end of August for the winter semester), you will be exempted from paying tuition fees for the period of your temporary withdrawal (see “Procedures for temporary withdrawal”).

2. **Studying abroad** (Article 9, Paragraph 2 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy)

If you wish to study at a university in a foreign country, you must carry out the procedures required by the Graduate School Office.

If you will be taking courses which are related to your major and earning credits for those courses at a university abroad, you may be deemed to have taken the equivalent courses at GraSPP and gain credits up to one-half of the credits required for completion of the course. (Note: If you have transferred credits which existed prior to your enrollment pursuant to Article 10 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy, contact the GraSPP Graduate School Office before starting the application procedures).

For study at a university affiliated under a student exchange agreement with GraSPP, refer to the notices separately posted.

3. **Foreign travel**

When you travel abroad for less than two months, you must submit a "Notice of Travelling Abroad".

- **Procedures for changing program (sub-specialization)**

You may be allowed to change your program (sub- specialization) if you are deemed to have an acceptable reason. (See Article 2, Paragraph 2 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy) You may change your program only once during your enrollment. In order to change program, you must (1)study in the currently enrolled program at least one year, and, (2)complete some of the courses (class subjects) offered by the program in which you wish to change, and show the certain level of academic achievements.

When you want to change your program, please make sure to check with the GraSPP Graduate School Office beforehand for more details.

1. **Procedures for change**

If you wish to change your program, you must submit a designated application form to the Graduate

School Office to request permission at least one month before the commencement of the term in which you wish to make the change.

## **2. Change of program, temporary withdrawal period, years required for completion and limit on years enrolled**

The number of years required for completion, the limit on years enrolled and the duration of temporary withdrawal are aggregated with the years you have accumulated before the change.

## **3. Treatment of credits previously taken**

Credits which you have already gained before you change program may be included in the calculation of the credit requirements as stipulated in Article 4 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy.

- **Procedures for extension of enrollment period**

The standard period of enrollment is two years (see Article 3 of The University of Tokyo Rules for the Graduate School of Public Policy).

If you wish to extend your enrollment beyond this standard limit, you must submit a notice of extension of enrollment on or before the end of the month preceding the month for your original completion. (Long-term students should contact the Graduate School Office for confirmation).

It should be noted that enrollment in GraSPP is limited to three years (see Article 17 of The University of Tokyo Rules on Graduate School Professional Degree Programs). Accordingly, you can extend your enrollment for one only year (excluding the period of temporary withdrawal).

## Various Contact information list

Main Matters In Charge	Advising Centers	Place
Matters relating to Registration, Courses and Grades, UTAS, Classroom	<b>Graduate School Office of GraSPP</b> 03-5841-1349	13th floor, International Academic Research Bldg.
Matters relating to Overseas Exchange and Double Degree Program	<b>International Affairs Office of GraSPP</b> exchange@pp.u-tokyo.ac.jp	13th floor, International Academic Research Bldg.
General Guide to Campus-wide Consultation Facilities(Departments)	<b>One-Stop Resources Office</b> 03-5841-7867、0786 <a href="http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/nandemo_en/">http://dcs.adm.u-tokyo.ac.jp/nandemo_en/</a>	Research Prefabricate Bldg. A (next to Second Refectory)
Counseling and Consulation relating to Academic Life, Career Options and Interpersonal Relations.	<b>Student Counseling Center</b> 03-5841-2516 <a href="http://scc.u-tokyo.ac.jp/about/index-e.html">http://scc.u-tokyo.ac.jp/about/index-e.html</a>	Research Prefabricate Bldg. A (next to Second Refectory)
Career Advice, Job Search Assistance	<b>Career Center</b> 03-5841-2650、3989 <a href="http://www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/internationalstudents">http://www.careersupport.adm.u-tokyo.ac.jp/internationalstudents</a>	B1, Student Support Center
Matters relating to Exemption and Deferred Payment of Entrance Fee and Tuition Fees	<b>Scholarship Team, Student Scholarship and Welfare Group</b> 03-5841-2547、2548	B1, Student Support Center
Matters relating to Scholarships from JASSO, Local Public Organizations or Public Interest Organizations	<b>Scholarship Team, Student Scholarship and Welfare Group</b> 03-5841-2520、2536、2543	B1, Student Support Center
Matters relating to Printer and Copy Machine located PC room	<b>The University of Tokyo CO-OP</b> 03-3816-0711	
Recommendation of Apartment, Lodging	<b>The University of Tokyo CO-OP</b> 03-5841-7945	Basement floor, Faculty of Law & Letters Bldg.2
Regular Health Check, Medical Examination and Health Consultation	<b>Hongo Health Service Center</b> 03-5841-2573 <a href="http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/en/index">http://www.hc.u-tokyo.ac.jp/en/index</a>	2nd floor, Administration Bureau Bldg.2
Matters relating to Sexual Harassment	<b>Harassment Counseling Center</b> 03-5841-2233 <a href="http://har.u-tokyo.ac.jp/">http://har.u-tokyo.ac.jp/</a>	Room S107, 1st floor, Faculty of Medicine Bldg.1
Matters relating to Academic Harassment	<b>Student Counseling Center, Harassment Counseling Center, etc</b>	
Matters relating to lost items, security and theft in campus	<b>SECURITY OFFICE</b> 03-5841-4919	1st floor north side, Yasuda

## GraSPP Room Use Guidelines

Followings are to set general rules for students' use of GraSPP facilities in Akamon General Research Building and International Academic Research Building.

### I Akamon General Research Building

#### 1. Rooms open to students / How to enter

4 <sup>th</sup> floor, Akamon General Research Building			
Name	Seats	Equipment	How to enter
Student Study Room N	54		Locked all the time.
Student Study Room W	30		To enter, touch your student ID card onto the card reader near the door.
Computer Lab	24	24 computers 2 copiers	Locked all the time. To enter, touch your student ID card onto the card reader near the door.
Discussion Space 1	6		Unlocked all the time.
Discussion Space 2	6		
Discussion Space 3	6		
Discussion Space 4	6		
Discussion Space 5	6		
Student Locker Room			Unlocked all the time.
Student Lounge		1 copier	Unlocked all the time.

#### 2. Available days for students

1) In principle, students are able to use the rooms listed above except for the designated close off dates such as New Year's holidays and days for entrance exams. Unavailable dates will be announced to students in advance.

#### 3. Important notes for using Student Study Rooms and Computer Lab

- 1) Keep quiet and refrain from disturbing others in the room. Set your cell phone to silent mode and refrain from talking on the phone.
- 2) Eating and drinking are not allowed in the room except for pet bottles, in principle.
- 3) Do not occupy desks with your personal belongings.
- 4) Use the room and its equipment with care. Do not damage them.

5) In order to save energy, turn off all the lights, air conditioners, and computers when you do not use them or leave the room. Be sure to close the windows after use.

6) GraSPP may delegate the use of the rooms to its students as long as they take good care of using the rooms in an autonomous way following the room use guidelines.

In case they do not follow the guidelines and inappropriate use is found, GraSPP will limit its students' room use.

#### 4. How to use Discussion Spaces

1) Items 2)-6) of the above "Important notes for using Student Study Rooms and Computer Lab" are applied.

#### 5. Important notes for using Student Locker Room and Student Lounge

1) Use and take good care of an approved locker with your own responsibility.

2) Eating and drinking are allowed in the Student Lounge. Use Lounge and its equipment with care, do not damage them. In order to save energy, turn off all the lights and air conditioners when you leave.

## II International Academic Research Building

### 1. Rooms open to students / How to use

12 <sup>th</sup> Floor, International Academic Research Building		
Name	Seats	How to use
Seminar Room A	36	Reservation required at Graduate School Office
Seminar Room B	24	
Seminar Room C	24	
Seminar Room D	24	
Seminar Room E	36	
Seminar Room F	12	

### 2. Available days & time for students

1) In principle, students are able to use the rooms listed above except for the designated close off dates such as New Year's holidays and days for entrance exams. Unavailable dates will be announced to students in advance.

2) Rooms can be used from 9:00 am to 10:30 pm.

### 3. How to use Seminar Rooms

1) Seminar Rooms can only be booked for students' study group.

2) Room reservation is required at Graduate School Office.

- 3) A student can book a room for 2 hours in principle. If the room is still available after his/her use on the day, he/she can extend the time of use.
- 4) GraSPP's courses and events have priorities of using the Seminar Rooms. Even if the room was booked by a student in advance, his/her reservation might be re-arranged by GraSPP when needed.

#### 4. Important notes for using Seminar Rooms

- 1) Eating and drinking are not allowed in the room except for pet bottles, in principle.
- 2) Use the room and equipment with care. Do not damage them.
- 3) In order to save energy, turn off all the lights and air conditioners when you do not use them or leave the room. Be sure to close the windows after use.
- 4) In case students do not follow the room use guidelines and inappropriate use is found, GraSPP will limit its students' room use.



## Important Reminder on the Course Registration

Basically, you may not register courses which have same names as the courses for which you have already earned credits for, except for the following course.

・5140735 Case Study (GraSPP Policy Challenge for SDGs 1) (The course title before the change : Case Study (GraSPP Policy Challenge I)) ※You may earn up to four credits.

As for the subjects of the list shown below, the course title is changed, but the registration of those who acquired the credits of right side course by last year is not accepted because the contents are the same.

Course Title in AY 2019/2020			Course Title in AY 2018/2019		
Course No.	Course Title	Credits	Course No.	Course Title	Credits
5121452	アジア・ビジネス法	2	5121452	アジアビジネス法と企業法務	2
5122375	Causal Inference	2	5122375	Quantitative Social Science	2
5122384	Space Development and Public Policy	2	5122384	宇宙開発と公共政策	2
5123211	Development Economics II (Methods in Advanced Development Economics)	2	5123211	Advanced Development Economics	2
5123485	Environmental Economics	2	5123485	Natural Resource and Environmental Economics	2
5130072	Economic Structural Policy and Abenomics	2	5130072	Globalization and Economic Structural Policy	2
5130210-1	Presentations and Discussion I	2	5130210-1	Presentations and Discussion	2
5130210-2	Presentations and Discussion II	2	5130210-2	Presentations and Discussion	2
5130211	Academic Writing Basic Level I	2	5130211	Academic Writing Basic Level	2
5130212	Academic Writing Basic Level II	2	5130212	Academic Writing Basic Level	2
5130280	Macroeconomics in the real world: A view from the IMF	2	5130280	Life at an IFI: Understanding, Designing and Debating Macroeconomic Policy	2
5140162	事例研究 (デジタル時代の行政と社会I)	2	5140162	事例研究 (デジタル時代の行政と社会I(デジタル時代における行政制度の変容と課題))	2
5140163	事例研究 (デジタル時代の行政と社会II)	2	5140163	事例研究 (デジタル時代の行政と社会II (現代行政情報システム特論) )	2

5140404-1	Case Study (Foreign Policy of Japan I)	2	5140404-1	Case Study (Japan's Asia Pacific Policy I)	2
5140404-2	Case Study (Foreign Policy of Japan II)	2	5140404-2	Case Study (Japan's Asia Pacific Policy II)	2
5140416	Case Study (Global Financial Policy Making)	2	5140416	Case Study (FSB's Global Financial Policy-Making)	2
5140610	事例研究（科学技術と政治・行政 I）	2	5140610	事例研究（科学技術と政治・行政）	2
5140741	Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)	2	5140741	Case Study (Project Based Learning on the Medical, Environmental and IT Innovation and the Role of Public Policy)	2
5140751	事例研究（社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 I）	2	5140751	事例研究（社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 III）	2
5140752	事例研究（社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 II）	2	5140752	事例研究（社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 IV）	2

# 授業内容概略

## **Class Summaries**

時間表、詳細、最新版は UTAS 及び公共政策大学院の Web サイトで確認すること。

Make sure to check class schedules, details, and updated versions via UTAS and in GraSPP Website.

Reference : <http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/en/education/courses/>



基 幹 科 目

Basic Courses



Course Code	5111010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	民事法の基層と現代的課題				
Faculties	石川 博康				
Course Objectives/Overview	<p>法の生成・展開過程や法を支える社会の構造等を踏まえた基礎的考察を通じて法の基層に降り立つことは、民事法における諸制度を設計し、またそれを解釈・運用するに際しての欠くべからざる諸前提のうちの一つである。本講義では、既存の法制度を評価し、また新たに法制度を構想する際に必要な、民事法の基本的な考え方および概念について講義する。法学未習者と、学部で民事法を一通り勉強した学生で民事法を支える理論的諸基盤についてより広い視野からもう一度理解し直そうと考えている者とを、対象とする。</p> <p>本年度は、民事法の諸制度を支えている歴史的基盤に着目し、現代法に関し法史学の観点からの一定の見通しを得ることを目的とした検討を行う。</p>				

Course Code	5111020	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公法の基層と現代的課題				
Faculties	小島 慎司／横田 明美				
Course Objectives/Overview	<p>法学未修者のみならず、学部で公法を一通り勉強した学生であっても、公法の全体を広い視野からもう一度理解し直したい者をも歓迎する。前半は小島（憲法）が担当する。既存の法制度を評価し、また新たに法制度を構想する際に必要な、憲法学の基本的な考え方および概念を講義する。重点的にテーマをしばり、また現実の具体的な諸問題を素材にして、講義を進める。後半は横田（行政法）が担当する。公共政策の良き担い手や発案者となることができるよう、「行政を動かし、コントロールして政策を実現するための法」としての行政法を概観する。とりわけ、法執行過程の全体を手続として捉えることができるようになることを目標とする。</p>				

Course Code	5111050	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	財政法				
Faculties	藤谷 武史				
Course Objectives/Overview	<p>財政法は、文字通り「財政」を規律する法規範の体系であるが、政治的・経済的動態性を本質とする財政を法学的に扱うことは、元来、極めて困難な企てである。財政の法学的把握は未だ満足な水準に達しておらず、しばしば現象の後追いの記述に留まる。しかし、ある時期までの近代議会民主制の展開を主導したのが財政問題であったことを考えれば、「財政の法学的把握」を巡る如上の現状は論理必然とは言えないし、むしろ深刻な方法論的反省の対象とされて然るべきであろう。</p>				

	<p>斯様な問題意識に立脚する本講義は、(1)財政法学が議論すべき対象としての「財政」を幅広い構造の中で捉え、(2)方法論の拡張によって実質的に意味のある「財政の法学的把握」を提示することを目的とする。第(1)の側面では、最低限、財政と金融市場や通貨秩序(いずれもその国際的側面を含む)の関係が視野に含まれる。第(2)の側面では、現代財政の機能面での変質(特に社会保障制度による財政の時間軸の長期化)が財政法にいかなる質的变化をもたらしたか、に特に注意が喚起され、この構造を把握しうる法的概念が探究される。そのために、現在進行形であり未だ正解が(国際的にも)確立していない財政上の諸問題、例えば、日本銀行の量的金融緩和政策と公債保有、財政規律ルール導入、いわゆる「国富ファンド」、政府調達における社会的政策追求の可否など、を具体的に論じ、これらとの対峙を通して現代財政の実像に即した財政法学の体系と課題を析出したい。</p>
--	--

Course Code	5111060	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地方自治法				
Faculties	板垣 勝彦				
Course Objectives/Overview	地方自治に関する法制度、裁判例、学説、運用状況を理解し、解釈論を展開する能力、立法論を展開する能力を身に着けること。				

Course Code	5111070	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地方財政・租税論				
Faculties	増井 良啓				
Course Objectives/Overview	<p>デジタル化の進む近未来をみすえて、技術革新が私たちの社会や法にどのようなインパクトを与えるかをじっくり議論します。表題の「AIと税制」は、このような大きな動きを象徴する典型例です。このゼミでは、これにとどまらず、GoogleやAmazonの国際的タックス・プランニングや、Bitcoinで話題を呼んだ仮想通貨の課税取扱い、IPボックスをはじめとする研究開発税制の世界的動向、FinTechで変わる金融・会計と税制の関係、徴税プロセスの電子化やビッグデータの活用、シェアリング・エコノミーの課税問題、BEPS行動1で積み残されたデジタル経済の課税、AI活用が進む中での専門職の今後のあり方、デジタル・デバインドへの対応といったような問題を、参加者の希望に応じて幅広くとりあげ、内外の文献を読み進めていきます。</p>				

Course Code	5111080	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	租税政策				



Faculties	中里 実／米田 隆
Course Objectives/Overview	租税法における重要判決について、理論的な分析を加え、議論する。

Course Code	5111090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	立法学				
Faculties	茅野 千江子				
Course Objectives/Overview	<p>この講義は、法律はどのように作られるか、という「立法」の実態について、具体的なイメージを持っていただくことにより、「立法」に関する理解を深めるとともに、法律の作成等に関わることとなったときに必要となる、基礎的な知識と思考方法を習得していただくことを目標としている。</p> <p>講義に当たっては、担当者の長年にわたる立法の実務経験を基に、出来るだけ多くの立法例を紹介し、それらについて一緒に考えていただくことにより、いわば立法の「疑似体験」をしていただくことを目指している。</p> <p>具体的な進め方としては、まず、(1) ①立法政策が法律案の形に取りまとめられ国会に提出されるまでのプロセス (=「立案過程」) 及び②国会に提出された法律案が国会において審議されるプロセス (=審議過程) 【以上「立法過程」】、(2) 立法事実に基づき、立法政策の内容を確定するために行われる種々の観点からの検討 【「立法政策」・「法制度設計」】、(3) 法律を作成する際の基礎となる様々な約束事(法律の形式、法律や条文の構造、用字・用語等) 【「立法技術」】について、近年の我が国の立法をめぐる変化を踏まえながら、基礎的、総論的な説明を行う。</p> <p>次に、立法政策の各論的な位置づけとして、近年の立法を特徴づけるテーマなど7項目について、それぞれに関する概括的な説明を行った後、実際の立法例を基に、その法制度設計における検討内容や問題点を紹介する。その際には、その立法過程についても併せて紹介するほか、特に知っておいていただきたい立法技術について説明する。</p> <p>なお、これらの法律の作成に関する知識や思考方法の習得は、現行法を読み解く際にも役立つものではないかと考える。</p>				

Course Code	5111110	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	刑事政策				
Faculties	川出 敏裕				
Course Objectives/Overview	現在の刑事政策に関わる様々なテーマにつき、その問題状況を把握するとともに、あるべき解決策を探ることを目的とする。				

Course Code	511120	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	知的財産政策				
Faculties	加藤 浩				
Course Objectives/Overview	<p>知的財産権とは、特許権、商標権、意匠権、著作権などの総称であり、近年、政策的なアプローチの重要性が高まっている。本講義では、これらの知的財産権を取り扱う知的財産政策について、基礎理論を整理した上で、知的財産政策の経緯と現状について解説し、今後の政策課題について考察することを講義のねらいとする。講義では、第一に、知的財産分野の主要なテーマごとに、知的財産政策について講義を行う。例えば、企業・大学における知的財産活動の現状・課題や、イノベーション政策、情報社会などのテーマにおける政策課題について考察する。また、秘密情報管理や安全保障との関係から、知的財産政策の今後の方向性について検討する。第二に、クールジャパン戦略について解説し、文化政策や地域政策における知的財産行政の現状と課題について考察する。また、文化多様性・生物多様性と知的財産政策との関連性についても考察する。第三に、グローバルな視点から、知的財産政策について講義を行う。例えば、途上国に対する開発投資や環境保全における知的財産政策の役割について考察する。また、人権保護の観点を含めて、医薬品行政・医療行政と知的財産政策の在り方について考察する。受講生として、公共政策に関心のある文科系の学生・社会人だけでなく、技術系の学生・社会人も想定し、最近のトピックス（オープンイノベーション、AI（人工知能）、ブランド戦略、クールジャパン政策、産学連携など）も適宜取りあげていく予定である。講師の意図としては、知的財産法制・政策がどうなっているかより、なぜそうなっているかを考えることに主眼を置いた講義を進めることとしたい。教科書、参考書は、最初の講義で紹介するが、原則として、講義資料を講師が作成して毎回、配布する。（希望者には、経済産業省、文部科学省、文化庁の見学などを実施する予定。）</p>				

Course Code	511150	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際組織と法				
Faculties	森 肇志				
Course Objectives/Overview	<p>近年国際条約、とりわけ多数国間条約が数多く結ばれているが、これらのうち、条約により運営機関が設置されるものが多くみられ、条約体制と呼ばれるものが形成されている。それらは当該条約の適用・執行さらには発展という、国際法の実現において大きな役割を果たしている。</p> <p>また、そうした条約の多くは、それを実施するための国内法や国内裁判所による適用等を通じて、国内法平面においてもますます重要になってきている。</p> <p>本演習では、こうした条約体制（国際組織を含む）の構造ならびに</p>				

	<p>実際の運用のあり方を、参加者のリサーチを中心に明らかにすることを通し、現代国際法の現実の姿の一端を明らかにする。具体的イメージとして、2015年10月から2017年9月まで『法学教室』に連載された「国際条約の世界」、とりわけ2015年10月号掲載の「連載開始にあたって」を参照されたい。</p> <p>本演習は法科大学院との合併授業である。</p>
--	---

Course Code	5111160	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際経済法				
Faculties	中谷 和弘／北村 朋史				
Course Objectives/Overview	WTO法と国際投資法を中心に講義する。国家債務、経済制裁等に関する国際公法上の問題にも触れる。実務家の特別講義を予定している。				

Course Code	5111170	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際人権法				
Faculties	寺谷 広司				
Course Objectives/Overview	今日、人権は国際社会における最も中心的な関心の一つであり、日本でも法曹関係者を初め、多くの立法・行政機関関係者、民間団体が「国際人権」に関与するようになってきている。この授業では、人権の国際的保障の現状とあるべき姿について考察する。そのために、現行諸制度の仕組みと運用について理解を深めるのはもちろんのこと、背景となる歴史と理論、特に国際法理論との連続を重視して討論する。				

Course Code	5111190	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and Public Policy				
Faculties	SATO Chiaki				
Course Objectives/Overview	This course aims to learn and think how to realize public policies by laws in Japan. The goal is to have enough abilities in analyzing and making a presentation about solving strategies to public issues we face. Also, we will compare Japanese ways and those of other countries for implementation of public policies. We will learn rule making processes and implementation of public policies with reading, writing, and discussing in this course.				

Course Code	5111200	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	法制執務の基礎と応用-法治国家の政策対応				

Faculties	外山 秀行
Course Objectives/Overview	政府の各府省は、所管法令について、個別事案に応じた解釈運用を行うとともに、新たな政策課題に対応した制度改正を行うべく企画立案事務を遂行している。本講義は、こうした法令の解釈運用と企画立案に当たって必要となる基礎的・技術的な事項を解説し、併せて、立法過程の仕組みを概観することにより、法令解釈、立法技術、立法過程の三分野にわたって、法制執務に携わるために必要な知識を養成することを目標とする。

Course Code	5111210	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Japanese Law				
Faculties	FISHER James				
Course Objectives/Overview	This course will give help students understand the fundamentals of law in contemporary Japan. Students will emerge with at least a foundational understanding of key concepts in Japanese law, both in isolation and in their social context. Students will learn critically to discuss strengths and weaknesses of various areas of Japanese law, and offer comparisons with other systems where appropriate. The course assumes no knowledge of Japanese law, or law in general.				

Course Code	5112010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治学 I				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	政治系諸科目を履修したことがない、または政治学を基礎から学び直したい公共政策大学院生を主対象として、政治学的なものの見方や基礎的な概念を一通り把握できるようになることを目標とします。				

Course Code	5112020	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治学 II				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	官僚制、政官関係、地方自治制度等、行政学の基本的な知識を習得することを目的とする。諸制度の概略、現在の研究の成果とその課題等に関して、講義を行うとともに、これらに関する基本的な文献講読を並行して行う。まず、毎週テーマに沿って政府の制度、機能等に関する講義を行う。その後で、指定された文献を事前に読んできたことを前提して、行政学の諸課題がどのように議論され、またどのような枠組みで把握されてきたのかを、参加者の議論を通じて学んでゆきたい。				

Course Code	5112030	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政治思想と公共政策				
Faculties	荻部 直				
Course Objectives/Overview	<p>政治思想上の諸問題は、政策を作り、運用する過程に、さまざまな形で深くかかわっている。これは、いわゆる「公務員倫理」（あるいは「政治倫理」？）といったような、決定者の心得にとどまるものではない。現場で直面する、個々の課題について選択を迫られるとき、結論に至る筋道は多くの場合、何がいったい「平等」か、人のいかなる「自由」を守るべきか、政府がなすことの限界をどうさだめるか、そもそも「政治」とはいったい何なのか.....といった、原理上の問いについて、当面する状況に適したアイデアを見いだす思考作業と切り離せないのである。</p> <p>この授業は、担当者の報告と、参加者全員の討論による、演習形式で行なう。研究者養成コースである、大学院法学政治学研究科総合法政専攻と合併。</p>				

Course Code	5112040	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	政策分析				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	<p>政策分析は、決定者に対してどのような政策的な選択肢が存在するのかを示し、その効果やコスト等に関する情報を明らかにするものである。この授業においては、政府が社会経済に働きかける政策の様々な手段という側面を中心的な視点にして考察してゆく。</p> <p>まず、最初に現在のガバナンスの変容が政策手段の選択にどのような影響を与えているのか、その大きな動きについて論ずる。さらに、政策の様々な手段を評価し、判断する軸として、どのような観点が重要となるのかを議論する。次に、具体的な政策の事例を挙げながら、(1) 規制、補助金、直接供給等といった政府の用いる政策手段の基礎的なレパートリーにどのようなものがあるのか、また、(2) 個々の政策手段には、どのようなメリットとデメリットが存在するのか、さらに(3) 個々の政策手段が有効に機能する条件はどのようなものであるのか、について考察してゆきたい。この授業を通じて、政策的な課題に対応するための手段的な選択肢についての一定の見取り図を得、具体的な課題にそって具体的な手段を組み合わせ新たに構築してゆくための基礎的な能力を身につけることを目的とする。</p>				

Course Code	5112050	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	自治体行政学				
Faculties	金井 利之				

Course Objectives/Overview	<p>本講義では、現代日本の自治体行政に関して、実際の制度と運用に即して概説する。</p> <p>行政学各論として、行政学一般を都市自治体に適用する講義を行う。</p> <p>なお、行政学各論としての性格から、都市政治・自治体政治に関することは、基本的には本講義の対象外かもしれないが、政治行政の密接な関係から、重要な環境要因として解説する。また、自治体政府相互の関係、あるいは、自治体政府と全国政府の関係は、政府間関係論の領域かもしれないが、必要な範囲で、本講義でも言及することはある。</p>
----------------------------	--

Course Code	5112060	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	公共管理論Ⅰ				
Faculties	金井 利之／尾西 雅博				
Course Objectives/Overview	<p>公共政策の形成、実施、評価は、主として行政機関による組織的活動である。組織活動を効果的に実施するためには、多数の要素から構成されている組織活動の適切な「管理」が不可欠である。この授業では、このような公共政策に関する管理を「公共管理」と捉え、その基本的な考え方について述べるとともに、統治制度の枠組に触れた後、行政組織について、「行政管理」のための資源と手法、病理、改革等の基本的事項について考察する。今年度も以前に引き続き、行政管理の中心的なテーマであるとともに「基盤行政」ともされてきた、人事管理及び公務員制度について、公務員制度改革にも焦点を当てながら講義を展開する。</p>				

Course Code	5112070	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	公共管理論Ⅱ				
Faculties	柳生 正毅				
Course Objectives/Overview	<p>公共の担い手である行政組織及び公務員並びにそれらが行う事務については、法令等に基づき様々な管理がなされている。</p> <p>本講義においては、中央省庁及び国家公務員並びにそれらが行う事務に関する状況や管理手法等について、制度を中心としつつ実務の観点も踏まえて、考察を行うことで、公共管理の実態を明らかにしつつ、今後の行政の在り方や管理の仕方等について検討するための視点を提供することを目標とする。</p>				

Course Code	5112080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ポリティカル・メソドロジー				
Faculties	加藤 淳子				

Course Objectives/Overview	政治学の方法論の基礎を身につけることを目的とする。比較の方法を中心に、基本的なゲーム理論・社会的選択理論を含む合理的選択理論、基本的な統計分析の考え方、歴史的アプローチを含む新制度論、実験の方法など、政治学における分析手法を幅広く取り扱う。これらの文献は、海外の大学院プログラムで読まれている基本的なものであり、この授業に参加することで、政治学の様々な方法を包括的に理解することができる。				
----------------------------	--	--	--	--	--

Course Code	5112090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際行政論				
Faculties	城山 英明				
Course Objectives/Overview	国際行政とは国境を越えた相互依存にともなう諸課題を解決するための様々な組織的マネジメントである。多国間国際組織の活動のみならず、二国間等の調整活動やNGO等の活動も含まれる。国際組織と国、NGOといった組織間関係のマネジメントも1つの焦点である。国際行政は2つの特質を持つ。第1に国際行政の対象は多量かつ多様である。第2に国際行政活動は諸主権国家制という分権的な統治制度の下で行われる。本講義では以上のような基本的特質を持つ国際行政現象について、組織論、管理論（財政、人事等）、活動論の観点から行政学的に分析することを試みる。活動論に関しては、国際安全保障（国際刑事司法を含む）、国際援助、専門的技術的行政（国際的規制調和等）の具体的事例をとりあげる。				

Course Code	5112101	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際政治経済Ⅰ				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	国際政治経済論は国際政治と国際経済は相互にどのように関係しているのかを理論的かつ体系的に解明することを目標とする。理論的枠組みとしては、現在の国際関係理論の主要理論であるリアリズム、リベラリズム、コンストラクティビズムを中心に考察する。応用分野としては、通商、通貨、金融、開発などのほか、環境問題も扱う。				

Course Code	5112102	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治経済Ⅱ				
Faculties	樋渡 展洋				
Course Objectives/Overview	現在の国際経済の政治的統治の特徴は政治と経済、政策決定の国際要因と国内要因が交錯することにある。戦後の西側先進諸国の政治経済は「埋め込まれた自由主義」と称され、戦間期の民主制と国際				

貿易・通貨制度の崩壊を教訓に、その特徴としては、民主政治の帰結としての国内経済政策による経済発展と社会安定を前提に、国際経済機関の下での国家間合意による自由な貿易、資本移動を拡大させて来たことにある。近年の最も注目すべき展開は、民主化の第三の波や社会主義体制の崩壊により、民主政体と市場経済に立脚した「埋め込まれた自由主義」が国際的に規範化され、新興民主国や発展途上国に波及していることである。それに伴い、国際経済協定の数が急速に増大し、国際経済機関の役割が拡大し、地域的経済統合が深化してきている。その結果、「埋め込まれた自由主義」は、政治と経済、政策の国際要因と国内要因の連動関係を一層強化させるかたちで（その空洞化の可能性を含めて）変容している。

国際政治経済とは、このような現状を念頭に、政府の対外経済政策や国家間の経済関係の政治的要因を理解する学問で、その独自性は、経済的要因を前提に、それらの国際・国内政治の影響について究明するところにある。その分析枠組は—

外経済政策・国際経済関係 = 政治的独立変数 + 経済的制御変数+ 政治的\* 経済的交差変数

と定式化でき、制御変数に関しては経済学の基礎理論を引用し、独立変数に関しては国際政治や現代政治分析の知見を応用する。

本講は、このような国際政治経済の基礎と最近の理論展開および最新の実証成果を紹介する。

国際経済関係の規定要因としての国内制度や国際協定に焦点を当てることは、経済危機や経済開放の世界的伝播とそれへの対応としての構造改革を理解する上で極めて重要である。そして、経済の国際化に伴い、安定的な経済運営と政権維持の両立に迫られた政府の政策的選択肢がどう制約・規定され、各国政府の政策的対立・連携の結果、地域・国際経済関係がどう展開・変容しているかを理解することは、行動主体としての国家が経済政策的合理性と国内政治的正当性をどう調整するかを考察することでもある。この調整を理解することが本講の政策実践的含意であるとともに、本講と国際経済、国際政治、国際経済法科目との補完的相違点である。

Course Code	5112111	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	International Conflict Study				
Faculties	FUJIWARA Kiichi				
Course Objectives/Overview	<p>What is an international conflict? Will it be possible to discuss the origins of international conflicts in more general and abstract ways, or would it be the case that each conflicts are so distinct in nature that rule out theoretical abstraction? Those are the basic topics that I aim to cover in this course.</p> <p>International conflicts encompass a wide terrain; here I will focus on what has come to be called the new kind of wars, those in which cultural symbols and identity play out in the development of violent conflicts, as opposed to the more traditional kind of warfare based on the acquisition of secular interests.</p>				



Course Code	5112131	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Science, Technology and Public Policy				
Faculties	SHIROYAMA Hideaki / ALEMANNNO Alberto / MATSUO Makiko				
Course Objectives/Overview	<p>The development and diffusion of science innovative technologies is indispensable for modern society. However, despite its benefits, the development of science and technology is not without various risks and social problems. So far as we are going to make societal decisions for the use of science and technologies with diverse social implications that encompass both risks and benefits, sometimes involving values implications, there is a need for mechanisms of decision making and management of the development and utilization of science and technology. Decisions can be different depending on environmental, institutional and cultural conditions. In addition, innovative policy instruments/ mechanisms to deal with rapidly changing science and technology, including regulatory measures, are required for implementing decisions.</p> <p>This course will deal with wide range of issues from local to global levels faced at the interface areas between science, technology and public policy from comparative perspective of Japan, the US and Europe. It offers key theoretical issues surrounding Science and Technology and provides students with the tools and frameworks, such as risk assessment/ management and transition management, to analyze them. This course invites students from both natural science backgrounds (i.e. the graduate school of engineering, new frontier science and so on) and social science backgrounds (graduate school of public policy, law and politics, and economics and public policy). We expect students to acquire interdisciplinary perspective in addition to their primary major, which is one of the critical skill in analyzing complex social technical issues posed by science and technology.</p>				

Course Code	5112140	Term	A 1	Credits	2
Course Title	開発研究				
Faculties	佐藤 仁				
Course Objectives/Overview	<p>開発/発展という現象を歴史的、批判的な観点から検証し、あわせて研究手法の紹介も行う。とりわけ、開発援助における権力作用、国家とは何か、貧困への視点、技術の役割、不確実性や知識、資源環境問題の位置づけなどを扱う。学生諸君が先入観として持っている「開発」のイメージを揺さぶり、一段深い考察のレベルに誘導することが目標である。</p> <p>形式は、講義と演習を折衷した形をとり、課題文献の予習を前提として、学生が主体的に議論に参加する形をとる。よって「学ぶだけ」の学生は歓迎しない。考えたことを発信する意欲のある学生を歓迎する。課題文献の要約と批判を含めたミニ・レポートを3回課すが、この採点は、学生同士で行う。また、教室では、議論の喚起を目的とした簡潔な報告をする訓練を行い、対話する上でのコミュニケーション能力養成も視野にいれる。英語を中心に一定量の文献を毎週読んでもらうが標準的に4時間程度の予習時間が確保できそうな</p>				

	<p>い人には受講をすすめない。</p> <p>具体的なスケジュールや課題文献リストについては初回の授業でシラバスを配布したうえで解説するので、受講希望者は必ず初回の授業に出席してほしい。人数を限定するために、7月中旬に課題を出す可能性がある。課題を出す場合には、具体的な課題の内容や提出締め切りについては、6月までに周知する。課題をクリアした者の登録を優先し、何からの事情によって課題ができなかった人は、人数に余裕がある場合のみ受講を認める。</p>
--	--

Course Code	5112150	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策過程論				
Faculties	田邊 國昭				
Course Objectives/Overview	<p>政策の決定・実施・評価の一連のプロセスについて検討する。政策過程の政策課題の認識、課題設定、具体案の作成、意思決定(行政部内、議会)、モニタリング・評価の各段階において、どのような要因が影響するのか等に関する見取り図を与えることを意図する。また、各々の段階で配慮すべき事項についても、具体的事例を素材に検討する。</p>				

Course Code	5112170	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	現代日本政治				
Faculties	谷口 将紀				
Course Objectives/Overview	<p>現代日本政治の主要トピックスのうち、いくつかを選び、さまざまなアプローチを用い、インテンシブに分析します。</p>				

Course Code	5112181	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Modern Japanese Diplomacy				
Faculties	KOHARA Masahiro				
Course Objectives/Overview	<p>私たちの守るべき国益とは何か？そして、それをどうやって実現するか？</p> <p>米国の覇権に陰りが見える中で、台頭する国家やテロリストが跋扈し始め、冷戦後のリベラルな国際秩序は力による現状変更や破綻国家が生み出す暴力や難民に傷ついている。グローバル化、情報化、技術革新は新たな価値や豊かさを生み出す一方で、リスクや脅威も増大させている。そして、気候変動や感染症などが猛威を振るい、国家や人間の生存を脅かす。今日、国家・国民の安全と繁栄という国益はこうした多様な挑戦を受けている。日本はこれにどう対処すべきなのか？そして、世界と深くつながる日本として世界の平和と繁栄、そして自由で開かれた秩序の維持に何ができるのだろうか？</p>				

	<p>本講義は、以上の問題意識に立って、国益を座標軸の中心に据え、日本の外交、そして世界の平和と繁栄の問題を考えていく。</p> <p>What is National Interest which we have to defend? How can it be realized? While the United States is shaky in its hegemony in the world, the rising powers and terrorists are becoming rampant. The liberal international order in the post-Cold War period is hurt by the alteration of the status quo due to violence and a refugee crisis caused by the failure of nation states('failed states'). Globalization and a technology revolution with an ever evolving social media produce new values and affluence, while, on the other hand, they multiply risks and threats in the world. Climate change and infectious diseases are raging and threaten the survival of nation states and humanity. Today, national interest, such as the security and prosperity of a nation and people, faces these various threats. How does Japan tackle them? What can Japan do to maintain the peace and prosperity of the world? What can Japan do to defend free and open international order? Japan is deeply connected to all these issues and therefore is inextricably involved in them.</p> <p>With an awareness of the above mentioned issues, this course's lectures provide a framework centered around Japan's National Interest and how Japanese diplomacy can help maintain the peace and prosperity of the world.</p>
--	--

Course Code	5112191	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Policy Process and Negotiation				
Faculties	SHIROYAMA Hideaki / MAEDA Kentaro / NA Jihyun				
Course Objectives/Overview	<p>How are public policies formulated and implemented? What actors are involved in the policy process, and at what stage and to what extent do they exert influence? How do policy processes differ across countries in different political, administrative, and institutional settings? This course introduces theories and cases to help students address these questions. It surveys seminal theories of policy processes, decision making, bureaucratic politics, and negotiation. Students learn about various modes of governance (i.e. bureaucracy, market-oriented government, collaborative governance, participatory governance, and adaptive governance), and about how they involve different types of actors, so that their influences and sources of policy ideas can differ substantially. The course combines lectures and discussions of cases from multiple countries and policy areas; for the latter, students are asked to critically assess pros and cons, and propose reforms or come up with strategies, acting as agents in the policy process.</p>				

Course Code	5112195	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Field Seminar in International Relations				
Faculties	HENG Yee Kuang / AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>This course provides an overview of the key issues and theories of global and international affairs. Introductory sessions will cover core theories as well as integrating concepts to help understand International Relations as a complex interplay between power and interests, cooperation and discord; institutions and norms, and diverse actors. Subsequent weeks will apply these concepts to selected issue areas including security and war; peacekeeping and humanitarian intervention; international trade and finance; and global public goods such as</p>				

	<p>climate change and global health.</p> <p>It is anticipated that students will develop a deeper and more nuanced understanding of the complexities of the international system in the 21st century. Through prescribed academic writings, students are directed to the linkage between emerging global events and to think critically about how the global agenda of the new millennium will be shaped by drivers such as globalisation, cooperation and discord, and major power transitions.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. An ability to approach both theoretical debates and foreign policy outcomes with diverse analytical tools</li> <li>2. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and perspectives</li> <li>3. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms</li> <li>4. Critical thinking, analytical and reading skills</li> </ol>
--	---

Course Code	5112211	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Comparative Analysis of Japanese Economic Policy-Making Process				
Faculties	HAYASHI Ryoza				
Course Objectives/Overview	<p>Objective</p> <p>The objective of this course is to understand the different economic policy-making process by analyzing Japanese process from comparative perspective. While important policy is carried out through either budgetary measures or legislative measures, the course will focus on legislative process of regulatory policy. Legislation is heavily influenced by the following three actions; interaction among a part of legislators, relevant executive officials and interest groups, leadership role of chief executive officer and the enhancement of policymaking technique. National system, the combination of above-mentioned elements is shaped by the history, values and institution of each country. After identifying these elements in Japanese system, we will examine how these elements shape economic policy in American and British system. Then we compare the pros and cons of each system under specific environment.</p> <p>Adequate emphasis will be made on the analysis of process of Trump economic policy and Abenomics(economic policy of Abe administration).</p> <p>Student will be expected to make short presentation in the class, and to participate in the class discussion.</p> <p>Class will be conducted in English. Students are encouraged to actively participate in the class.</p>				

Course Code	5112220	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Governance and Development				
Faculties	MOTODA Yuka				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of the course are: 1) to give students a historical understanding of the context of the rise and fall of major development theories on which donors have based their aid policies; 2) to deal with the ways in which current international development cooperation takes place in the areas at issue - with the primary focus being placed on 'governance' amongst them; 3) to provide a critical assessment of</p>				

	<p>the ways in which the concept of 'governance' and the role of state are framed through international development discourse in general and development aid in particular.</p> <p>By the end of the course, students will be able to understand firstly why a certain theory was emerged at a certain point of history and why it was adopted by donors, and how it was turned into their aid policies. Secondly, students will deepen their understandings of the impact of implemented aid policies on recipient states' governments and societies at large - i.e. the governance of recipient states. Thirdly, students will be able to follow up emergent 'unorthodoxies' that challenge the dominant discourse on governance and development in the international aid industry.</p>
--	---

Course Code	5112241	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Politics and Public Policy				
Faculties	MAEDA Kentaro				
Course Objectives/Overview	<p>This course is a general introduction to political science. We will survey a wide range of topics in order to acquaint students with the basic concepts and theories that are useful for understanding politics in the modern world. Since political science is a vast discipline, our coverage is limited to the most important topics. Students will learn why politics has been considered as a crucial aspect of human life, how political decisions are made, and how those decisions are related to the fundamental goals of our society such as freedom, equality, and justice.</p>				

Course Code	5112242-1	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ユーラシアにおける宗教政治－正教会とイスラーム				
Faculties	松里 公孝				
Course Objectives/Overview	<p>宗教史は、近年の歴史学においてウェイトを増している。宗教専門家を除く歴史家は、かつては宗教を民族解放運動の付随物であるかのように扱っていたのだが、近年は宗教史そのものが重視されるようになった。研究の重点も、教義や宗教思想から宗教制度論 (ecclesiology) に移りつつあるように思われる。本演習では、正教とイスラームというユーラシア史において大きなウェイトを有してきた宗教についての基礎知識を学ぶ。</p> <p>宗教史そのものにウェイトを置きつつも、近年におけるイスラーム国の台頭やウクライナにおける正教会独立をめぐる紛争など現代的問題を歴史的に考察することも本演習の課題とする。当該地域において支配的な宗教についての常識がないとそこに行ったときに困るので、本演習は実践的な意味も持つ。</p>				

Course Code	5112243-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	クリミア後のロシアと周辺諸国－政治体制論を中心に				

Faculties	松里 公孝
Course Objectives/Overview	<p>旧社会主義諸国の政治体制は、1990年代には、たとえば準大統領制が多いなど、移行期社会特有の共通性を有していた。2008年のNATOブカレスト会議、コソヴォ承認、南オセチア戦争に始まる新冷戦は、ロシアおよびその周辺諸国の政治をイデオロギー化、「地政学化」した。他方では、旧社会主義諸国の政治体制は多様化し、もはや専ら個別的・国内的要因で憲法の変更が行われているように見える。これは矛盾だろうか。</p> <p>本演習では、旧社会主義諸国における軍事外交、地政学的ファクターと内政の関係を学び、同時に政治体制論の基礎知識を学ぶことを目標とする。</p>

Course Code	5112250	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Social Science				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>At the end of the course, the student should have familiarised with the key concepts informing epistemological and methodological debates in social science, such as hypothesis, theory, falsification, verification, covering law, causality, with particular consideration for positivistic paradigms and anti- or post-positivistic reactions.</p> <p>The student should be aware of the specific difficulties of social scientific disciplines in studying human societies arising from the problematic separation between the studied object and the studying subject, and the link between social science and the political dimension.</p> <p>He should familiarise with problems of social research design, starting from the specificities characterizing the various stages of social science research.</p> <p>The student should become aware of the functional classification of social science methods in qualitative and quantitative, familiarising with a number of techniques in both domains, while grasping that contemporary social research increasingly requires the application of different methods and interdisciplinary approaches, which also lead to the necessity of teamwork coordination.</p> <p>The course also aims at providing a large variety of examples where the concepts and principles described above find their application and didactical clarification. Those examples will focus in particular on the study of technology and its social impact, especially drawing on SGDs.</p> <p>Finally, the student should become aware of the moral implications, limits and rules informing social science research, as well as of the role and importance of effective communication in the social sciences.</p>				

Course Code	5112260	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to International Politics				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>At the end of this course, the student should have familiarised with a series of ongoing discussions concerning the nature of international politics, but in its theoretical articulation and in its several sectorial dimensions. International political</p>				

	<p>theory will be introduced through an analysis of the major schools of thoughts providing a definition of what international politics is about (ontology) and how it is supposed to be studied (epistemology). For this initial part (Lectures 1-7), the students will become familiar with the concepts of realism, Realpolitik, anarchy, power, national interest, zero-sum-game, relative vs. absolute gain, polarity, globalisation, sphere of influence, intervention, human rights, emancipation. A second group of four lectures introduces specific sub-disciplines and study fields in international politics, dealing with geopolitics, international political economy, international organisation, and international environmental issues. Student will become acquainted with the influence that geography exercises on the life of political communities, and how much of international political debates and struggles revolve around the position of a certain state within the economic architecture of the globe. International organisations will be illustrated as the key component of a highly interconnected world in need of governance structures, however tenuous. A strong emphasis will be put on environmental questions, particularly climate change, and the student will familiarise with the specific difficulties characterising environment protection in a globalised world with high levels of resource competition. The course will also provide insights into the UN Agenda 2030 or Sustainable Development Goals.</p>
--	---

Course Code	5112270	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Security Studies				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	<p>The aim of this module is to introduce students to key concepts and issues that constitute the agenda of Security Studies today. It stresses different approaches to understanding security; and the key ongoing transitions and drivers within the global system, which has led to a mix of both 'old' and 'new' security challenges to be addressed. Various historical and theoretical debates on what might be termed 'classical' or 'old' security concepts in the 21st century are examined, such as the role of Great Powers, the Security Dilemma, Arms Races; territorial disputes and geo-political competition. At the same time, it also enables students to understand current debates about the impact of globalization on security through studying issues such as trans-national terrorism; the spread of infectious diseases and ethnic conflicts. These may be loosely labelled the 'new' security agenda. It is anticipated that students will develop a deeper and more nuanced understanding of the complexities of the global system in the 21st century. Through prescribed academic writings, students are directed to the linkage between emerging global events and to think critically about how the global security agenda of the new millennium will be shaped by drivers of change such as globalisation and major power transitions.</p> <p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. An ability to approach both theoretical debates and foreign policy outcomes with diverse analytical tools</li> <li>2. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and perspectives</li> <li>3. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms</li> <li>4. Critical thinking, analytical and reading skills</li> </ol>				

Course Code	5113007	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Principles of Microeconomics				
Faculties	OGAWA Hikaru				
Course Objectives/Overview	This course covers the introductory microeconomics to students who are not majoring in Economics. It provides key concepts, economic ideas, and a framework for learning about microeconomics. The course places primary emphasis on the role of market, and then analyzes the role of government in the market.				

Course Code	5113009	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Principles of Macroeconomics				
Faculties	YAMANA Kazufumi				
Course Objectives/Overview	The main objective of this course is to give beginners a basic understanding of the system of overall economy, with emphasis on the theory. This course is a further study from your microeconomics course where you studied on the decision-making of rational consumers and producers.				

Course Code	5113016	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Microeconomics for Public Policy				
Faculties	IIZUKA Toshiaki				
Course Objectives/Overview	This is an introductory course in microeconomics, which covers the fundamental theories of the consumer, the firm, and markets. Emphasis will be on applying these theories to understanding and evaluating real world events so that the student learns to think like an economist. It assumes no prior knowledge of economics, and some of high school level mathematics and graph based reasoning will be used.				

Course Code	5113017	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics for Public Policy				
Faculties	IIZUKA Toshiaki				
Course Objectives/Overview	Under the supervision of Prof. Iizuka, the TA will go over some lecture materials, problem sets and homework materials.				

Course Code	5113018	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics for Public Policy				
Faculties	KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	This course aims to provide a fundamental knowledge of macroeconomics primarily for students majoring in public policy, including first-time learners. I intend students to be able to better understand economic news, articles, and financial market				



	reports among other materials related to macro-economy. Students will also learn skills to handle macroeconomic data.
--	---

Course Code	5113019	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics for Public Policy				
Faculty	KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	This course complements "Macroeconomics for Public Policy" [5113018] via recitation sessions by teaching assistants (TAs). Each session reviews the contents of the preceding main classes and TAs assist students to solve the homework problems.				

Course Code	5113021	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Microeconomics				
Faculty	ASANO Akihito				
Course Objectives/Overview	The purpose of this course is to develop a sound understanding of the basic tools of microeconomic analysis. We progress from the study of the optimising behaviour of individual actors (both consumers and producers) in an economic setting, to a study of the interaction of these agents in one market (partial equilibrium analysis) through to a study of the determination of prices and the allocations of resources and goods in the economy as a whole (general equilibrium analysis). As well as covering the main elements of the standard price theory for (perfectly) competitive markets, we shall also consider situations where agents interact strategically. It involves an introduction both to the theory of games as well as topics in information economics.				

Course Code	5113031	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Microeconomics				
Faculty	ASANO Akihito				
Course Objectives/Overview	In the Practice Session for Microeconomics, students may discuss the problem sets with the TA, focusing upon any particular difficulties that they encountered.				

Course Code	5113041	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Macroeconomics				
Faculty	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	This course introduces the theory of dynamic macroeconomics, which provides standard structure for macroeconomic policy debates. Its emphasis is on rigorous analysis of households' and firms' dynamic behaviors. Students will learn how markets facilitate their trades, and why markets sometimes fail to achieve full employment or economic growth. The dynamic macroeconomics is useful for policy makers to map out various policy issues in a complex national economy. This course				

	prepares students for further studies in such fields as monetary economics and policy, economic growth and development, public finance and social securities, banking and finance, and international trade and finance.				
--	---	--	--	--	--

Course Code	5113051	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Macroeconomics				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	Practice Session for Macroeconomics provides TA session series that complement Macroeconomics (5113041).				

Course Code	5113060	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	統計分析手法				
Faculties	陣内 悠介				
Course Objectives/Overview	統計学の基礎理論を習得し、データ分析のスキルを身に付けること。				

Course Code	5113061	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Statistical Methods				
Faculties	NOSE Manabu				
Course Objectives/Overview	This is an introductory course in statistics and econometrics. The objective of the course is to make students become familiar with how to use and interpret basic descriptive statistics, probability distributions, point and interval estimations, hypothesis testing, forecasting, and simple regression analysis. The course will focus on concepts and practice needed for understanding the existing empirical studies as well as for carrying out their own empirical works in economics. Students will learn how to apply the methods presented in class to real dataset through computer exercises using the econometric software, such as STATA. Course will cover the following topics:				

Course Code	5113065	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Statistical Methods				
Faculties	NOSE Manabu				
Course Objectives/Overview	This is a practice session that complements Statistical Methods (5113061).				

Course Code	5113074	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				

Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course introduces basic econometrics that is indispensable to evaluate the effectiveness of public policies.				

Course Code	5113075	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Econometrics for Public Policy				
Faculties	HASEBE Takuya				
Course Objectives/Overview	This course introduces basic econometrics that is indispensable to evaluate the effectiveness of public policies.				

Course Code	5113084	Term	S1S2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course is a companions course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides you how to implement econometric methods introduced in the lecture using statistical package software.				

Course Code	5113085	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Practice Session for Econometrics for Public Policy				
Faculties	HASEBE Takuya				
Course Objectives/Overview	This course is a companions course of Econometrics for Public Policy. This practice session guides you how to implement econometric methods introduced in the lecture using statistical package software.				

Course Code	5113105	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策評価の経済学				
Faculties	岩本 康志				
Course Objectives/Overview	<p>政策形成をより合理的なものに改善していくためには、政策分析の質的向上が必要である。</p> <p>なかでも、政策の効果を経済学的に分析することは、その結果を肯定するにせよ、否定するにせよ、政策形成上必須であろう。しかし、これまで、政策の効果を経済学的に分析することは日本の政策現場では伝統的に軽視されてきた。</p> <p>本科目の主要な目標は、費用便益分析の標準的な教科書に基づいて費用便益分析の全体像を習得することである。</p>				

Course Code	5113152	Term	S 1	Credits	2
Course Title	International Trade Policy				
Faculties	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	<p>This is a graduate level class in the standard theory of international trade and international trade policy. The main questions of this class are:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Why do countries trade?</li> <li>- Under what conditions countries gains from trade?</li> <li>- What are the optimal trade policies that countries should pursue?</li> </ul> <p>In this class we will cover in great detail the fundamental models of international trade: Armington model; Ricardian model; Heckscher–Ohlin model; and Krugman model. After covering these models, we will focus on international trade policy.</p>				

Course Code	5113161	Term	A 1	Credits	2
Course Title	International Financial Policy				
Faculties	UEDA Kenichi / KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	<p>Understand objectives and effects of key policies in international finance from both theoretical and empirical perspectives. In particular, this course focuses on a fundamental question: How does, and should, the international financial system play roles in two important macroeconomic phenomena, i.e., business cycle and economic growth? In addition, this course covers frequently discussed recent policy issues such as monetary union, international reserve, and spillovers of macroeconomic policies to other countries.</p>				

Course Code	5113180	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Microeconomic Approach				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course is to understand the basic concepts and methods of development microeconomics. It is designed for a wide range of students who are interested in international development. It covers development, poverty, inequality, vulnerability, program evaluation, social assistance, population, labor, human capital, finance, and institution. This lecture course is offered in English.</p>				

Course Code	5113190	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Development Economics: Macroeconomic Approach				
Faculties	UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	<p>Understand key policy issues in macro development from both theoretical and empirical perspectives. First, students are expected to build theoretical foundations through neo-classical growth theory and the new growth theory. Second, students are expected to build empirical foundations through key data analyses for the catch-up process of developing countries. Third, students are expected to recognize various barriers for economic development, effects of removing barriers in the</p>				

	development process (of now advanced countries), and policy implications from the related studies. In addition, students are expected to find that key barriers lie in the financial system and the labor markets as well as in the social institutions (e.g., family and gender issues).
--	---

Course Code	5113240	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Public Sector				
Faculties	OGAWA Hikaru				
Course Objectives/Overview	This course covers the fundamentals of economic analysis of public sector ("public economics"). Specifically, it provides an overview of the key theorem, hypothesis, and the concept in micro- and macroeconomic public policy analyses. Particular emphasis is directed at developing tools that can be applied theoretically to clarify essential economic concerns in the current public sector. Such concerns include the public debt, fiscal sustainability, pension, equality issues, externality, public goods provision, and optimal taxation..				



展開科目

Topics Courses





Course Code	5121010	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	環境法				
Faculties	中谷 和弘／大塚 直／桑原 勇進				
Course Objectives/Overview	わが国では幾多の公害事件訴訟を通して不法行為や差止め等をめぐる民事法理論に大きな進展が見られたところであり、まずはその流れを把握するとともに最新の問題状況を正確に理解することが第一の課題である。しかし、損害賠償や差止めといった民事法の伝統的なテーマに思考を局限することなく、環境救済法という枠組みの下に、経済学理論に基づく近時の救済手法や環境哲学に立脚する新たな救済原理などをも視野に収めた幅広い考察を求めていく。				

Course Code	5121020	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	競争政策と法				
Faculties	白石 忠志				
Course Objectives/Overview	競争法（独禁法）の基本的な枠組みと考え方を理解する。法令・ガイドライン・主要事例などに根ざした体系的講義を、具体的な事例等によって肉付けする。				

Course Code	5121040	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	経済刑法				
Faculties	樋口 亮介				
Course Objectives/Overview	経済取引に関わる犯罪についての理解を深める。具体的には、企業の処罰、企業内の個人の過失責任、マネーロンダリング、独占禁止法、証券犯罪、横領・背任を扱う。				

Course Code	5121050	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	公共哲学と法				
Faculties	井上 達夫				
Course Objectives/Overview	<p>価値観や利害が多角的に分裂競合する現代社会において、公共性とはまた、公私の区別は一体何を意味するのか。そもそもかかる多角的社会において公共性を語ることは可能なのか。公共性の主張は結局、特定の私的利害や私的価値関心を他者に押し付けるためのイデオロギー的合理化装置に過ぎないという批判にいかんして応えるのか。</p> <p>多角的社会における公共性なるものが可能だとしても、かかる公共性をもつ価値の形成・発展に対して、法は桎梏なのか、促進条件なのか。そもそも、かかる多角的社会において法が公共的な正統性をもたらすための条件は何なのか。</p>				

	<p>公共政策の前提となるこのような基本問題について、現代の「公共哲学」および「公共性の哲学」をめぐる論議を展望し、かかる論議の争点を民主主義と法の支配の関係をめぐる法哲学的論議と連動させて検討することにより、理解を深化させ、個別政策課題に通底する原理的問題を把握する能力の練磨を図る。</p>
--	---

Course Code	5121080	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	労働法政策				
Faculties	濱口 桂一郎				
Course Objectives/Overview	<p>伝統的な公労使三者構成の審議会において労使団体と政府(厚生労働省)の間で行われる対立と妥協のメカニズムとともに、近年顕著な官邸主導による立法も含め、具体的な労働立法の政策決定過程を跡づける形で、労働法制の内容を説明する。いわば、完成品としての労働法ではなく、製造過程に着目した労働法の講義である。</p>				

Course Code	5121090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会保障法政策				
Faculties	島崎 謙治				
Course Objectives/Overview	<p>社会保障をめぐる法政策は、高齢化・少子化の進展、経済成長の低迷、経済活動の国際化など、社会経済の大きな変化を背景に、非常にダイナミックな動きを見せている。しかも、社会保障制度は、国民の生活に直結し、かつ国の経済活動にも影響を与えるために、現代行政の中でも大きな位置を占めるに至っている。</p> <p>この授業は、現代行政において重要性を増しつつある社会保障について、実際に政策立案に携わった経験も踏まえ、法政策とは何かという点にポイントを置き、基本的に講義形式で行う。</p> <p>具体的には、総論として、法政策とは何か、人口問題と社会保障、社会保障の国際比較、について講義した後、各論として、医療を中心に取り上げる。また、年金および社会福祉についても講義する。</p>				

Course Code	5121110	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際租税法				
Faculties	増井 良啓／佐藤 修二				
Course Objectives/Overview	<p>租税法の国際的側面を学びます。企業活動がグローバル化する中で、国際取引を行ったときに課税がどうなるかを検討できると、法律家として仕事をする上で大きな強みになります。そこでこの授業では、所得課税を中心にして、国際的な課税問題についてまとめた見通しを得ることを目標にします。制度の理論的基礎を講ずるのみならず、具体的な取引事例を素材とすることにより、問題発見や</p>				

	プランニングのための力を養います。
--	-------------------

Course Code	5121130	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際空間秩序と法				
Faculty	中谷 和弘				
Course Objectives/Overview	<p>演習「国際空間秩序と法」</p> <p>陸・海・空・宇宙を対象とするいわゆる領域論は、国際法の諸分野の中でも非常に重要な分野であり、国際法の解釈・適用の上でもまた外交政策・公共政策上も興味深い様々な素材を提供してきた。この授業では、海洋、国際航空、宇宙、領土をめぐる国際法上の諸課題について、実定国際法の解釈はもとより、明日のあるべき法(国際空間秩序)の提案も射程に入れつつ検討を行う。あわせて、第5の空間といわれるサイバー空間に関する国際法問題(特にサイバー攻撃の問題)についても検討してみたい。</p>				

Course Code	5121150	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ法				
Faculty	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>東西冷戦の終結とともに、ヨーロッパ連合は、安全保障をも視野にいたった広い権限を持つ地域的国際組織として、今や国際経済のみならず国際政治においても大きな意義を持つ存在となった。</p> <p>また、ヨーロッパ統合の進展とともに、EC/EU法の重要性は増加の一途をたどっており、特に、EU法の基礎的知識は、EU加盟国の国内法理解に際しても今や不可欠となっている。ヨーロッパ法が、いかにして国内法においても重要性を獲得するようになってきたのかは、国際レベルにおける法の支配の確立事例としても極めて興味深い問題である。</p> <p>近年のユーロ危機、移民危機、ポーランド・ハンガリーの権威主義体制化問題、更に2019年3月が期限となっているイギリスのEU脱退(Brexit)等、岐路に立つ欧州統合に関する話題には事欠かない。これらの「複合危機」を背景として、EUに関する報道は少なくないが、残念ながら、日本のマスコミ関係者でも、現実のEUにおける制度設計、法形成がどのようになされ、またどのように運用されているかにつき、正確な理解を持つ者は多くない。一方で、Brexitキャンペーンの際に、「ブリュッセル」が諸悪の根源であって、EUから脱退しさえすれば、全ての問題が解決するという、単純明快なポピュリストの主張が、しばしば報道されたことは記憶に新しい。ところが、Brexitを巡るその後のイギリス国内政治の混迷を見れば、「行き過ぎた欧州統合」を非難するだけで、「グローバル化」による相互依存関係が進んだ現在の世界における全ての問題が解決するわけでもなさそうである。EUが常に「非民主的」だと非難され、「ブリュッセル</p>				

	<p>ル」だけが諸悪の根源だとする非難は本当に正しいのか、正しいとした場合、誰もが「民主的」だと認めるような制度は、どのようにすれば形成できるのか。それほどまでに「非民主的」な組織であるにも拘らず、なぜ加盟国は、イギリスの後を追って次々に脱退し、あるいはEUを直ちに廃止しようとししないのか、といった疑問が次々に浮ぶであろう。</p> <p>一言で言えば、グローバル化の進展過程において、古典的な主権国家の枠を超える「民主的」な国際組織をどのように設計すべきかという大きな問題としても、EUの制度・運用の研究は重要な意義を持つのである。</p> <p>以上のように、EC/EU法は、従来の古典的国际法とどのように異なるのか、加盟国の国内法との間にどのような影響関係があるのか、「民主的」な国際組織の設計はどのようなものであるべきかといった問題は、学問的にも重要な理論的問題を提起している。</p> <p>本講では、上述のような近時の問題状況をも念頭に置きつつ、現行法たるリスボン条約を中心に講義を行う予定である。EU法の対象分野は、共同体管轄事項が拡張されてきた結果、今や多岐にわたっているが、EU組織法の理解は、個別のEU実体法理解のため不可欠の前提となる。本講では、EU法の総論部分にあたる組織法、具体的には、EUの機構、法源、争訟制度等について順次講じる予定である。</p>
--	--

Course Code	5121160	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	比較法政策 1				
Faculties	海老原 明夫				
Course Objectives/Overview	<p>ドイツ連邦共和国の現代法の概略を、憲法・民法を中心に講述する。ドイツ法は日本法にとって歴史的には一つの母法であるから、ドイツ法を知ることは日本法の基礎を知ることにつながるが、類似しているようでありながら、実は根本において日本法とは異なる要素も少なくない。とくにドイツ連邦共和国は、連邦制を採用していること、独自の憲法裁判権を有すること、ヨーロッパ規模での法の統合・発展に組み込まれていることなどから、日本法とは異種の展開を多く見せている。こうしたドイツ法の動態に、翻訳した資料を通じて直接に触れることを通じて、日本法をより良く知り、また相対化するための視座を得させることを目指したい。</p>				

Course Code	5121203	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法 3				
Faculties	伊藤 洋一				
Course Objectives/Overview	<p>ヨーロッパ統合の大きな特色は、「法による統合」であることである。特に、広義のヨーロッパ法(EU法およびヨーロッパ人権法)の国内法に対する優越の結果、加盟国においては、国内法の「ヨーロッ</p>				

	<p>「法化」が近年顕著な現象となっており、ヨーロッパ法の影響を無視して加盟国の国内法のみを研究することは、もはや困難となってきた。特に、ヨーロッパ諸国の基本権保障については、ヨーロッパ人権条約の影響を無視することはできない。</p> <p>本演習では、フランス破毀院(民刑事の最上級審)の構成員であった <b>Régis de Gouttes</b> の論文を教材として講読する予定である。同論文は、国内裁判所構成員の視点から、破毀院によるヨーロッパ人権条約適用の展開を回顧するものであり、近年のフランスにおけるヨーロッパ法の影響増大と、それに対する対応の実態を垣間見せてくれるであろう。</p>
--	---

Course Code	5121204	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ヨーロッパ統合と法 4				
Faculties	伊藤 洋一／網谷 龍介				
Course Objectives/Overview	<p>EU 加盟国における、国内法の「ヨーロッパ法化」が顕著な現象として注目されるようになって既に久しい。このような現象は、EC/EU 法における直接適用性・国内法に対する優越原理の形成と不可分である。</p> <p>しかし、ヨーロッパ法といえども、一日にして形成されたものではない。往々にして見受けられるデマゴグの主張するところとは異なり、ヨーロッパ法は、決して加盟国と全く無関係に「ブリュッセル」が形成してきたものではなく、既に半世紀にわたる、EC 裁判所(リスボン条約発効以後は、EU 裁判所と改称)と国内裁判所との相互影響関係、近年頻繁に使われるようになった言葉を用いれば「裁判官の対話(dialogue des juges, judicial dialogue)」を通じて形成されてきたものである。</p> <p>残念ながら、日本における従来のヨーロッパ法研究は、ともすればヨーロッパレベルの動向のみを対象とし、その動的な性格を軽視しがちであったが、ヨーロッパ法は、決して EU 裁判所が象牙の塔の中で無から作り上げたものではなく、加盟国の国内裁判所との間の相互的影響のもとに形成されてきたものであることを忘れてはならない。換言すれば、国内法の「ヨーロッパ法化」は、一面では、ほかならぬ加盟国の国内機関の手によるものなのである。</p> <p>このような相互的影響は、実定法解釈学としての EU 法研究のみならず、アメリカを中心とする政治学研究の対象としても注目を集めるようになり、「法と経済学」ならぬ「法と政治学」、具体的には <b>judicial politics</b> 研究として少なからぬ研究業績が蓄積されてきている。ヨーロッパ統合の特色は、「法による統合」である点にあると言われてきたが、これは逆に言えば、EU 法が単なる実定法解釈に止まらない政治的意義を持つということであり、EU 法の形成過程を深く理解するためには、政治学との協働が欠かせない。</p> <p>そこで、今年度は、<b>judicial politics</b> 研究の展開に大きな影響を与えた論文(Stein, Eric, <i>Lawyers, Judges, and the Making of a Transnational Constitution</i>, <i>American Journal of International Law</i> 1981, vol 75, pp. 1-27; Weiler, Joseph H.H.,</p>				

	<p>The Transformation of Europe, Yale Law Journal 1991, vol. 100, pp. 2403-2483)を中心に、その後の研究の展開を概観する若干の論文(開講時にリスト配布予定)を取り上げる予定である。</p> <p>本授業は、judicial politics に関する総論的論文および各論的論文の均衡、参加者数等をも考慮し、適宜選択した論説を、参加者(参加者の人数によっては、グループ)が毎回分担報告する形式で進める。</p> <p>指定された文献を手がかりとして、EU 裁判所と国内憲法裁判所との相互影響関係を具体的に検討することにより、ヨーロッパ法に対する理解を深めることが、本講の目的である。</p>
--	---

Course Code	5121222	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	法社会学演習：マスメディアと法				
Faculties	FOOTE DANIEL HARRING				
Course Objectives/Overview	<p>本演習では、日本と米国を比較対象として、マスメディアと法の関係を探る。次のようなテーマを取り上げる予定である：新聞やテレビニュースの法律関係の話題の報道のしかた；法報道の社会に対するインパクト；テレビドラマ、映画、小説、漫画等のいわゆる大衆文化 (popular culture) における法現象の取り上げ方とその影響；裁判報道その他の法報道の制約；情報公開；報道機関の組織（記者クラブ等）とその影響等。日本と米国の判例、著書、論文等に加えて、新聞記事、テレビニュース、ドラマ、映画等の具体例を紹介し、議論する予定である。ゲストスピーカーを呼んでの議論も予定している。</p>				

Course Code	5121223	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Comparative Trusts Law				
Faculties	FISHER JAMES CLAYTON				
Course Objectives/Overview	<p>Students will investigate the principles of trusts law in several key jurisdictions, cultivating a global, comparative insight into trusts as distinctive legal instruments. Students will learn the role of trusts in the economy and society, and critically evaluate the strengths, weaknesses and tensions in multiple kinds of trust structure from jurisprudential and practical perspectives.</p>				

Course Code	5121224	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Making Legal Arguments: Legal Writing in Theory and Practice				
Faculties	FISHER JAMES CLAYTON				
Course Objectives/Overview	<p>The course combines (1) legal-theoretical and jurisprudential enquiries into the nature of adjudication and legal reasoning (principally in English-speaking jurisdictions), and (2) practical training in the construction of valid and convincing legal arguments (including case analysis, legal research, and writing).</p>				

Course Code	5121225	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	English Contract Law				
Faculties	FISHER JAMES CLAYTON				
Course Objectives/Overview	This course investigates the law of contract in common law jurisdictions, with a particular focus on the law of England. Students will learn to think critically about issues of contract law theory and practice. We consider the differences (real or imagined) between common law contracts and the contract law of Civilian jurisdictions, and assess the strengths and shortcomings of the English law position. Using untranslated primary sources (principally case law from the courts of England & Wales), students come to understand the common law of contract, its history and its continuing development.				

Course Code	5121226	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	English Contract Law				
Faculties	FISHER JAMES CLAYTON				
Course Objectives/Overview	This course investigates the law of contract in common law jurisdictions, with a particular focus on the law of England. Students will learn to think critically about issues of contract law theory and practice. We consider the differences (real or imagined) between common law contracts and the contract law of Civilian jurisdictions, and assess the strengths and shortcomings of the English law position. Using untranslated primary sources (principally case law from the courts of England & Wales), students come to understand the common law of contract, its history and its continuing development.				

Course Code	5121227	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国家と法の基本問題				
Faculties	石川 健治				
Course Objectives/Overview	講義では十分に論ずることのできない基礎的ないし原理的な論点を、掘り下げて考察することを目標とする。その際、演習が散漫なものになるのを防ぐための工夫として、参加者には、「書評」という文章ジャンルに挑戦されるよう、強く希望したい。				

Course Code	5121271	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融商品取引法				
Faculties	大崎 貞和				
Course Objectives/Overview	日本における資本市場法制の中核をなす金融商品取引法の概要を解説する。法規制の技術的側面に過度に目を奪われることなく、基本的な構造と制度の背景となっている考え方を把握することを目指す。資本市場をめぐる時事的な話題も取り上げ、現実の市場のダ				

	イナミズムを感じ取れるような講義にしたい。
--	-----------------------

Course Code	5121272	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	上級金融商品取引法				
Faculties	飯田 秀総				
Course Objectives/Overview	金融商品取引法につき基礎的教育を受けていることを前提に、金融商品取引法に関するより高度な理論的・実務的知識を身につけ、実務において直面する金融商品取引法の問題への応用力を養うことを目的とする。				

Course Code	5121291	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	医事法発展演習				
Faculties	米村 滋人				
Course Objectives/Overview	医事法は、医療や医学研究に関する法律問題を扱う法分野である。従来から存在した医療過誤・薬害等の類型に加え、近時では特殊医療や医学研究に対しても法規制が強化されており、この分野に関する法律問題は急速に拡大しつつある。ところが、これらの問題は法学部・法科大学院の講義で扱われないことが多く、また医学や医療政策等の総合的な知識が必要であるため、独学での学習は相当に困難である。本科目では、医療・医学研究の分野で発生している法律問題に関して、医学・法学・公共政策学等の専門家をゲスト講師に招くなどして背景的知識を補いつつ、問題の多角的な検討を行い、当該分野の法制度のあり方などにつき発展的な考察を行うことを目的とする。				

Course Code	5121300	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	金融法				
Faculties	神作 裕之／加藤 貴仁				
Course Objectives/Overview	この講義では、金融実務に詳しい実務家をゲストとして招いて実務の現状や実際に生起している問題点などを具体的に話してもらい、それに基づいて理論的な分析や展望などを試みる。				

Course Code	5121380	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	法医学				
Faculties	岩瀬 博太郎				



Course Objectives/Overview	法医学とは法が適正に執行されるべく医学的な助言を行うための学問である。すなわち、国民の安全や権利を守るための医学といえる。法医学は死因究明のほか、虐待を受けた小児等の保護も業務として実施しているが、本講義ではそうした法医学の目的や業務を理解することを目的としている。
----------------------------	---

Course Code	5121394	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Perspectives on Law : Japanese Law as Viewed from Abroad				
Faculties	FOOTE DANIEL HARRING				
Course Objectives/Overview	<p>For over a century, Western scholars have pursued scholarship on Japanese law. Foreign scholars have produced many excellent works exploring various fields of Japanese law, frequently approaching subjects from perspectives other than those commonly found within Japan. In this course, we will read and discuss leading works on Japanese law written by foreign scholars. The readings will include works from various perspectives, including sociological, historical, economic, and practice-related perspectives. For a few class sessions, depending on availability, foreign scholars will be invited as guest speakers.</p> <p>NOTE: This class will be conducted entirely in English. Heavy emphasis will be placed on class discussion.</p>				

Course Code	5121423	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	アメリカ民事訴訟法				
Faculties	浅香 吉幹				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカ法各論として民事訴訟法を取り上げる。アメリカの法の実現過程について、時系列に沿って学んでいく。アメリカ民事訴訟法はアメリカのロー・スクールでは1年生科目として、法学への導入としての役割も担っていて、連邦制や陪審といった英米法総論で学んだ諸問題もより具体的に検討することになる。</p>				

Course Code	5121433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	証券市場法演習				
Faculties	大崎 貞和				
Course Objectives/Overview	<p>金融商品取引法に関する基本的な諸問題について、海外の法制との比較を踏まえつつ、法の考え方を学ぶとともに、実務的な論点について検討する。</p>				

Course Code	5121436	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際商事仲裁				

Faculties	唐津 恵一
Course Objectives/Overview	企業活動のグローバル化に伴い、国際商取引紛争は増大している。国際商取引に関する紛争解決方法として、国際商事仲裁が定着してきており、日本企業が当事者となる国際商事仲裁事件数も増えてきている。本講義においては、序盤に仲裁制度の基礎知識を習得したうえで、国際商事仲裁に関する理論的な枠組みを理解し、中終盤では国際商事仲裁の各論点につき、実務的な観点から、理解を深める。序盤は日本人教員が中心となり日本語で行うが、中終盤は国際商事仲裁に精通した外国人実務家が英語により行う。

Course Code	5121450	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	企業法務				
Faculties	唐津 恵一				
Course Objectives/Overview	上場企業における法務部門が担うべき機能を把握することが目的である。上場企業経営における資本市場との関りを理解したうえで、利害関係者が多岐にわたり、多くの法律が関係するプロジェクトであるM&Aを題材に、現実に動いている実例の分析や、仮設のプロジェクトでのビジネスプランニング・交渉・契約締結に至るプロセスを体験的に踏襲する。初めの数回は、企業法務一般論、企業価値論、M&Aプロジェクトのプロセス等、担当教員の講義により進める。M&Aに必要な法律・会計・税務等の基本知識は、各参加者が分担して調査・報告して、共通の知見を把握する。終盤には、企業経営者、企業法務担当者、弁護士、会計士、税理士等のゲストを招きご講話していただく。				

Course Code	5121452	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	アジア・ビジネス法				
Faculties	平野 温郎				
Course Objectives/Overview	企業がグローバルに事業展開する上で必須の機能である「国際企業法務」を、アジア（中国・香港及びいくつかのASEAN 主要国を取り上げる予定）をテーマとして概観する。事業の法的イシュー・リスクを発見し、最適解を導き出すことにより、その持続的な成功を法的に担保するという、所謂「リーガルリスク・マネジメント」（これはビジネスパーソンのコアスキルである）の素養を身に着けることが目的である。将来、企業の法務部門や事業部門で、アジア関係業務を中心に専門性を活かして活躍したい参加者を想定しているが、アジアに関心を持つ参加者も可能な限り歓迎する。				

Course Code	5121454	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際ビジネス法				
Faculties	唐津 恵一／平野 温郎				
Course Objectives/Overview	<p>企業がグローバルにビジネス展開を行うにあたっては、様々な法分野にまたがる国際的な法知識を有するとともに、これを駆使していかにかに企業価値を最大化するかというビジネスセンスを有し、かつ言語を含めた国際的素養を有する法務人材が求められる。本授業はこのような人材育成を念頭に、外国人ゲストスピーカーも含めた複数の実務経験者が教員となり、実例を中心に、ビジネスのさまざまな局面における法的問題を概観する。</p> <p>Nowadays, companies developing their businesses globally need legal experts, who have knowledge of various areas of international law, good business sense for utilizing such knowledge to maximize corporate value and broad exposure to international matters including knowledge of foreign languages. This course will seek to develop student awareness and knowledge of the foregoing human resource imperatives by examining legal issues that arise in various business situations by introducing cases. Lectures will be conducted by instructors, including foreign guest lecturers, who have experience in this field.</p>				

Course Code	5121461	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Law and Society in East Asia				
Faculties	MATSUBARA Kentaro				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar aims to discuss the social / historical bases on which a modern legal system might operate in various East Asian societies, and to provide an introduction to some of those problems involving the integration of different legal traditions into a pluralistic yet coherent legal regime. We will focus on the tensions experienced by these societies, involving the importation of what were presented as "universal" values and norms, and the near-universal resistance to these values and norms, such resistance being based on the notions of custom and tradition. While the initial focus will be mainly on the experiences concerning the formation of legal institutions in China and Japan, students will be encouraged to bring in perspectives from other societies as well. The problems discussed will include: the difficulties regarding what exactly can be identified as East Asian legal traditions; how legal regimes were structured through the actions of actors exploiting the plurality of legal traditions; and how the relationship between legal arrangements and the political power-structure played out. Particular attention will also be paid to the issues of colonialism, and the uneasy relationship between Modernisation, Westernisation and Colonisation in these societies. The ability to read source materials written in Chinese and/or Japanese would be of much help, but will not be essential.</p>				

Course Code	5121470	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際法の基本問題				
Faculties	寺谷 広司				

Course Objectives/Overview	<p>国際法の基礎的議論について文献を購読する。理論に関する一般的な内容、法源その他を中心に考えているが、開講まで半年あるので、出版状況及び参加者の選好を確認しつつ決める。一般的な論文集から各自の専門領域から文献を選ぶことも考えている。</p> <p>担当割り当て等は、ゼミの初回に参加者と相談して決める。</p>				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5121490	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際法実務演習				
Faculties	三上 正裕／北川 剛史				
Course Objectives/Overview	<p>外交における国際法の役割につき、具体的な事例・問題に則し、実務家の視点を踏まえて理解する。各回毎に講師が具体的な事例・問題を設定して関連する国際法上の論点を提起するので、参加者は提起された国際法上の論点について各自の考えを整理し積極的に議論に参加する。</p>				

Course Code	5121495	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	技術利用と法				
Faculties	佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>この授業では、技術利用のために情報がどのように使われるのか、製品やサービスが世に生み出されるまでにどのようなプロセスで、どのような法制度が機能しているのかを学び、イノベーションを生み出しやすいプロセスや法制度のあるべき姿を検討する。そのため、この授業はさまざまな法律分野を横断的に学ぶと同時に、イノベーションを創出するために「法」を道具として使うという思考も養う。</p> <p>法学の基礎を理解している学生にとっては、研究や実務に有益なリーガルリサーチスキルを提供する。</p>				

Course Code	5121496	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Public International Law and Domestic Implementation				
Faculties	BARNSELY Ingrid				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with an overview of the politics, rules and institutions of public international law, and its implementation in practice. The course does not require students to have prior knowledge of the study of law. After a general introduction to the history and contours of international law, students will explore several in-depth case studies of 'real world' issues, the international laws and institutions developed to address them, and the operation of those regimes in practice. In exploring these case studies, particular emphasis will be placed on the practical implementation of international laws, on comparing differing approaches to such implementation, and on the comparative successes and limitations of the</p>				

	international legal response to fundamental issues of global concern such as the use of force, regulation of the seas, climate change, trade, human rights and the war on terror.
--	---

Course Code	5121501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	沿岸域管理法制度論				
Faculties	三浦 大介				
Course Objectives/Overview	<p>まず、実務上の重要性にもかかわらず行政法学の教育では片隅に追いやられている公物法について、その基礎理論をひと渡り学習する。その後、わが国に存在する沿岸域に関する諸法律を外観し、沿岸域の「総合的管理法」の必要性を認識する。</p> <p>法制度の基礎知識が身についた段階で、海岸法や採石法の許認可をめぐる訴訟や、海砂利採取に関する各種の訴訟の事例を取り上げ、単なる法解釈論的な理解に留まらず、事件の背景にある利害衝突の実相を探究し、問題の解決方法を考究する。1つの問題を多角的に理解する能力の涵養に努めたい。</p>				

Course Code	5121510	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	コーポレートガバナンス				
Faculties	林 良造／中原 裕彦／佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>わが国では、90年代後半のバブル崩壊・不良債権処理の遅れの顕在化以降、会社法・金融商品取引法・会計規則・税法などの諸制度の改正が進み、株式所有形態の変化などと相まって企業経営の監視は格段に充実された。また、近年では成長戦略の一環としてコーポレートガバナンスに関する関心が高まっている。昨年には「機関投資家が対話を通じて企業の中長期的な成長を促すなど、受託者責任を果たすため」として『責任ある機関投資家』の諸原則(日本版ステewardシップ・コード)が実施され、さらに今年には「会社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため」として「コーポレートガバナンス・コード」が実施に移された。</p> <p>この授業では、我が国のコーポレートガバナンス制度が直面している課題及び適切な制度構築に向けた論点を検討するとともに、実際のコーポレートガバナンスの現場や各国のガバナンス制度の違いを把握することから、さらなる制度設計に向けた視座を得る。</p>				

Course Code	5122011	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	市民社会組織・政策論				
Faculties	田中 弥生				
Course Objectives/Overview	本講義の目的は2つある。第1にNPOやNGOなど市民社会組織の				

理論と現状を学び、関連の制度および政策を分析することである。第2は、新たな試みで、非営利組織の評価論の基礎を集中的に学ぶことである。

市民社会組織が、政策的課題として本格的に取り上げられるようになったのは東西冷戦終焉直後からである。だが、主たる期待は社会サービスの補填機能であった。昨今、ポピュリズムや民主主義の危機が取りざたされる中で、大きな緊張感が生じている。こうした中で市民社会は正にも負にも作用する。そこで、ナチスなど歴史の変遷にも着目しながら、市民社会とその中軸を担う非営利組織について考察する。

日本では人生100年時代と言われ、働き方や人生設計のあり方の転換を求められている。こうした中、パラレルキャリアが注目を浴びている。日本の大企業を対象に行ったアンケート調査(1.7万サンプル)の分析結果とあわせて、高度化するボランティア・マネジメントについて海外の最新動向も踏まえ学んでゆく。

また、昨年より評価論の基礎を集中的に学ぶ機会を設けた。SDGsや休眠預金法の施行にあたり、官民より大量の資金が非営利セクターに投じられる可能性があるが、同時に、評価による説明責任が求められるようになってきている。他方で、非営利の評価は技法が先行し、それに振り回される傾向がある。そこで、ベースにある考え方や思考を抑えた上で、代表的な手法についてワークショップ形式の講義を交え学んでゆく。なお、これらは政府が実施する政策評価論と共有するもので、公共セクターにも適用されている。

【内容】以下のような内容を網羅する予定である。詳細は詳細版を参照のこと。

- ・イントロダクション：日本社会の持続性と非営利組織
- ・社会統治と市民社会 ～ドラッカーとナチスとボランティア～
- ・市民社会組織運営：経営論
- ・新入材開発：パラレルキャリアと高度化人材マネジメント
- ・市民社会政策の分析Ⅰ：資源提供者と非営利組織の仲介機能の設計
- ・市民社会政策の分析Ⅱ：官から民へ、構造改革とNPO政策
- ・評価論「変化とは何か 進捗と効果を科学する～
- ・評価論「目的とは何か 課題分析、目的分析、指標設定」

Course Code	5122020	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	比較政策過程論				
Faculties	久保 文明／平島 健司／中山 洋平				
Course Objectives/Overview	先進民主主義諸国のうち、影響力のある主要な国の事例を取り上げ、その政策過程を比較検討する。今年の講義では、アメリカ合衆国とドイツ、フランスをなるべく体系的に比較することを目指す。予算・年金・福祉、移民、気候変動など、様々な政策領域から適宜、具体例を紹介する。				

	重要な論点としては、政策形成の背景となる各国の公式の制度、官僚制の特質、政治文化、政党や利益団体の役割、シンクタンクなどの政策立案能力などが挙げられる。国ごとの、そして政策領域ごとの歴史的背景と同時に、比較政策分析のために有効な理論や概念も紹介される。
--	--

Course Code	5122035	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政府間関係論				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本授業は、自治体行政学を受けて、現代日本の自治体行政を、複数の政府間の関係からなるシステムである点に着目して、実際の制度と運用に即して概観することを目的とする。しかし、行政学の一分野としての側面を重視する観点から、現代日本の行政全般に関しても注意を払う。</p> <p>進め方は、日本及び他の先進諸国の政府間関係・地方自治・都市行政および行政一般に関する基礎的文献を素材として、指定された文献を事前に読んでくることを前提に、担当学生による報告と、解説の講義と、参加者間の討論を進めることとする。</p> <p>その意味で、実質的には演習形式を想定している。</p>				

Course Code	5122070	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 A (現代中国の政治)				
Faculties	高原 明生				
Course Objectives/Overview	<p>この講義は、建国以来、今日にいたるまでの中華人民共和国の政治と外交を主な対象とする。実質的な一党独裁を続ける中国共産党の思想、組織、政策、行動様式などが、如何に変化してきたか、あるいは変化しないままできたか、ということが中心問題である。当然ながら、その変化は国際環境の影響を受けている。</p> <p>日本やアジアのみならず、世界にとって、中国の重要性がさまざまな意味でますます大きくなることは間違いない。中国に関して、しっかりとした根拠に基づき、理性的に議論することが肝要であるが、中国政治は複雑かつはなはだ不透明である。それについて学び、理解することは難しいが、面白い。</p>				

Course Code	5122080	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 B (現代東南アジアの政治)				
Faculties	藤原 帰一				
Course Objectives/Overview	東南アジア諸国の政治を概説する。植民地時代から現在に至るこの地域の歴史について、最近の研究成果を交えて紹介すること、さら				

	に東南アジアを通して、民族意識はどのように生まれるのか、独裁は経済開発のためには必要なのか、軍事政権はいつできてどう壊れるのかなど、基本的な問題を考えることが目的である。
--	---

Course Code	5122086	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 B (現代中東の政治)				
Faculties	池内 恵				
Course Objectives/Overview	授業の目標：近現代の中東におけるイスラーム主義の展開を、政治史・国際関係史・思想史のそれぞれの文脈と背景の上に位置づけ把握する。				

Course Code	5122090	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域政治 C (現代南欧の政治)				
Faculties	伊藤 武				
Course Objectives/Overview	<p>本授業は、現代の南欧（イタリア、スペイン、ポルトガル、ギリシア）の政治について、比較政治的に考察する授業です。</p> <p>南欧4カ国の政治は、北西欧のヨーロッパ政治と比べて、民主主義や経済の歴史的発展の遅れ、独裁の存在、政治や社会の組織の弱さと個人的関係の重要さ、政治腐敗の深刻さなど、否定的な特徴を持つ地域として語られてきました。しかし、1970年代のポルトガルとスペインの民主化以降、第3の波の民主化の移行モデル、家族主義的福祉レジーム、ポピュリズムの伸長、経済危機の影響など、比較政治的に有意義な分析対象として扱われるようになっていきます。</p> <p>他方で、南欧という同じ地域ながら、第2次世界大戦後長い間議会制民主主義を維持してきたイタリア、議院内閣制と連邦制的な統治制度を採用したスペイン、半大統領制下で比較的安定した2大政党制を築いているポルトガル、独裁と民主制の激しい変動を経験してきたギリシアと、4カ国相互の差異も小さくありません。</p> <p>このような南欧共通の特徴と差異に注目しながら、本授業では、現代南欧、具体的には第2次世界大戦以降の南欧政治に重点を置いて、比較政治的観点からの分析を行っていきます。</p>				

Course Code	5122097	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	地域政治 C (現代アメリカ政治特殊研究)				
Faculties	久保 文明				
Course Objectives/Overview	最近のアメリカ外交について、一方でポピュリズムの台頭、他方で対中政策の変化を念頭に置きながら、考察する。				



Course Code	5122110	Term	通年	Credits	2
Course Title	自治体行政聴査				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本演習では、現代日本の自治体行政の実態を理解することを目的とする。</p> <p>本年度は川口市の都市計画を採り上げる。これまでは社会保障分野の諸政策を扱ってきた。しかし、都市自治体にとってのもう一つの重要な基盤になっているのは、社会基盤整備分野の諸政策である。その手始めとして都市計画を採り上げる。行政実務的には、実際に、どのようになされているのかにつき、知見を深めることとする。</p> <p>ここ10カ年ほど、川口市に関しては総合計画・行政管理・合併・国民健康保険・介護保険・障害福祉・生活保護・子ども行政を題材として採り上げたところであるが、その延長線上にある。本演習では、現代日本の自治体行政の実態を理解することを目的とする。</p>				

Course Code	5122135	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	New Dimensions of Security in the Risk Age				
Faculties	HENG Yee Kuang				
Course Objectives/Overview	<p>The following outcomes are emphasized:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. An ability to understand and evaluate a range of new security challenges and policy responses in a World Risk Society interconnected through globalization and technology</li> <li>2. The linkage between industry, media, politics, and science and its relevance to global security affairs</li> <li>3. The ability to collate and evaluate arguments from different sources and theoretical perspectives</li> <li>4. The ability to formulate and articulate views coherently in written and oral forms</li> <li>5. Critical thinking, analytical and reading skills</li> </ol>				

Course Code	5122136	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	U.S. Diplomacy toward Asia				
Faculties	MORI Satoru				
Course Objectives/Overview	<p>This is a seminar-style course that will address major themes relating to contemporary U.S. diplomacy in Asia. The objective of this course is threefold: (A) to gain knowledge of U.S. foreign policy perspectives on contemporary diplomatic issues in Asia, (B) to develop a realistic appreciation of the intricacies of U.S. foreign policy-making, and (C) to hone skills of exploiting insights from theoretical analysis of international relations.</p>				

Course Code	5122137	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Ethics and International Relations				
Faculties	ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>This course intends to provide an overview of the main ethical questions arising within international politics, both in academic discussions in their historical evolution, and from the perspective of practitioners. It is designed for an audience of postgraduate students. Some background in International Relations theory is welcome, although not required. Ideally, students may take this course following my Introduction to International Politics. By the end of this course the student should have acquired a substantial knowledge of the main questions of ethics in International Relations, becoming familiar with the concepts and jargons of ethical theory, just war, ethics of war and warfare, responsibility to protect, human rights and global justice, issues of sustainable development and SGDs. The course will also provide some information about the cultural origin of some of these ethical-political issues through the lenses of political theology.</p>				

Course Code	5122140	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	国際政治経済の諸問題				
Faculties	飯田 敬輔				
Course Objectives/Overview	<p>本演習は国際政治と国際経済の接点にある各種の問題について実証的に研究することを目的とする。いわゆる国際政治経済論（IPE）は従来から、政治と経済の複雑に絡む問題についてはほとんどすべてとわいていいほど網羅的にカバーしている。本演習もその多様性を反映して、国際貿易や国際金融だけでなく幅広い題材を扱う。</p>				

Course Code	5122156	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際政治特殊研究				
Faculties	藤原 帰一				
Course Objectives/Overview	<p>核兵器と国際関係について包括的に検討を行う。米ソ冷戦の時代、核兵器は国際政治を左右する最大の要因とも言うべき存在だった。冷戦終結、そして戦略核兵器削減交渉の進展と第一次条約締結以後の展開により、核兵器は大国の国際関係の中では相対的な重要性を減らし、むしろ新たな核保有国の登場、核拡散に焦点が移る。だが、冷戦終結後の大国関係の安定は中国の軍事的台頭や米ロ関係の緊張とともに損なわれ、現在では核拡散の危険が続くとともに、大国の国際関係における核兵器の役割も復活している。この演習では、冷戦初期に著された古典的著作から始め、戦略論の基礎を確認するとともに、現在の国際関係における核戦略の意味、核拡散とそれに対する試みなどについて考えてゆきたい。</p>				

Course Code	5122158	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Insurgency and Counterinsurgency				
Faculties	AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>This seminar provides students with a basic understanding of a range of academic and policy issues related to what are frequently called “small wars”, or insurgency and counter-insurgency. The seminar introduces theoretical and empirical approaches to the study of insurgency and counterinsurgency, with a particular focus on historical changes in conceptual frameworks for understanding the phenomena of insurgency, and on how policy and strategic responses have been shaped by such conceptualization. The concept of warfare itself is examined.</p> <p>Seminar Objective: On completion of the seminar, students are expected to demonstrate:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>a) In-depth understanding of the concepts of insurgency and counterinsurgency.</li> <li>b) In-depth knowledge of history of insurgency and counterinsurgency in the 20th and 21st centuries.</li> <li>c) Ability to appraise competing theories and interpretations of the origin, concept and dynamics of insurgency, and effectiveness of counterinsurgency.</li> <li>d) Ability to engage in policy debates concerning contemporary operations such as Iraq and Afghanistan.</li> <li>e) Ability to use analytical skills and present independent research on topics in this area.</li> </ul>				

Course Code	5122159	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Transformation of Warfare and Technology				
Faculties	AOI Chiyuki				
Course Objectives/Overview	<p>There have developed quite separate debates concerning, on the one hand, the Transformation of Warfare, and Revolution in Military Affairs on the other. Conventional knowledge is that while the former approach encompasses a vast range of scholarly analysis on how war in the contemporary era might have transformed in all spheres of economy, politics and society, the latter has focused on the impact of technological advancement in a narrower sense on warfare, especially the way in which warfare has been conducted or ought to be conducted. However, to discuss changes in the character of war in these quite distinct spheres, each with specific preoccupations with no interactions, is not very conducive to a meaningful generalization about the transformation of warfare itself.</p> <p>The purpose of this seminar is to consider the impact of modern and contemporary technological changes, especially focusing on communication and media spheres, on the character and conduct of warfare today, hence bridging the two distinct spheres of interests.</p>				

Course Code	5122170	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	西欧比較政治論				
Faculties	中山 洋平				

Course Objectives/Overview	<p>*2019年2月の時点で2つの案を検討している。9月初めまでに確定するので、UTAS上で必ず確認すること</p> <p>A案 20世紀の福祉国家の発展においては総力戦が大きな役割を果たしたとしばしば言われるが、少数の事例を短いタイムスパンで検討しただけでは、的確な歴史像を掴みそこなうだろう。今回の演習では、なるべく多くの先進国の事例を一世紀前後にわたって検討することで、この決まり文句に実際にはどの程度の有効性があるのかを検証する。</p> <p>B案 19世紀末の大衆政治の到来と共に、西ヨーロッパ諸国では大衆組織政党が登場する。従来、日本のヨーロッパ政治史研究では、この過程は主として大衆動員・組織化とサブカルチャー構造の形成という文脈で捉えられてきた。これに対して、今回の演習では、選挙をはじめとする種々の政治制度と政党組織の間の相互作用から政党政治の歴史的発展を説明しようとする研究動向を検討する。</p>
----------------------------	---

Course Code	5122182	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Japan's Modernization Experience and Its ODA Policy				
Faculties	TAKAHARA Akio / IOKIBE Kaoru / KATO Hiroshi / KAYASHIMA Nobuko / KITAOKA Shinichi / KITANO Naohiro / SAWADA Hiroyuki / NISHIZAWA Toshiro / NITTA Ichiro / HAYASHI Ryoza / MAKIHARA Izuru / YAMADA Jyunichi				
Course Objectives/Overview	This course is designed to offer an overview of Japan's experience in modernization and how it has extended its assistance to other countries' modernizing efforts. As the first non-western country to modernize, Japan's experience, both positive and negative, presents an important reference point for other countries to investigate. This course is conducted in cooperation with JICA, the Japan International Cooperation Agency. Those taking part in the JICA Development Studies Program are required to take this course, while other students are most welcome to take part.				

Course Code	5122201-1	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Chinese Politics				
Faculties	LIM Jaehwan				
Course Objectives/Overview	This course is a broad introduction to the main issues in contemporary Chinese politics and social change. The course focuses first on key actors of the party-state (the Communist Party, government, military, state-owned firms, local governments, etc) and examines their organizational functions and preferences. It then addresses concrete policy issues (economic, financial, social, security, foreign, etc), discussing how these actors interact to formulate and implement public policy. Students are expected to gain broader understandings regarding Chinese politics, thereby revisiting and updating pre-existing beliefs and ideas about China.				

Course Code	5122201-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Contemporary Chinese Diplomacy				

Faculties	TAKAHARA Akio
Course Objectives/Overview	This course looks into the diplomacy of the People's Republic of China. It discusses the development of Chinese diplomacy from the days of Mao Zedong and Zhou Enlai to the current period. Important questions to be tackled include the policy process, especially the linkage between internal politics and external policy.

Course Code	5122202	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	比較政治学・概論				
Faculties	MCELWAIN Kenneth Mori				
Course Objectives/Overview	研究者を目指す大学院生に向け、比較政治学における主要なトピックを紹介する。世界の研究者はどのようなテーマに関心を持ち、理論や方法論はどう発展してきたのか。先行研究の問題点は何であり、どう解決するべきなのか。受講生は議論を通して、政治学における様々な概念についての理解を深めることができるだろう。				

Course Code	5122206	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Relations and Political Regimes				
Faculties	HIWATARI Nobuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this seminar is to familiarize participants with the ongoing developments in international political economy and political science theorizing that is necessary to understand the contemporary developments observed since the mid-1980s.</p> <p>The three decades since the mid-1980s can be characterized as a period in which political liberalization (i.e. the third wave of democratization) and market liberalization (i.e. economic globalization) have spread geographically, probably to its limits of late. Such parallel changes can be ascribed to newly democratizing regimes adopting open-market economic reforms to promote growth under the auspices of international economic arrangements and organizations. Noteworthy of this process is the fact that: (a) Western developed democracies had pioneered neoliberal economic reforms prior to developing countries; (b) their dominance of international organizations—the GATT-WTO, the IMF, and the World Bank—and use of extensive trade agreements dictated the terms of integration into the global economy by developing economies; and that (c) the diffusion of international neoliberalism was bounded by domestic resistance within developed democracies and international hostility of authoritarian leaders towards open-market reforms and international arrangements dictated by Western democracies.</p> <p>Ongoing theoretical developments help us understand these closely interrelated developments by providing cues as to: (a) why international businesses within developed democracies the expansion of international arrangements that promote trade and investment, and how such initiatives by developed democracies are hindered by unskilled workers and uncompetitive businesses; (b) how political regimes determine their foreign economic policy as part of their developmental strategy, and why only liberalizing political regimes can credibly commit to open-market reforms requested by developed democracies; and (c) how the spread of</p>				

	<p>Western international arrangements forces illiberal authoritarian leaders to choose between loosening their grip on the economy at the risk of strengthening political challenges or explore revisionary development strategies and seek economic cooperation and security alliances with non-Western regimes.</p> <p>By reviewing the analytical frameworks that help us answer these questions, this course enables us to understand the aforementioned developments in the global political economy.</p>
--	--

Course Code	5122211	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	発展途上国の政治				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	発展途上国の国内政治に関連する基本的概念と理論を習得し、発展途上国の政治の構造と力学を広い意味で理論的に理解する。また、政治における暴力の問題を分析する。				

Course Code	5122215	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	先進国の比較政治				
Faculties	網谷 龍介				
Course Objectives/Overview	<p>この講義は、政党デモクラシーの構造と変容をヨーロッパの事例を中心として検討するものである。具体的には、第二次世界大戦後(ca. 1950-80s)の西ヨーロッパにおいて安定をみた、議会を中心とする政党デモクラシーを、「デモクラシーという理念の一つの歴史的実装」と位置づけ、その社会的前提条件、現実の運営、規範的位置を検討する。その上で、その後(ca. 1990s-)の変容を検討しながら、この「歴史的実装」が現在直面している困難を分析する。</p> <p>もとより戦後ヨーロッパの事例はローカルなものに過ぎない。大統領制における政党の意義は議会制におけるそれと大きく異なり、社会的諸条件に応じて政党の果たす機能も相違せざるを得ない。しかしこの特殊事例の検討は、理論的・普遍的に説明可能なものと歴史的・社会的条件に依存している部分を腑分けする作業を必須とする。またおそらくは、この「歴史的実装」がさまざまな分析的・規範的モデルを通じてわれわれの政治学的思考に強く影響しているものであり、その帰趨は政党とデモクラシーをめぐる議論全体に影響しうる。これらの点で、他の地域・時期に主たる関心を持つ受講者に対しても一定の有益な知見をもたらすものと期待している。</p> <p>なお、本講義のパースペクティブは歴史的なものであり、特に新たな因果関係の説明を提示するより、事態の理解と概念化を重視するものだが、講義内容のなかでは先端的な比較政治研究の成果も随時紹介する。</p>				

Course Code	5122236	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	International Politics in East Asia				
Faculties	SAHASHI Ryo				
Course Objectives/Overview	This course does not focus on a particular nation's foreign policy. Rather, we examine the impacts of both the rise of Asia, regionalism and American commitment on the order in East Asia. Behaviors of not only great powers but small and middle powers are to be analyzed.				

Course Code	5122255	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	社会安全政策論				
Faculties	堀 誠司				
Course Objectives/Overview	社会安全政策論においては、犯罪を中心とした人の行為に起因する危険から個人や社会を守るための政策を扱う。本講義を通じて、過去15年間における治安の劇的改善を理論的に理解することができ、さらには個々人が直面するであろうリスクや課題に適切に対応するための鍵を得ることができる。また、講義や議論を通じて、社会における様々な問題を把握し、分析し、その解決策を提示する能力を養うことを目指す。				

Course Code	5122261	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Public Management				
Faculties	KUDO Hiroko				
Course Objectives/Overview	<p>The course has five major topics, which are the goals as well;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) To understand the basic theories and concepts of public management. In this regards, evolution from traditional public administration theories and practice to public management, and then toward public governance would be illustrated, analysed and discussed.</li> <li>2) To understand the issues and challenges of public management. Especially financial crisis, austerity measures, and ageing society would be discussed.</li> <li>3) To understand the major techniques of public management through cases and acquire the ability to apply them to solve problems. Exercises would be provided to improve the problem-solving capacity of the participants.</li> <li>4) To understand the Japanese public management in international context. Since this course is offered in Japan, special attention will be paid at its characteristics and uniqueness from comparative point of view.</li> <li>5) To understand the issues and challenges of Japanese public management. Major issues in recent years would be explored and discussed.</li> </ol> <p>The course would be divided in five parts according the topics above mentioned. In each section, course participants will be provided a pack of reading materials, which would be discussed after the introductory lecture of the instructor. The course uses flipped classroom arrangement and stress is given on discussions during the class. Participants are asked to find cases (Japanese or those of their countries of origin) to be examined and be presented during the course. Selected cases would be</p>				

	discussed at the end of the course. Term paper should be on the cases.
--	--

Course Code	5122286	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	ラテンアメリカの移行期正義－真実・正義・和解・記憶				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	<p>「移行期正義」とは、独裁や内戦状態から脱した国で、過去に犯された深刻な人権侵害にいかに対処するかという問題領域であり、具体的な措置としては、加害者の訴追（または免責）、真相究明委員会の設置、被害者への賠償、記念行事、国家による謝罪、加害者の公職追放、再発防止のための制度改革などが含まれる。1970年代末から民主化の波を経験したラテンアメリカは、今日世界的潮流になっている移行期正義の発祥の地と見なされている。</p> <p>独裁や内戦を脱したラテンアメリカの諸国は、難しいジレンマに立たされた。どの国でも、軍が大きな力を保持しており、加害者の責任を本格的に追求するとクーデターを誘発する恐れがあった。しかし人権侵害の犠牲者やその家族たちは、加害者の処罰や真相の究明を求めて粘り強い運動を展開した。その結果、いまだ不十分であるものの、国際的な比較の観点で言えばラテンアメリカは、移行期正義が相対的に進展した地域となっている。本演習は、ラテンアメリカの移行期正義の経験から、そこに絡む様々な問題について考察する。</p>				

Course Code	5122294	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	紛争、独裁後の移行期正義－真実・正義・和解・記憶				
Faculties	大串 和雄				
Course Objectives/Overview	<p>「移行期正義」とは、独裁や内戦状態から脱した国で、過去に犯された深刻な人権侵害にいかに対処するかという問題領域であり、具体的な措置としては、加害者の訴追（または免責）、真相究明委員会の設置、被害者への賠償、記念行事、国家による謝罪、加害者の公職追放、再発防止のための制度改革などが含まれる。</p> <p>移行期正義はどのような発展を遂げてきたのか、移行期正義は各国においてどのように展開するのか、移行期正義の措置にはどのような効果が認められるのか、移行期正義と「和解」の関係はどのようなものか、「記憶」は移行期正義とどのように関わるのか、授業ではこのような問題について理解を深めることを目的としている。</p>				

Course Code	5122370-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	現代日本政治論演習				



Faculties	谷口 将紀
Course Objectives/Overview	<p>東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政資料センター原資料部の片隅に、「謎の資料」がひっそりと眠っています。</p> <p>何時、誰が、どのような目的で寄贈したのか、そもそもこれは何であるのか、いくつかの手掛かりを除いて記録は残されていません。経緯をご存じであろう本学関係者の方々も、多くは既に他界されています。</p> <p>しかし、日本における世論調査の草創期を物語る記録として、関係者の耳目を集める資料群になることは確実です。現代に生きる私たちは、この貴重な学術資料に新たな生命を与え、たいまつを後世に引き継ぐ必要があります。</p> <p>長年日の目を見ぬままに死蔵されてきた本資料を整理し、来歴を調査し、新資料を活用して研究を行うことが、本演習のミッションです。</p>

Course Code	5122375	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Causal Inference				
Faculties	IMAI Kousuke				
Course Objectives/Overview	This course will cover the statistical theory and empirical applications of causal inference methods for observational studies.				

Course Code	5122384	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Space Development and Public Policy				
Faculties	MIZUNO Motoko / SHIROYAMA Hideaki / NAKASUKA Shinichi / KIKUCHI Kouichi				
Course Objectives/Overview	<p>Space related treaties which are legal basis of the global space activities are subject to governmental activities and presume that governments supervise non-governmental activities. Under the governmental supervision, conventional space companies have supported governmental space activities to contribute to national interests. However, New Space companies that emerged in 2000s are proceeding space activities with their own visions and business models although under governmental supervision, then activating global space activities. On the other hand, according to the increase of space debris, there are concerns about sustainability of global space activities, and governments are still responsible for sustainable space development and utilization, infrastructures, and industrial bases. In Japan, 2008 Space Basic Law enabled space activities for national security, renewed its governance structure by establishing Strategic Headquarters for Space Policy headed by Prime Minister, and shifted its weight to utilization from research and development. 2016 Space Activities Law set out legal basis for space activities including by private companies. However, there are still various legal and policy challenges including industrial promotion and space debris issue from the viewpoint of sustainable space activities.</p> <p>This course will offer practical lectures by various practitioners and specialists to understand current situation of space development and utilization. Afterwards,</p>				

	students will develop and discuss policy proposals for specific themes as practices. FY 2019, we will deal with the latest topics including space traffic management (STM), roles of national space agencies, and space resource exploration under the theme of Governance of Space Activities.
--	---

Course Code	5122389	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Boom, Bust, and Beyond: the Political Economy of Development in East Asia				
Faculties	NOBLE Gregory William				
Course Objectives/Overview	How have East and Southeast Asia grown so fast? Why have they been subject to such dramatic vicissitudes? How do they fit into regional and international security, trading, and monetary systems? This course will provide a political economy overview, combining historical background; systematic comparisons of liberal, statist, and institutionalist approaches; and political analysis. The main focus is on development, crisis and recovery in Japan and China, but we will also look more briefly at Korea, Taiwan, ASEAN, and Asian regionalism.				

Course Code	5122394	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	現代ヨーロッパにおける国家とデモクラシー				
Faculties	平島 健司				
Course Objectives/Overview	現代のヨーロッパでは、移民や難民の流入、あるいはテロの拡大を通じて宗教をめぐる問題が人々の関心を集めている。世俗化が進んでいたはずのヨーロッパにおいて、国家と教会との関係やデモクラシーのあり方はどのように組み直されようとしているのだろうか。歴史的背景の中で各国の対応を相互に比較しつつ理解することが目的である。				

Course Code	5122400	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Governance				
Faculties	TIBERGHYEN Yves				
Course Objectives/Overview	Purpose of this course is obtaining a solid understanding and some critical skills at five levels: 1. The theoretical dilemmas of global governance in the current age; 2. The ability to unpack the process of creating global governance (comparing different arenas) 3. The ability to develop a pathway to analyze and solve governance problems; 4. A better empirical understanding of the particular historical juncture of our current period in a larger comparative perspective with a focus on the interplay between the US, the EU, Japan, and large emerging powers (China, India, Brazil) among others. 5. And empirical knowledge on four issue areas: global finance, climate change, and biosafety from the perspective of global governance, and a changing balance of power				

Course Code	5122402	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Japan in Today's World				
Faculties	FUJIWARA Kiichi				
Course Objectives/Overview	<p>The purpose of this course is to provide a basic overview of Japanese politics and foreign policy in today's world. As a summer program designed for participants from academic institutions in the International Alliance of Research Universities, the composition of students will be multinational, providing an opportunity for Japanese students to observe their surroundings from a new perspective. 日本の政治外交について基本的な見取り図を提供することがこのコースの目的である。研究重点型大学連合(IARU)のサマープログラムの一環として開催される関係から、参加する学生は多国籍であり、そのためにこれまでとは異なった視点から日本政治を考える機会を得ることができるだろう。</p>				

Course Code	5122410	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Risk and Regulatory Policy				
Faculties	KISHIMOTO Atsuo				
Course Objectives/Overview	<p>Learning outcomes  To have a clear understanding of the idea of "risk" applicable to diverse subjects.  To have a sense of developing "risk regulations" in various fields in an evidence-based way.  To have knowledge on the utility of, and the way to conduct "regulatory impact analysis/assessment (RIA)".  To have a capability of analyzing "real risk issues" in a consistent way for preparing better regulatory policies.  Contents of each class  The class consists of the following three components:  A) "Key phrases" will be introduced in each class with related classic paper(s).  B) "Real world risk regulations" will be discussed for one risk issue in each class from the viewpoint of how risks have been assessed and managed in Japan.  C) "Regulatory Impact Analysis (RIA)": RIA document(s) covering the similar topics as "real world risk regulation" will be introduced from cases in the US, UK, EU, Australia, Canada or Japan.</p>				

Course Code	5122501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海洋科学技術政策論				
Faculties	諏訪 達郎／城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>海洋に関連する公共政策の立案と実施においては、科学技術の開発、社会における科学技術利用の決定・促進、科学技術利用に伴う安全・環境悪化の防止といった科学技術と公共政策の交錯領域が重要になっている。具体的には、そのような科学技術開発・利用にお</p>				

	いては、様々なステークホルダーとの調整や合意形成が重要になってくる。本授業では、国内レベルあるいは国際レベルにおける海洋政策の形成過程において科学技術が果たす役割を明らかにするとともに、そのプロセスにおける調整・合意形成過程を明らかにする。
--	--

Course Code	5122502	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	海事政策論				
Faculties	長谷 知治				
Course Objectives/Overview	<p>四面を海に囲まれた我が国の経済・国民生活を支える上で、海事産業は非常に重要な役割を担っている。例えば、輸出入貨物の99.7%は海運により輸送されている。</p> <p>海事関係の主要分野には、国際・国内の海上輸送（貨物、旅客）、造船、船員、港湾、水先、海上保安等が含まれる。それぞれの分野では、安全確保、事業振興、環境対策、セキュリティ、離島振興、観光振興、人材確保・育成等の視点から必要な政策が議論され、立案、遂行されることになる。また、海事政策においては法令・予算・税制といった国内における措置に加え、国際機関への対応も重要な要素となっている。</p> <p>この授業では、海事関係の様々な分野の事業や業務の構造、歴史、制度、最近の課題や政策、今後の見通し等について、多面的に理解することを目標とする。このため、中央省庁における実務を踏まえた講義を行うとともに、様々な分野の第一線で活躍している優れた実務関係者の話を聞いて対話する機会、施設の見学等を計画する。</p> <p>なお、この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである海洋学際教育プログラムを構成する科目でもあることを踏まえ、法律、行政、海事産業等に関する予備知識があまりない者にも理解しやすいように配慮する。</p>				

Course Code	5123021	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	環境政策				
Faculties	有馬 純				
Course Objectives/Overview	地球環境問題とエネルギー問題の密接不可分な関係、IPCCの科学的知見と不確実性、地球温暖化をめぐる国際ガバナンスの動向、温暖化対策の理論と実際、我が国における温暖化対策、目標の動き等についての理解の増進を目的とする。				

Course Code	5123026	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	再生可能エネルギーと公共政策				
Faculties	有馬 純				

Course Objectives/Overview	エネルギー安全保障、温暖化防止両面から再生可能エネルギー導入拡大に向けた期待が高まっており、コスト低下も急速に進んでいる。同時に間欠性のある再生可能エネルギーの大量導入が系統に与える影響、他電源に及ぼす影響、補助負担の拡大等、様々な課題も顕在化している。本講座では再生可能エネルギー導入拡大のための政策の現状、課題及び主要な再生可能エネルギー源毎の課題、プロジェクトファイナンスのあり方等について講義を行い、再生可能エネルギーについてバランスのとれた視点を提供することを目的とする。				
----------------------------	---	--	--	--	--

Course Code	5123027	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	再生可能エネルギーと公共政策				
Faculties	有馬 純				
Course Objectives/Overview	エネルギー安全保障、温暖化防止両面から再生可能エネルギー導入拡大に向けた期待が高まっており、コスト低下も急速に進んでいる。同時に間欠性のある再生可能エネルギーの大量導入が系統に与える影響、他電源に及ぼす影響、補助負担の拡大等、様々な課題も顕在化している。本講座では再生可能エネルギー導入拡大のための政策の現状、課題及び主要な再生可能エネルギー源毎の課題、プロジェクトファイナンスのあり方等について講義を行い、再生可能エネルギーについてバランスのとれた視点を提供することを目的とする。				

Course Code	5123028	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	観光政策概論				
Faculties	佐藤 善信／渋武 容／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	産官一体での「観光立国」が推進され、観光が一大外貨獲得産業に急成長する一方で、幅広い関係者との調整が求められ、様々な課題が顕在化している。各分野で進められている観光政策の最新施策等を俯瞰的に学習するとともに、議論を通じ、その特性や持続可能な観光政策のあり方について考える。				

Course Code	5123029	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	観光地域政策				
Faculties	佐藤 善信／渋武 容／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	観光は多様な関係者によって提供される様々なサービスを効果的に組み合わせで成立している。観光の主要要素や先端的地域の最新の取り組み等を学び、議論していくことにより、具体的な観光政策の立案・推進に必須となる重層的かつ実践的な知見を習得する。				

Course Code	5123030	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	都市地域政策				
Faculties	長谷 知治／高橋 孝明／河端 瑞貴／中川 万理子				
Course Objectives/Overview	現実の都市地域政策を経済学のツール等を用いて分析・評価する能力を養うことを目的とする。講義において実際に取り扱うテーマは、交通政策、土地利用政策、都市環境政策、住宅政策等の中から、適宜選択する。政策分析における GIS (地理情報システム) の活用法についても教示する。				

Course Code	5123031	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	地域交通政策研究				
Faculties	宿利 正史／長谷 知治				
Course Objectives/Overview	<p>少子高齢化、人口減少等が顕在化、深刻化しつつある今日、都市部、地方部を問わず、地域公共交通をめぐる状況は、全般的に厳しさを増している。</p> <p>こうした状況の下、地域住民の足であり、かつ、地域間交流の基盤であるとともに、インバウンド観光を含む観光交流にも不可欠である地域公共交通を持続的に確保・維持し、改善していくための政策のあり方について、各授業毎に具体の事例を採り上げて、当該事例の解説及びディスカッション並びに現地視察を通じて考察を深める。</p>				

Course Code	5123032-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun／TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123032-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Energy Security				
Faculties	ARIMA Jun／TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Learn about individual energy sectors from global energy security perspective. Find out public policy issues for each sector and develop policy responses to enhance secure, affordable and sustainable energy supply.				

Course Code	5123033	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Energy Systems				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi / FUJII Yasumasa				
Course Objectives/Overview	In this course, basics of energy systems on and around nuclear energy are explained comprehensively. Environmental and economic evaluation methods associated with energy use and development are also mentioned so that the students can obtain balanced knowledge and ways of thinking of energy systems.				

Course Code	5123034	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Resilience Engineering				
Faculties	KOMIYAMA Ryouichi / FURUTA Kazuo				
Course Objectives/Overview	Resilience is the intrinsic ability of a system to adjust its functioning prior to, during, or following changes and disturbances, so that it can sustain required operations under both expected and unexpected conditions. Resilience can be an advanced concept of safety based on probabilistic concept of risk and now drawing attention of researchers and practitioners. Resilience engineering is an academic area of study to pursue methodologies how to implement resilience to complex socio-technological systems. This lecture provides fundamental concepts, frameworks of resilience engineering as well as an up-to-date overview of specific applications.				

Course Code	5123035	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	災害・リスクと経済				
Faculties	中田 啓之 / 深尾 光洋 / 木原 隆司 / 齊藤 誠 / 庄司 匡宏				
Course Objectives/Overview	<p>自然災害は先進国・発展途上国を問わず人々の生活を破壊しうる。今回の大震災は、地震や津波といった自然災害だけでなく、原子力発電所事故による放射能漏れという深刻な「技術的災害」を伴っている。2011年秋にはタイ・アユタヤ周辺で大規模な洪水が発生し、多くの日系企業が被災、膨大な直接被害とサプライチェーンを通じた深刻な間接被害が生じた。翻れば、日本と世界経済は、2008年のリーマン・ショックを契機とする「世界金融危機」やユーロ圏の財政危機の余波も未だに受けている。さらには、アフリカの多くの国々がいまだに紛争や熱帯感染症に直面する一方、テロ事件が先進国にも深刻な影響をもたらしている。こうした世界の様々な大災害は「自然災害」「技術的災害」「経済危機」「戦争」の4つのカテゴリーに大別される。最後の3つは「人的災害」と呼ぶことができよう。東日本大震災のような地震災害に限らず、巨大リスク全般を扱うオムニバス講義として、これら4種類の災害について、リスクを把握した上で事前の備えと災害後の復旧・復興を考える。</p>				

Course Code	5123036	Term	A1A2	Credits	2
-------------	---------	------	------	---------	---

Course Title	Advanced Topics in International Trade
Faculties	FUJII Daisuke
Course Objectives/Overview	<p>This is a graduate-level class of international trade, which is a natural sequence of the trade class taught in the spring semester. We will mainly study academic papers together to grasp the recent advancement of international trade theories. We will learn how the Eaton-Kortum (EK) framework of the Ricardian trade model is extended to explain recent trade issues, applications of trade models with heterogeneous firms, and many other topics.</p> <p>Students should have good understanding of the fundamental models of international trade: Heckscher-Ohlin model; Armington model; basic Ricardian model and Eaton-Kortum model; Krugman and Meltz models. Some of the basic models will be covered in the lectures if needed.</p>

Course Code	5123038	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Data Science for Practical Economic Research				
Faculties	KUCHERYAVYY Konstantin				
Course Objectives/Overview	<p>This course is designed to help students use their time efficiently when performing economic data analysis.</p> <p>Topics include: Data manipulation: dataset transformation, visualization, data cleaning, web data scraping, conversion of data for the purposes of econometric estimation. Supervised machine learning: under-fitting and over-fitting, regularization, cross-validation, data augmentation. Unsupervised machine learning: clustering, factor analysis, principal component analysis, independent component analysis. Semi-supervised learning. Distributed data representation: entity embedding. Nonlinear dimensionality reduction. Computational graphs and functional programming. Practical aspects of high-performance computing: GPU computing, cloud computing.</p> <p>The course will include a first introduction to Python, R, and Mathematica, as well as PyTorch and TensorFlow. For specialized tasks other software will be introduced. Students are encouraged to bring to the class their own datasets, which could then be used for the purposes of instruction and practical demonstration.</p>				

Course Code	5123042	Term	S 2	Credits	2
Course Title	International Trade				
Faculties	FURUSAWA Taiji				
Course Objectives/Overview	<p>We will learn the core theories of international trade at an advanced level. We will cover the theories that have been used extensively in the research frontier of international trade. The aim for this course is to give enough knowledge and understanding to read papers in this field and to construct one's own model for analyzing various issues in international trade.</p>				



Course Code	5123062	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際開発政策・評価論				
Faculties	青柳 恵太郎				
Course Objectives/Overview	<p>エビデンスに基づく国際開発援助実践 (Evidence-Informed Practice) のために必要となる基礎知識の習得を目指す。具体的には、①エビデンス (介入効果の検証結果) を用いた開発援助プロジェクトの立案ができるようになること、②有効性が実証されていない介入については、その検証方法 (評価デザイン) を描けるようになることの2点を目標とする。後者については、特にランダム化比較試験 (Randomized Controlled Trial : RCT) による効果検証を中心に据え、開発援助実務者の視点から実践方法について学ぶ。</p> <p>RCTは確証度のもっとも高いエビデンスを作り出せる分析手法である。その基本的な考え方は、対象者を処置群 (介入を受けるグループ) と対照群 (受けないグループ) にランダムに割り当て、処置群への介入実施後に両群の状態を比較するという非常に単純なものである。しかし、現実社会のなかでRCTによってエビデンスをつくり出す際には、開発課題を明確化させることに始まり、政策担当者や現場担当者との合意形成、検証方法のデザイン策定、実施プロセス管理、データ収集、分析、そして結果のまとめといった非常に泥臭いプロセスの中で様々な課題やつまづきに頻繁に直面することになる。本講義では現実味のある環境を想定した演習の中で準備からデータ分析までの一連のプロセスを体感することで、実践力を養成することを重視する。</p>				

Course Code	5123081	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Political Economics				
Faculties	WEESE Eric				
Course Objectives/Overview	This course covers standard models used in political economy. It is intended for students with an academic interest in political decision-making. It is aimed at those considering a career in research in political science or economics, but other students (such as those interested in public policy research) are welcome to attend.				

Course Code	5123179	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	上級マクロ金融				
Faculties	福田 慎一				
Course Objectives/Overview	<p>本講義は、標準的な経済理論 (マクロ経済学、ミクロ経済学) を応用することによって、市場経済における金融の役割をより専門的な観点から明らかにすることを目的としている。具体的には、学部生向けの「金融Ⅰ」や「金融Ⅱ」で取り扱うことができなかった (1) 金融機関の存在理由とその機能、(2) 日本の金融制度の変遷、(3)</p>				

	マクロ経済変動や経済成長と金融システムとの関連、(4) 金融政策の機能と限界、(5) 金融市場における価格メカニズムの役割、(6) 資産価格の決定メカニズム、などを主要なテーマとして講義を行う。
--	---

Course Code	5123211	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Development Economics II (Methods in Advanced Development Economics)				
Faculties	NOSE Manabu				
Course Objectives/Overview	This graduate-level development economics course builds on theories of economic development and presents recent works on development, focusing on empirical approaches. The first part of the course provides brief overviews of recent debates on development and introduces empirical literature on growth, poverty, and inequality at macro and micro levels. Then, the course will present the selected individual factors which promote development, focusing on human capital, production and technology, productivity, and vulnerability to shocks including natural disasters. The last part considers the role of government. It will focus on recent papers on political economy and development public finance, particularly the evaluation of foreign aid and social assistance programs, infrastructure investments, redistributive policies, and regulations. The course introduces modern empirical methods of policy evaluations and helps students writing own research paper in development economics. This course is offered in English.				

Course Code	5123211-2	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Development Economics I (Foundations of Advanced Development Economics)				
Faculties	SAWADA Yasuyuki				
Course Objectives/Overview	This course will be composed of English lectures on advanced graduate-level development economics.				

Course Code	5123231	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	マクロ時系列の実証分析				
Faculties	宮尾 龍蔵				
Course Objectives/Overview	<p>マクロ経済変数は、その多くが互いに影響を及ぼし合う相互依存の関係にあり、また過去の変化の影響が持続するという傾向を持つ。本講義では、こうしたマクロ時系列変数の実証分析に必要な計量理論と手法を習得する。本講義の特徴は、具体的な応用例を通じて、初歩的な回帰分析からより上級の計量手法へと段階的に学んでいくことである (Stock-Watson テキストのアプローチ)。テーマごとに実証練習問題を設定し、実際にデータ分析を行うことで、概念や手法の理解を深める。</p> <p>Macroeconomic variables are likely to interact with each other and the effects of changes in these variables may last for some period of time. This course introduces</p>				

	basic econometric theories and methods necessary to analyse these macroeconomic time series. Using concrete applications, students can learn from introductory regression models to more advanced methods, which follows the approach by Stock and Watson's textbook. Ideas and methods are developed by setting up empirical exercises in each topic and implementing actual data analyses.
--	--

Course Code	5123241	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	不動産証券化と社会資本マネジメント				
Faculties	田中 健一／中川 雅之				
Course Objectives/Overview	<p>「不動産証券化」は、金融資産と不動産とを結び付けることによって国民経済の自律循環的な発展を促す役割を担うとともに、不動産投資にかかる情報の非対称性を縮減し、個人や海外からの投資を容易にする。さらに市場機能と市場規律を導入することで資金と不動産の効果的かつ効率的利用を図るものである。</p> <p>また、「社会資本マネジメント」は、老朽化の進んでいく社会資本を少子高齢化の環境下で計画性・効率性といった観点から総合的にマネージしようとするものである。人口動態を考慮した施設配置計画や公民連携スキームによるファイナンス/施設運営などが具体的な論点となる。</p> <p>本科目はこれら日本の都市、地域を形成する先端技術とも言うべき「不動産証券化」と「社会資本マネジメント」の実務・実例に触れながら、基本的知識を習得し、今後の経済政策・都市地域政策の形成・実施に資することを目的とする。</p>				

Course Code	5123245	Term	S 1	Credits	2
Course Title	保健医療経済学				
Faculties	康永 秀生				
Course Objectives/Overview	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療経済学の基礎知識を身に着ける。</li> <li>2. 医療経済学の考え方に沿って、現実の医療経済政策における個別の課題について考察する力をつける。</li> </ol>				

Course Code	5123250	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	エネルギー政策				
Faculties	小山 堅／有馬 純				
Course Objectives/Overview	<p>わが国を取り巻くエネルギー情勢には様々な課題が山積している。原油価格は2014年後半から急落し、低価格状況が続いたが、2017年から始まったOPEC/非OPEC協調減産を受け、徐々に回復、2018年1月には3年1ヶ月ぶりの70ドル台に復帰した。2018年10月には90ドルを伺うところまで上昇したが、その後急落するなど、極めて不安定な動きが続いている。原油価格の変動は、わが国等の消費国</p>				

	<p>にも、産油国にも多大な影響を与える。世界の主要供給地である中東では、サウジアラビア等とカタールの断交、サウジアラビアとイランの緊張関係、サウジアラビアの体制の安定、イラン経済制裁の復活など、地域全体の不安定化・流動化が顕在化している。原油価格低下をもたらした主要因の一つ、米国シェール革命の今後の展開にも注目する必要がある。また、発足後2年経過したトランプ政権のエネルギー政策が世界のエネルギー情勢にどのような影響を及ぼすのか、世界の関心が高まっている。需要面では、これまで世界経済の牽引役となってきた中国でのエネルギー需要の伸び、エネルギー選択が世界を左右する重要課題となっている。東日本大震災後、わが国では、エネルギー政策包括的見直しが進められてきた。2030年のエネルギーミックスがようやく定まり、原子力発電所の再稼働も始まったが、今後のエネルギー政策課題は山積している。電力とガスの小売り自由化が行われ、本格的なエネルギー大競争が始まる可能性もある。内外の最新エネルギー情勢を踏まえつつ、エネルギーセキュリティ問題と地球温暖化問題の一体的・統合的な解決を目指すエネルギー政策の現状と課題について、理解を深めるべく、講義を進めていく。</p>
--	---

Course Code	5123256	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Central Banking				
Faculties	SHIRATSUKA Shigenori				
Course Objectives/Overview	This course gives an overview for a basic framework of central banking with particular emphasis on its practical aspects. How monetary policy is formulated and implemented under a normal situation? How monetary policy is operated under the effective lower bound of nominal interest rates? What role does a central bank play in achieving financial system stability?				

Course Code	5123262	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Asian Economic Development and Integration				
Faculties	KAWAI Masahiro				
Course Objectives/Overview	The syllabus for acadmic year 2019 is available at the following site: <a href="http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/Kawai-ADBI-AEDI2019-Syllabus-GraSPP-Fall-Winter-20190307.pdf">http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/Kawai-ADBI-AEDI2019-Syllabus-GraSPP-Fall-Winter-20190307.pdf</a>				

Course Code	5123272	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	医療イノベーション政策				
Faculties	大西 昭郎／鈴木 寛／岸本 充生／林 良造				
Course Objectives/Overview	一国の医療の水準、そしてその結果としての健康の水準は、医療に対する支出の全体の水準と個別の価格設定、提供される医療の安				

	<p>全・安心や一定の質を確保するための国家の関与、医療事故に対する責任の構造、効率的で公平な国民のアクセスを提供するための人的・物的インフラの整備のルールなどに対して、医師、患者、病院、保険者、薬局、製薬企業、医療機器メーカーなど様々な主体が反応していく行動の総体として決定される。そして、これらの主体の行動や制度の有効性は、少子高齢化の進展、グローバル化の展開、経済成長の動向、医療技術の進歩などにより変化している。</p> <p>本講義は、医療水準やその結果としての国民の健康の水準を決定する様々な制度について、当事者間の合意と市場の働きに委ねるのではなく国家の関与が必要とされる理由にさかのぼって考え理解するとともに、特に近年、医療・健康政策と経済成長のための政策の両面から注目されている「医療イノベーション」に視点を当ててこれらの諸制度の評価を行う。</p> <p>医療をめぐる近年の急速な技術進歩やグローバル化の進展を理解するとともに、基礎的科学から患者への提供にいたるヘルスケア産業のイノベーションの過程を取り上げ、国際的な比較を交えて、日本のイノベーション環境の評価を行う。また、「医療イノベーション」を経済成長のための政策としてみる場合の留意点について理解する。それらに合わせて、先端医療技術の活用におけるリスクや不確実性、個人情報保護、倫理上の課題も取り扱う。具体的な事例としては、医薬品・再生医療・医療機器に関する研究開発や承認プロセス等を扱う予定である。</p>
--	---

Course Code	5123275	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	イノベーションの経済学				
Faculties	五十川 大也				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、経済学の観点からイノベーションに係わる諸トピックにアプローチする。第一に、イノベーションの測定にあたっての視点として、俯瞰的アプローチと微視的アプローチを紹介する。その中で、俯瞰的アプローチにおける国際的な取り組みを歴史的に俯瞰しながら、わが国で行われた調査の主要結果を概観する。第二に、微視的アプローチの意義とその内容を理論的な観点も加味しつつ説明する。その上で、社会的・経済的にインパクトを与えたイノベーション事例をいくつか選定し、微視的アプローチを具体的に応用する。第三に、イノベーションの測定に関する論点を踏まえて、イノベーション創出についての市場の役割と政策への含意について考察を加える。</p> <p>なお、経済学のバックグラウンドのない受講者も歓迎し、分析に用いる基礎的なミクロ経済学の知識から最近の実証手法（構造推定手法）については講義の中で解説する。</p>				

Course Code	5123300	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Asian Financial Markets				
Faculties	KAWAI Masahiro				
Course Objectives/Overview	Please see the syllabus at the following site: <a href="http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/Kawai-AFM2019-Syllabus-GraSPP-Spring-Summer-20190307.pdf">http://www.pp.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2019/03/Kawai-AFM2019-Syllabus-GraSPP-Spring-Summer-20190307.pdf</a>				

Course Code	5123310	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Population Aging and the Generational Economy				
Faculties	OGAWA Naohiro				
Course Objectives/Overview	<p>20 世紀の人口問題は人口爆発が中心であったが、21 世紀では人口高齢化がその位置を占めることになりそうである。本講義の前半では、人口高齢化の人口学的なメカニズムの基軸である出生率の低下と死亡率の改善がもたらされる要因及びその結果を、経済社会的な変動の視点から最近における 20～30 年間を対象に考察・検討していく。その分析対象地域は日本だけでなく、他の先進国や開発途上国にも目を向けることにする。それに続き、本講義の後半では、人口の少子化・高齢化による年齢構造転換が、マクロ経済に与える影響に加え、ミクロレベルで見た家計への影響を数量的に考察する。分析に用いる手法は、近年世界の 46 ヶ国で使われ始めている National Transfer Accounts (NTA) である。日本の分析のみならず、他の NTA 参加国の研究成果にも着目し、政策の視点から比較分析を行う。</p> <p>Population explosion was the central demographic problem of the 20th century, but population aging is likely to take that spot in the 21st century. In the first half of this course, we shall examine causes and consequences of fertility declines and mortality improvements that have occurred in the past 20 to 30 years by focusing primarily on socio-economic changes. We shall cover not only Japan, but also other various countries, both developed and developing. In the second half of the course we shall quantitatively assess the macroeconomic impact of age structural changes induced by fertility and mortality transformations, and also examine their micro-level influence on family finances. The method employed will be the National Transfer Accounts (NTA), which have recently been introduced in 50 countries of the world. These analyses will be conducted from the standpoint of formulating and implementing policies and will not rely solely on the results for Japan, but for other countries participating in the global NTA project as well.</p>				

Course Code	5123311	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Introduction to Auctions and Mechanism Design				
Faculties	MARSZALEC Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	This course explores various aspects of auction theory and mechanism design. The aim is to give the participants a broad overview of the applicability of auction-based methods both in the context of academic research as well as practical				

	implementation.
--	-----------------

Course Code	5123312-1	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Essential Academic Skills: Writing and Research Planning				
Faculties	Marszalec Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to teach some skills that will help you along your career path to being a successful economist; it is a part of two-course series that I teach. I recommend that you take both courses - both of them focus on communication, and effective delivery of your work.</p> <p>In this part of the course we will focus on writing, and structuring your research.</p>				

Course Code	5123312-2	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Essential Academic Skills: Speaking and Presentation				
Faculties	Marszalec Daniel Janusz				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to teach some skills that will help you along your career path to being a successful economist; it is a part of two-course series that I teach. I recommend that you take both courses - both of them focus on communication, and effective delivery of your work.</p> <p>In this part of the course, we will focus on effective verbal communication, designing presentations, and learning and practicing voice use.</p>				

Course Code	5123350	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Public Policy and Energy				
Faculties	YOSHIKAWA Hisashi / BIROL Fatih / KUSAKA Kazumasa				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with a structured understanding of public policy by introducing students to the design, making, implementation and evaluation of energy and climate change policy where policy makers with insufficient information have to make decisions taking multi-faceted factors such as economy, security, technology and innovation, foreign policy and international institutions into consideration. It also aims to define the fundamentals of energy markets and systems. Students are encouraged to actively participate in the class discussion. The course also tries to develop the students' skill of communications and document preparation.</p>				

Course Code	5123390	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	日本のマクロ経済分析と政策形成				
Faculties	齋藤 潤				

Course Objectives/Overview	<p>適切な経済政策の形成にとって、経済の現状に関する十分な認識が不可欠なことは言うまでもない。本講義では、そうした現状認識のために必要な基礎データの見方も紹介しながら、日本におけるマクロ経済の現状について多面的な分析を行った上で、それが直面する課題を克服するために必要な経済政策のあり方について考える。</p> <p>また、マクロ経済の現状を分析するにあたっての前提として、バブル崩壊後の経済成長の低迷や景気の自律回復力の弱体化がもたらされた要因を理解しておく必要がある。そのために、経済システムの変容や高齢化・人口減少の影響など、構造的な側面についても分析を行う。</p>
----------------------------	--

Course Code	5123400	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Analysis of Innovation				
Faculties	YARIME Masaru				
Course Objectives/Overview	<p>This course discusses the functions and mechanisms of innovation systems and the economic assessment of their impacts, with implications for industrial structure and dynamics and societal challenges. A particular attention is paid to corporate strategy, public policy, and institutional design. Among the issues to be discussed in this course include models of technological change, systems approaches to innovation, research and development, intellectual property rights, university-industry collaboration, public policy for innovation, and case studies in various sectors. The processes of producing, adopting, and utilizing innovations are elaborated from a perspective of co-evolution of technology and institutions. Analysis of economic evolution is introduced, and its concepts and methodologies are elaborated to represent and model the dynamics of innovations. Systemic approaches are taken to discuss the functions and structure of innovations at the national as well as industrial levels. These theoretical frameworks introduced in the first half of the course are utilized to understand the mechanisms of creating innovations on various types of societal issues, including food, energy, chemicals, information and communication, and health. Implications for public policy and institutional design are explored for a transition towards global sustainability.</p>				

Course Code	5123402	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Advanced Time Series Analysis				
Faculties	SHINTANI Mototsugu				
Course Objectives/Overview	<p>Most macroeconomic data show dynamic properties in the sense that the current value is connected to events in the past in some forms. A formal statistical analysis of this dynamic feature helps us understand the structure of the macroeconomy. In the course, we learn the vector autoregressive (VAR) model, the most frequently used time series model in macroeconomic analysis, and its variations. Motivated undergraduate students are also welcome.</p>				



Course Code	5123405	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Global Financial Regulation				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to provide students with first-hand information and knowledge on global financial regulation and help them develop a broad understanding of financial regulation, paying particular attention to the global nature of financial regulation. The course covers key topics of global coordination of financial regulation. Issues covered are: history of global financial coordination, the 2008/2009 financial crisis, and the financial regulatory reform after the 2008/2009 crisis. The course in particular discusses key financial regulatory standards in the areas of global systemically important financial institutions (G-SIFIs), recovery and resolution, capital requirements, liquidity requirements, corporate governance, market based finance, over-the-counter derivatives, financial technology, and cyber risk. Students taking this course for credits must take part in all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>				

Course Code	5123433	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Sovereign Debt				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course has three objectives. First, it aims to deepen student understanding about the nature of sovereign debt—in other words, government liabilities—(conceptual framework). Second, it tries to familiarize students with sovereign debt risks based on selected cases (lessons from history). Third, it provides students with an opportunity to discuss how we should manage sovereign debt to achieve policy goals (policy implications). More broadly, we will keep in mind how we could pull a particular country or the global economy out of a vicious circle of debt trap while securing gains from debt. The rationale for this endeavor is the perception that the credit-addicted growth model consequently with a growing public and private debt appears to be one of the challenges we face in today's world. Additionally, a new angle to analyze both government liabilities and assets with a focus on their asymmetric feature will be discussed. As a practical training course, students will have the opportunity to debate, work in a team, make oral presentation and produce memos and reports.</p> <p>Specific reasons for offering this course are as follows.</p> <p>Since the global financial crisis of 2008-2009 and following the Eurozone crisis, high levels of government debt in advanced economies have raised renewed market concerns over possible sovereign debt crises. In addition, there has been an ongoing debate about how to get under control Japan's sovereign debt, which represents more than twice the OECD members' average debt-to-GDP ratio. Furthermore, in some of the emerging and developing countries, governments are struggling with debt management while pursuing economic development by accumulating public and private sector liabilities to various creditors.</p> <p>A sovereign default is the failure or refusal of a government to make payments on its debt obligations to either domestic or external creditors, or to both. In fact, history gives us many precedents of sovereign default by both developed and developing countries as well as of many crisis cases that brought a government to the verge of</p>				

	<p>default.</p> <p>As financial journalist Philip Coggan described in his book titled Paper Promises: Money, Debt and the New World Order that we could view the economic history as “a war between creditors and debtors” while borrowing and lending are essential for the economy to function and for the government to achieve policy goals.</p> <p>As any other players in an economy, a government needs to borrow or assume some form of liabilities, both direct and indirect (contingent), when it runs deficits, rescues the financial system, guarantees projects, tries to maintain exchange rates, and so on. As such, the government is not necessarily immune from a struggle with its creditors although the nature of government indebtedness is different from borrowing by private entities.</p> <p>Furthermore, we should look at the interaction not only between creditors and debtors, but also between creditors as reminded by inter-creditor equity issues in debt restructuring as observed in the recent Greek and Argentine cases. We should also look at equity issues from intergenerational perspectives. Additionally, a new angle to analyze both government liabilities and assets with a focus on their asymmetric feature will be discussed.</p> <p>Public policy professionals should be aware that sovereign debt could have important political and social, as well as economic, consequences, which require public policy and legitimacy considerations.</p>
--	---

Course Code	5123440	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	経済物理学				
Faculties	島田 尚／高安 秀樹／高安 美佐子／伊藤 隆敏／水田 孝信／金澤 輝代士				
Course Objectives/Overview	<p>「経済物理学」の分野の概要を紹介するとともに、その応用例として、株式市場のデータ、外国為替市場のデータの利用した研究を紹介する。経済物理の特徴は、高頻度で観察されるデータの規則性、特徴を取り出すことにより、その市場の特性を物理学的アプローチ、経済学的アプローチにより分析することである。</p>				

Course Code	5123450	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	国際交通政策				
Faculties	宿利 正史／長谷 知治／大橋 弘				
Course Objectives/Overview	<p>経済のグローバル化や新興国の経済発展が進む一方、我が国は急速な人口減少・高齢化時代を迎える中、我が国が持続的な成長と豊かな国民生活を確保する上で、国際交通をはじめとする交通・運輸分野が、極めて重要な役割を果たすことが期待される。</p> <p>こうした状況の下、国際交通をはじめとする交通・運輸分野が、国際交流、地域間交流、地域内交流を支え、又は活性化するために、また、我が国の国際競争力の強化や地方の維持・創生を図るために、我が国の将来を見据えた望ましい政策の在り方について、政策の現状や実態を踏まえつつ、講義及びディスカッション並びに現地視察講義及びディスカッション並びに現地視察（2回）を通じて考察を</p>				

	深める。
--	------

Course Code	5123471	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Labor Economics				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This course introduces various topics in labor economics.				

Course Code	5123475	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	機械学習の実証経済学への応用				
Faculties	川田 恵介				
Course Objectives/Overview	<p>現在急速に理論研究が進展している「機械学習の因果推論への応用」について紹介する。とくにコントロール変数の選択や効果の異質性分析について、機械学習を補助的に用いる手法が多く提案されている。これらの手法は分析の精度を向上させるだけでなく、現在実証研究において大きな問題となっている"Cherry picking"問題を緩和することも期待されている。</p> <p>本講義では、基礎的な因果推論と機械学習を学んだあとに、それらを融合させた手法群について学ぶ。また無料の統計ソフトである R を用いた実習も行う。</p>				

Course Code	5123480	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	コーポレートファイナンスと公共政策				
Faculties	新井 富雄				
Course Objectives/Overview	<p>企業活動と資本市場の接点にある Corporate Finance についてその基本原理と関連事項について理解すること。そして、将来、投資銀行、商業銀行、財務コンサルティングや事業会社の財務部門などで Corporate Finance の仕事に従事することを希望する人、また、官庁や中央銀行などで民間企業の金融活動の規制監督業務に従事することを希望する人のために基本的知識を身につけるとともにケース討論等を通じて学習した知識を応用する能力を付けること。</p>				

Course Code	5123485	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Environmental Economics				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	The objective of this course is to understand the essential concepts and methods of environmental and natural resource economics. It is designed for a wide range of				

	students who are interested in the environment and natural resources. It covers cost-benefit analysis; market and market failure; non-renewable resources; renewable resources; pollution; environmental policies; climate change; and environment and development. This lecture course is offered in English.
--	--

Course Code	5123487	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Economic Crisis				
Faculties	UEDA Kenich / KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	Understand objectives and effects of key policies related to economic crises from both theoretical and empirical perspectives. Economic crises can be classified to (1) currency crisis or BOP crisis, (2) sovereign debt crisis, and (3) financial crisis. Students are expected to become familiar with issues that are common, as well as specific to, each type of economic crises. The first two types can be called as macroeconomic crisis, but recently many countries have experienced financial and macroeconomic crises at the same time. Therefore, students are also expected to recognize structural issues on (4) finance-macro linkages in crises. Lastly, this course will cover recent policy discussions developed since the global financial crisis of 2008.				

Course Code	5123488-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	金融市場と公共政策				
Faculties	湯山 智教				
Course Objectives/Overview	<p>本講義では、金融市場や金融システムを巡り、これまでの現実的課題に対して、どのような政策対応がとられ、その効果はどう評価されているのか、という観点から、政策対応の背景や考え方、関連する理論、実証分析等について概観していく。将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング・ファーム、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、具体的には、非伝統的金融政策、マクロプルーデンス政策、金融システム対応、地域金融、政策金融、不公正事案に対する市場監視、コーポレート・ガバナンス、FinTech等のテーマを扱う。</p> <p>また、毎回、10分程度を使って、直近のアナリストレポート等を用いて、現実の金融市場における最近のトピックについて解説することを予定している。</p> <p>担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）、日本銀行、民間シンクタンク等における勤務経験を有する行政官・実務経験者であり、講義に際しても、理論のみならず、現実の動きや政策対応・実証分析等をバランスよく取り扱っていきたいと考えている。</p>				

Course Code	5123491	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	規制政策				

Faculties	松村 敏弘
Course Objectives/Overview	<p>政府による民間活動の規制に関して、規制の意義、規制手法、政策形成における政治的プロセス、規制政策の効果に関する経済学的分析等を学び、規制分野の政策分析を行う能力を養う。経済的規制と社会的規制の双方を取り扱う。講義は2つの部分からなる。第1部では、基礎となる経済理論を概観し、この分析道具を駆使して、規制政策の背後にある基本的な原理を経済学的に明らかにする。ここで扱うトピックは、混雑料金、ピークロード料金、ラムゼイ料金、規制の政治経済学、公正報酬率規制、プライス・キャップ規制とインセンティブ規制、情報の非対称性のもとにおける規制政策である。第2部では、エネルギー、通信、運輸産業などの具体的な規制産業を取り挙げて、なぜそもそも規制が必要か、規制がどのような経済効果を持つか、現行の規制の問題点は何か、望ましい規制の体系はどのようなものであるか等を解説する。また部門横断的な環境政策についても取りあげる。</p> <p>This course introduces students to economic analysis of regulation. The main goal is to familiarize students with the important topics in regulation policies today, and put students in a position to do their own policy analysis in this area. The course begins with an extensive discussion of economic theories necessary to understand regulatory policies.</p>

Course Code	5123495	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Monetary Policy				
Faculties	NAKASO Hiroshi				
Course Objectives/Overview	<p>This series of lectures is given by a former deputy governor of the Bank of Japan, who spent almost forty years with the central bank and was involved in actual policy planning and implementation at some of the most critical moments for Japan's economy. The lecture first revisits the challenges that Japan's economy was faced with in the past three decades starting with the financial crises and compounded by deflation and demography. The lecture will elaborate on the roles of the Bank of Japan to maintain the financial stability and price stability. Students will share the experiences of those central bankers who were at the frontline managing the financial crisis. A special focus will be on the role of the so-called Lender of Last Resort function of the central banks. The lecture will also cover the invention of unconventional monetary policy tools and the way the policies evolved over time. Thus students are expected to have a clearer view on how macroeconomic and financial theories are translated into actual policies in a real world where the central bank is constrained by uncertainties, politics and social pressure. The lecture will conclude by identifying the measures needed besides the monetary policy to bring Japan's economy back on track to sustained growth.</p>				

Course Code	5123497	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Empirical Industrial Organization				

Faculties	WAKAMORI Naoki				
Course Objectives/Overview	Industrial organization is a field of economics dealing with the strategic behaviors of firms, their implications on firms' profits and consumer welfare. The main goal of this course is to familiarize students with the important methodologies and topics in the literature and put them in a position to do their own research in this area. In particular, Industrial Organization II will cover the basic methodology of structural estimation – estimation of static games and dynamic games, which are frequently used in many I.O. applications and antitrust analyses. We also help students do hands-on programming exercises at computer lab.				

Course Code	5123498	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Advanced Industrial Organization				
Faculties	WAKAMORI Naoki				
Course Objectives/Overview	Industrial organization is a field of economics dealing with the strategic behaviors of firms, their implications on firms' profits and consumer welfare. The main goal of this course is to familiarize students with the important methodologies and topics in the literature and put them in a position to do their own research in this area. In particular, Industrial Organization I will cover the basic methodology of structural estimation – demand estimation for differentiated products and production function estimation, which are frequently used in many I.O. applications and antitrust analyses. We also help students do hands-on programming exercises at computer lab.				

Course Code	5123499	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Financial Markets and Institutions				
Faculties	KATO Ryo				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to help students develop a solid understanding of the basics of financial markets and institutions and provide useful economics background in formulating financial sector regulations.</p> <p>To this end, the course will cover key theoretical concepts (e.g. inter-temporal substitutions, financial intermediation, direct vs indirect finance, asymmetric information, moral hazard and principal-agent problem) and discuss several applications and practical issues. Further, the course will shed light on international aspects of financial businesses and regulations with special emphasis on the issues regarding emerging market economies and their financial systems. [Please note that this course will NOT focus on central banking and monetary policy.]</p>				

Course Code	5123500	Term	S 1	Credits	2
Course Title	Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions I				
Faculties	UCHIDA Yoshihiko				
Course Objectives/Overview	This course aims to help students develop a solid understanding of asset valuation and risk management in financial institutions and the analytical skills required in				

	<p>formulating and implementing prudential policies and related regulations.  The course will cover key theoretical concepts (e.g. option pricing, modern portfolio theory, risk measure, scenario analysis) with emphasis on their applications in the real-world situations.  The course will consider global/international aspects of financial businesses/regulations and the context of developing/emerging economies with relatively underdeveloped financial systems as well.  This course is designed on the premise that all students will take the following course, "Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions II".  Please note that this course will not focus on central banking and monetary policy.</p>
--	---

Course Code	5123501	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions II				
Faculties	UCHIDA Yoshihiko				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to help students develop a solid understanding of asset valuation and risk management in financial institutions and the analytical skills required in formulating and implementing prudential policies and related regulations.  The course will cover key theoretical concepts (e.g. option pricing, modern portfolio theory, risk measure, scenario analysis) with emphasis on their applications in the real-world situations.  The course will consider global/international aspects of financial businesses/regulations and the context of developing/emerging economies with relatively underdeveloped financial systems as well.  This course is designed on the premise that all students have finished the preceding course, "Asset Valuation and Risk Management in Financial Institutions I".  Please note that this course will not focus on central banking and monetary policy.</p>				





実践科目

Practical Training



Course Code	5130010	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	政策分析・立案の基礎				
Faculties	柳生 正毅				
Course Objectives/Overview	<p>政策は日々決定され、実行に移されている。          政策が実際にどのように立案されていくのか、政策立案に際しどのような手続が必要なのか等を個別の事例や政策立案に係る制度等について、実務的観点を含めて、考察を行い、今後の政策の分析・立案に資する視点を提供することを目標とする。</p>				

Course Code	5130020-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	交渉と合意				
Faculties	松浦 正浩				
Course Objectives/Overview	<p>【受講者数制限あり。定員を超える場合初回講義後に抽選予定。】          【受講登録希望は <a href="https://goo.gl/forms/gPsbU06KFpdSxoyB2">https://goo.gl/forms/gPsbU06KFpdSxoyB2</a> にて受付(4/11 午前9時迄)】</p> <p>「交渉」というと何か身構えてしまう人も多いでしょうが、実際のところ誰もが毎日交渉を行っています。たとえば家庭内での会話（例えば「今夜のご飯は何にしようか?」）なども一種の交渉です。また同時に、国家間で条約を締結する際にも交渉は行われています。これら多様な「交渉」を幅広くとらえ、それらの共通点から見出された基本的な枠組みが「交渉学」です。幅広い分野の現場で適用可能であるため、現在では全米各地の専門職大学院（公共政策大学院、法科大学院、ビジネススクール、都市計画大学院など）で教えられています。</p> <p>「交渉」のスキルは生まれもったのものであって、勉強や練習をしても改善は難しいと思込んでいる人が多いと思われませんが、実際はそうではありません。「交渉学」の枠組みを用いて反省することで、交渉に係る問題の正しい理解が可能となり、「交渉学」を念頭に実際の交渉を進めれば、適切な問題改善へとつなげることができます。また、「交渉」の最終目標は相手を打ち負かすことではありません。むしろ、自分と交渉相手が今後共存できる方法をお互い納得できる形で見つけることが交渉の目標です。ですから、今回の講義で扱う「交渉学」のことを「Win-Win 交渉」などと呼ぶ人もいます。また、今回の講義は公共政策における交渉と合意に焦点を当てます。個人間、企業間で行われる交渉と比べ、公共政策に関する交渉と合意形成は、その特性が大きく異なります。特に、ステークホルダーの特定、配分の公正性に対する要請、価値観に根ざした論争と熟議による対応、科学的不確実性への対応などについてこの講義を通じて十分理解を深めていただきたいと思います。なお、講義では環境政策や都市計画を中心とした事例を用いて議論を進めます。</p>				

Course Code	5130030	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会調査法				
Faculties	石田 浩				
Course Objectives/Overview	<p>近年、社会科学の研究方法のひとつとして社会調査の方法が盛んに用いられるようになってきた。社会調査とは社会事象について、直接現地におもむきナマのデータを収集し、分析することである。社会調査の様々な技法を学ぶと同時に、実際に仮説を立て、小規模な調査を設計・実施し、調査データのコーディング・クリーニングを経て、データの計量分析を行う。さらに、すでに行われた大規模な全国調査をデータアーカイブから入手し、調査データの2次分析を通して、社会調査データの分析手法を実際のデータに応用することを目指す。</p>				

Course Code	5130072	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Economic Structural Policy and Abenomics				
Faculties	HAYASHI Ryozo				
Course Objectives/Overview	<p>This course will examine the essential elements of "Structural Policy" and Japan's experience through 1945 to today. The class will examine and evaluate Abenomics (economic policy of Abe administration) ..</p> <p>Every state tries various policies to achieve higher economic of growth. However, the concrete measures are different reflecting the environment or the stage of their development. Japan's experience provides rich materials. Japan achieved very rapid economic growth without any important resources other than labor force. She experienced various stage of development in short period of time. Then the globalization changed the paradigm.</p> <p>After examining conceptual framework for growth policy, we will walk through the high growth period, bubble and "lost decades". Then we will examine and evaluate Abenomics. In the process, we will look into the impact of the globalization. Then guest speakers will pick up the agenda for economic reform and other contemporary challenges.</p> <p>The class will be conducted in English. Student will be expected to make short presentation in the class, and to participate in the class discussion.</p>				

Course Code	5130092	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Development Operations of the World Bank Group				
Faculties	NAKA Hiroshi				
Course Objectives/Overview	<p>The World Bank Group (WBG) institutions (World Bank (IBRD and IDA), IFC and MIGA) operate in developing countries to end extreme poverty and to boost shared prosperity. The operations of the Group also contribute to achieve the Sustainable Development Goals (SDGs) agreed by the member countries of the United Nations. This course covers the key operations of the WBG and the principles which regulate the operations to manage risks deriving from external and internal factors.</p> <p>The objective of this course is to better understand how the WBG operate for</p>				

	developing countries. It will help students develop policies, programs and projects to accelerate the growth of a country addressing environmental and social challenges. Students who finish this course and fully understand the operations of the WBG can start working for the WBG from day-one when they get a job in the WBG.
--	---

Course Code	5130095	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	消費者政策の現代的展開				
Faculties	山田 正人／加納 克利／佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>21世紀が消費者の時代と言われて久しい。消費者の権利を擁護する仕組は年々充実する一方、消費者を巡るトラブルは依然として高止まりの状態が続いている。</p> <p>本講座では、政府の最前線で消費者政策を担当する実務家と研究者が協同して、我が国の消費者政策の課題と仕組を明らかにするとともに、社会の高齢化、情報化、国際化、ビジネスの多様化を踏まえ、今後求められる消費者政策の展開について、事例研究を交えつつ、講義を行う。</p>				

Course Code	5130120	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	精神保健学Ⅰ				
Faculties	川上 憲人				
Course Objectives/Overview	<p>精神保健の疫学や方法論を踏まえた上で、精神保健に関する課題の対策を科学的根拠に基づいて立案するための知識・技術を習得することを目的とする。具体的には、精神保健の疫学や方法論を体系的に理解し説明できること、精神保健の第一次・第二次・第三次予防の科学的根拠の現状について説明できること、グループのメンバーとの協働およびリーダーシップのあり方を学びつつ課題に即した精神保健対策を立案できることを到達目標とする。</p>				

Course Code	5130210-1	Term	S 1	Credits	1
Course Title	Presentations and Discussion I				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	<p>Course Abstract</p> <p>The objective of this course is to assist in developing skills in public speaking and discussions. Students will learn to write, analyze, and deliver speeches of a persuasive, expository and impromptu nature. Students will also develop skills in argumentation and critical questioning. Beyond providing students the opportunity to improve presentations skills, this course will also encourage students to develop interpersonal communication skills as they work through problem solving, negotiation and simulation exercises. In addition to regular coursework, students will be expected to follow current events closely, and will use these events to hone</p>				

	their skills in speaking and argumentation.
--	---

Course Code	5130210-2	Term	S 2	Credits	1
Course Title	Presentations and Discussion II				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	<p>Course Abstract</p> <p>The objective of this course is to assist develop skills in public speaking and discussions. Students will learn to write, analyze, and deliver speeches of a persuasive, expository and impromptu nature. Students will also develop skills in argumentation and critical questioning. Beyond providing students the opportunity to improve presentations skills, this course will also encourage students to develop interpersonal communication skills as they work through problem solving, negotiation and simulation exercises. In addition to regular coursework, students will be expected to follow current events closely, and will use these events to hone their skills in speaking and argumentation.</p>				

Course Code	5130211	Term	S 1	Credits	1
Course Title	Academic Writing Basic Level I				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course is to review the major syntactical structures required to compose well organized paragraphs and study the vocabulary necessary for academic work in English. Students will begin to build their ability to recognize correct language structures and progressively work on producing more and more complex bodies of writing. Students taking this course should have a minimum iBT TOEFL score 65 or IELTS score 5.</p> <p>Topics in this course will include defining, comparing, punctuation rules, summarizing, commenting on data, describing causal relationships and processes, and proposing solutions. Concepts learned in this course will be applicable to longer pieces of academic writing.</p>				

Course Code	5130212	Term	S 2	Credits	1
Course Title	Academic Writing Basic Level II				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	<p>In this course, the students will learn the basic principles of academic writing. They will look at the fundamental aspects of writing and how to apply they apply to research papers. These are audience, purpose, organization, flow, style, and presentation. To reach this end, the course will place emphasis on these goals:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) To build writing competency so that the students can meet the requirements of graduate-level academic writing assignments.</li> <li>2) To become more proficient and comfortable in writing English for Academic Purposes.</li> <li>3) To understand and follow the conventions and expectations of graduate-</li> </ol>				

	<p>level academic writing in general as well as in the students' chosen field.</p> <p>4) To help the students understand that each discipline has its own genre/s and rhetorical characteristics,</p> <p>5) To develop familiarity with and practice several academic genres (e.g., summaries, different types of essays, critical reviews, research papers).</p> <p>6) To review all aspects of English syntax to produce error-free papers.</p>
--	---

Course Code	5130215	Term	A 1	Credits	1
Course Title	Academic Writing Advanced Level I				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	The objective of this course is to examine the key elements of long pieces of writing from paragraphs to essays while paying particular attention to the difference between paraphrasing and plagiarizing. In the same vein, we will study the summary and the Critical Review, two crucial components of an academic paper. Students taking this course should a minimum TOEFL score 79 or IELTS 6. It is not required to have taken the ACADEMIC WRITING BASIC LEVEL course to take this one.				

Course Code	5130216	Term	A 2	Credits	1
Course Title	Academic Writing Advanced Level II				
Faculties	FAYE Singh				
Course Objectives/Overview	The objective of this course is to examine the key elements of long pieces of writing from paragraphs to essays while paying particular attention to the difference between paraphrasing and plagiarizing. In the same vein, we will study the summary and the Critical Review, two crucial components of an academic paper. Students taking this course should a minimum TOEFL score 79 or IELTS 6. It is not required to have taken the ACADEMIC WRITING BASIC LEVEL course to take this one.				

Course Code	5130220	Term	A 1	Credits	2
Course Title	Advanced Study of Science & Technology				
Faculties	KOBAYASHI Yasuki / MITSUISHI Mamoru / NAKATOMI Hirofumi / MOTOHASHI Kazuyuki / MATSUHASHI Ryuji / FURUTA Kazuo / KANO Shingo / MARUYAMA Shigeo / LEE Jung Su				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to cultivate internationally competitive young researchers equipped with literacy and competency to become future leaders in industry and academia. The course deals with multidisciplinary application skills and the in-depth research in specialized fields so that students accomplish the ability to work in a broader spectrum and apply one's skills to a multidisciplinary setting.</p> <p>The topics of the course include medical robotics, medical high-tech industries, disease prevention, health care system, science technology and industrial policy, system safety, energy technology, and, nano-technology.</p>				

Course Code	5130230	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Social Design and Global Leadership				
Faculties	SUZUKI Hiroshi / SHIROYAMA Hideaki				
Course Objectives/Overview	This is the introductory lecture course for graduate leading program on social design and management. Basic concepts and methods for social design and management in organization settings are introduced, followed by concrete cases in various sectors and discussion on global leadership as a cross cutting issue. This course especially focuses on problem definition phase of social design and management.				

Course Code	5130240	Term	A 1	Credits	2
Course Title	社会と健康 I				
Faculties	近藤 尚己 / 橋本 英樹 / 川上 憲人				
Course Objectives/Overview	健康の社会的決定要因 (Social Determinants of Health: SDH) へアプローチする公衆衛生活動が世界的な潮流となりつつある。本コースではSDH にアプローチする公衆衛生対策・健康格差対策を実践していくための基礎となる理論とエビデンスについて学ぶ。社会疫学の基本的な考え方からスタートし、様々な分野の最前線で研究を行う講師からオムニバス形式で講義を行う。SDH に関連する実証研究を進めるために必要な因果推論技法の基礎も扱う。社会環境は多様で複雑なため、多様な学生の参加や、各々の視点を生かした議論が不可欠であるため、積極的に参加してほしい。				

Course Code	5130241	Term	A 2	Credits	2
Course Title	社会と健康 II				
Faculties	近藤 尚己				
Course Objectives/Overview	社会環境要因にアプローチするヘルスプロモーション施策、とりわけ健康格差への対策について、理論と実践の最新動向や課題点について学ぶ。講義では受講者による発表や演習を積極的に取り入れる。				

Course Code	5130245	Term	S1A1	Credits	2
Course Title	Global Health Policy				
Faculties	SHIBUYA Kenji				
Course Objectives/Overview	本特論は、グローバルヘルスにおける主な課題と論点の理解と理論的背景を概説するとともに、政策課題の分析と解釈のための実践的演習を行う。グローバルヘルスの第一線で活躍する外部講師による特別講義も適宜実施し、理論と実践の双方を習得する。扱うテーマ				



	<p>は、グローバルヘルスの政策とガバナンス、イノベーション、疾病負荷、健康格差、健康の社会的決定要因等である。</p> <p>This course introduces the principles and theories of major global health challenges and discusses current controversies in improving global population health, as well as practical applications of quantitative methods to analyze and interpret issues and challenges for policy. Topics will include: global health policy and governance, innovations in global health, disease burden, health equity, social determinants of health, etc.</p>
--	---

Course Code	5130248	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Introduction to Cybersecurity Policy				
Faculties	HAYASHI Ryoza / ONISHI Akio				
Course Objectives/Overview	<p>Overview:</p> <p>This course introduces students to the issues of security operations surrounding information system and internet communications in Japan and around the world, by focusing on security challenges arising from the globalization of internet, the sharing of networks, complex web of digital technology, and strategic communications. The course will enable students to understand how and why cybersecurity has drawn an increasing concern and driven the nation for development of strategies and policy at both national/international level. This course does not require significant skills or experience in information technology.</p> <p>Course Objectives</p> <p>The course objectives include but not limited to</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Understanding the policy issues that center on critical infrastructure protections, international relations, business continuity, and risk/crisis management to protect intellectual property, assets, reputation, and other organizational assets from any threat or attack related to cybersecurity.</li> <li>● Understanding the role of technical standards to supplement legal and regulatory requirements;</li> <li>● Analyzing critical incidents including data breaches or related events to design and implement organizational strategies to address such risks;</li> <li>● Gaining a basic understanding for future technical and other research in security (whether it is public or public sector)</li> <li>● Gaining a basic grounding for policy via the examination of current research issues and problems</li> <li>● Gaining experience handling real-world security policy challenges through analysis of public documents and artifacts using written and oral communication.</li> <li>● Developing the multidisciplinary skills needed to analyze, manage, and resolve the challenges associated with public policy, international relations, and governance.</li> <li>● Students are encouraged to take experiment provided by Interfaculty Initiative in Information Studies/Graduate School of Interdisciplinary Information Studies</li> </ul>				

Course Code	5130250	Term	A1A2	Credits	1
Course Title	Mathematics for Public Policy				

Faculties	KAKINAKA Makoto
Course Objectives/Overview	This course introduces fundamental mathematical tools that are useful in analyzing various public policies in a scientific way. By taking this course, you will be able to systematically and intuitively apply mathematical methods to economic and management issues and utilize them for your research on public policy issues. The focus of this course is on (i) fundamental elements and (ii) applications to real world issues. The fundamental elements include functions, sequence and series, differentiation, unconstrained and constrained optimization, integration, and matrix algebra. We also cover simple versions of differential and difference equations to understand the basic concept of dynamic systems. It is important for you to realize in advance that this course is a building block for any further study of public policy.

Course Code	5130260	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	社会保障・人口問題の現代的諸相				
Faculties	暮石 渉				
Course Objectives/Overview	<p>本講座では、少子高齢化・人口減少という時代の潮流を理解した上で、社会保障制度や日本社会のあるべき姿を考えるために必要な知識や視点を半年の講義で学ぶ。</p> <p>まず、日本社会が直面している課題、そして人口問題と社会保障を学ぶ意義と有効性を解説する。前半では、少子高齢化の今後の動向やそれがもたらす社会の変化について、マクロの人口現象と個人のライフコース変容の視点を織り交ぜながら、総合的に理解することを目指す。中盤では、社会保障制度の体系、家族政策、年金、高齢者ケア、介護、貧困と福祉制度といった社会保障各分野の概念や知識、現代的課題を学ぶ。終盤では、目を世界に向けて、世界の人口動向や日本の周辺諸国における社会保障の動向について紹介する。</p> <p>本講座では、厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所において社会保障や人口分野の調査研究に携わってきた専門家が、各分野について順番に講義を行う。</p>				

Course Code	5130270	Term	S 1	Credits	2
Course Title	医療コミュニケーション学				
Faculties	木内 貴弘				
Course Objectives/Overview	<p>本講義の目的は、医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）の理論と実践を体系的に学習することにある。医療コミュニケーション学（ヘルスコミュニケーション学）とは、医療・公衆衛生分野を対象としたコミュニケーション学であり、保健医療専門職間、保健医療専門職と患者・市民間、患者・市民間等における健康や医療に関連した知識や情報などのコミュニケーションを対象とする。本講義では、保健医療・公衆衛生分野における専門職として効果的なコミュニケーションを実践するために必要な、(1)コミュニケーションの基本的な理論、(2)コミュニケーションの具体的な方略</p>				

	やスキル、(3)コミュニケーションの評価・分析方法等を取り扱う。本講義の受講によって、医療コミュニケーションを実践し、改善していくために必要な基礎的な知識を得ることができる。
--	---

Course Code	5130280	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Macroeconomics in the real world: A view from the IMF				
Faculties	SCHIFF Jerald / NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	This course will provide an overview of the work undertaken at the IMF, and the framework used there to analyze macroeconomic issues and policies. Lectures will focus on designing fiscal, monetary, and exchange rate policies and avoiding or dealing with economic crises. Case studies will be used to illustrate general principles. Students will build on these lecture to undertake their own analyses of prominent issues facing the global economy. Students will make (20-30 minute) presentations and produce (3-5 page) policy memos on a macroeconomic issue of their choice, and engage in practice job interviews (20- 30 minutes) for a position at the IMF. There will be ample opportunity for one- on-one consultation before the completion of each assignment.				

Course Code	5130290	Term	S 2	Credits	2
Course Title	International Projects				
Faculties	KATO Hironorii / KOMATSUZAKI Syunsaku				
Course Objectives/Overview	We are generally facing a variety of social problems. For example, the Great East Japan Earthquake set a new task to build new embankments along the Sanriku Coast. It is not a purely technical issue but a social one as social acceptance would be necessary to build those embankments. Even experts of structural mechanics cannot avoid or ignore it. The same thing can be said to international project; for example, Kotopanjang Dam project in Indonesia caused a strong public opposition, which was actually evoked by NGO, and ended in court. Not only engineers but also economists or public policy makers must have competencies to deal with such various aspects of international project. Students are expected to learn the skills of problem solving (analysis, evaluation and forecast) and solution design and the professional knowledge of international project through case method in this course. The instructors with different professional backgrounds will give you an opportunity to learn a wide range of expertise to manage and/or initiate international project in future.				

Course Code	5135030	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	CAMPUS Asia Joint Course: International Public Policy in East Asia				
Faculties	NOSE Manabu				
Course Objectives/Overview	The purpose of this course is to deepen understanding of East Asian issues through comprehensive analysis. The course consists of lectures, student group discussions, and field trips. Faculties of SNU and PKU, our partner schools of the				

	Campus Asia Program, also provide a series of lectures in the course. This course is designed for students participating in the Campus Asia program.
--	--

Course Code	5139000	Term	通年	Credits	1
Course Title	インターンシップ				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>単位認定の対象は、公共政策に関わる政府、地方自治体、NPO、民間等の機関において1週間以上のインターンシップに参加した場合はある。</p> <p>Students who are going to participate in an internship duration of one week and above at public policy related organizations such as government agencies, municipal bodies, NPO or private institutions etc may register and apply for one credit.</p>				

事例研究  
Case Studies



Course Code	5140011	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（法政策 I-A）				
Faculties	柳生 正毅				
Course Objectives/Overview	<p>行政は、組織や規模に加え、その権限行使の手續についてまで、法律に基づく様々な制度により規律・制約されている。</p> <p>行政組織や行政の運営に係る制度は行政管理に位置付けられるものであり、古くから学術的な研究課題になってはいるものの、行政内部の制度であることもあり、実施の状況や制度の現況といったものが必ずしも広く明らかになっていないこともある。</p> <p>この授業では、国の行政組織や行政手續等の行政管理に係る分野についての制度的枠組みの他に、実際の運用面といったことも含めて研究し、公務に携わる者にとって必須の知識の取得を目指す。</p> <p>授業としては、講義も交えながら、研究対象の制度について自ら研究・報告を行ってもらうことで、主体的に研究対象の制度を考察することによるより詳細な知見の習得を目指す。</p> <p>具体的な授業の進め方は、研究対象の制度の概観についての講義の上で、個別のテーマについて文献等を参照しての内容の精査・まとめ・報告を行ってもらうことを想定（講義を受けた次回の講義日に報告（※報告の頻度等は受講人数等を踏まえ調整））。</p>				

Course Code	5140012	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（法政策 I-B）				
Faculties	柳生 正毅				
Course Objectives/Overview	<p>行政は様々な制度により規律されているが、その多くは法律によって定められている。</p> <p>人事行政や政策評価等といった制度は、行政が様々な機能を発揮する前提となる制度であり、また、公務に携わる者にとって必須の知識でもあることから、この授業では、行政に対する規律のうち、人事行政（国家公務員）や政策評価等といった行政通則である制度について、研究の対象とする。</p> <p>授業としては、講義も交えながら、研究対象の制度について自ら研究・報告を行ってもらうことで、主体的に研究対象の制度を考察することによるより詳細な知見の習得を目指す。</p> <p>具体的な授業の進め方は、研究対象の制度の概観についての講義の上で、個別のテーマについて文献等を参照しての内容の精査・まとめ・報告を行ってもらうことを想定（講義を受けた次回の講義日に報告（※報告の頻度等は受講人数等を踏まえ調整））。</p>				

Course Code	5140040	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	事例研究（現代行政 I）				

Faculties	増田 寛也
Course Objectives/Overview	この演習では、政府部門（中央、地方）の政策形成過程への政党、官僚、利益集団の関わり方と、国民、市民や地域社会に与える影響について、幅広く今日の問題を取り上げ、制度と現実の乖離、そこから生まれる課題、課題への対処におけるリーダーシップのあり方について実践的な議論を展開し、考察を深める。 このため、適宜、関係者へのヒヤリング、現地調査を行う。 最終的には、具体的な提言をレポートに取りまとめることを目標とする。

Course Code	5140060	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（現代行政 III）				
Faculties	金井 利之				
Course Objectives/Overview	<p>本事例研究では、現代日本の自治体行政の実態を理解することを目的とする。</p> <p>ここ数年度は、特別区に焦点を当てている。特別区(いわゆる東京23区)は、直接公選の首長・議会を有しながらも、特別地方公共団体として都区制度という特殊な制度のもとに置かれ、また、圧倒的な政治・経済・文化の中心地である東京という地域を対象としているため、一般の自治体とはかなり様相が異なる。そのため、単純に一般論では語れない側面を有する。</p> <p>そこで、特別区では、どのように関係者が仕事をしてきたのかを聴き取りを行い、特別区政の実態を明らかにすることを目指す。これまでは、特別区職員の仕事のあり方、1975年改革(保健所移管、特別区人事委員会設置)、1965年改革、2000年改革(清掃事業移管)前史の清掃事業移管問題協議会、1975年改革前史の区長準公選、1975年前後に広がった特別区における総合計画（長期計画）の策定、路上生活者対策、「61都区合意」を採り上げた。今年度は1998年地方自治法改正を採り上げる予定である。</p>				

Course Code	5140074	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Labor Policy I)				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				
Course Objectives/Overview	This case study aims at developing basic skills to implement independent program evaluation of labor market policies.				

Course Code	5140075	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Labor Policy II)				
Faculties	KAWAGUCHI Daiji				



Course Objectives/Overview	This case study aims at developing basic skills to implement independent program evaluation of labor market policies.
----------------------------	---

Course Code	5140076	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（テクノロジーアセスメント）				
Faculties	谷口 武俊／松尾 真紀子				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術は科学的知識に関する不確実性と技術の利用形態に関する不確実性という二重の不確実性をもつ。そして、科学技術の研究開発や利用活動には多様なアクターが関わり、そこには様々な利害が生じ、複雑なリスクトレードオフ構造が形成される。科学技術の社会導入は多様な社会的含意をもつ。社会経済活動がより重層的に繋がり相互依存性を高めている社会にあつて、科学技術の研究開発・利用を巡る公共政策は極めて重要である。研究開発・利用を押し進める政策立案者や意思決定者は上述した科学技術の本質を踏まえたとき、如何なることに留意し社会的判断をなすべきだろうか。</p> <p>本講義では、先端科学技術に関する意思決定支援アプローチである「テクノロジーアセスメント(Technology Assessment: TA)」の考え方・手法・制度を学習し、具体的な科学技術を取り上げ実践的に TA 試みることを通して、上述のような問いについて考えていく。これまで受講生が取り上げてきた技術は、大規模洋上風力発電やジオエンジニアリングやスマートグリッドなどの環境・エネルギー分野、M2M や仮想現実・拡張現実などの情報通信技術分野、角膜再生や BMI などの健康・医療技術、宇宙デブリ除去技術、宇宙新輸送システム、自動運転技術、赤外線暗視カメラ、ウェアラブル IoT、医療分野への AI 導入、自動翻訳、ブロックチェーン技術、ゲノム編集技術等がある。</p>				

Course Code	5140078	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（人工知能と社会）				
Faculties	江間 有沙／國吉 康夫／佐倉 統／城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>「人工知能」が新聞紙面で見ない日はないほど、自動運転・農業・医療・金融・サービス業等様々な人工知能が紹介され、社会的な関心は高まっています。そのため、国内外で人工知能技術の開発初期段階からの原則策定や、技術の倫理的、法的、社会的影響 (Ethical, Legal and Social Implications) の議論が行われています。このような議論には多様な分野の知見が求められており、今後、情報系研究者も倫理・法・社会的知見を持つこと、政策関係者や実務家、人文・社会科学の研究者も情報技術に関する知見を持つことが必要となります。</p> <p>本授業では、「どうやったら技術を社会に受容してもらえるのか」「技術が私たちの社会をどう変えてしまうのか」という技術決定論</p>				

	<p>的あるいは受け身な態度ではなく、「どのような社会を目指し、そのために技術や人は何ができるか」といった視点から「人工知能と社会」における論点を考えます。そのため、人工知能関連技術と密接に関係する分野や学問領域で話題提供いただくゲスト講師をお招きします。</p> <p>また授業は人文・社会科学系、理工系の学生に開かれており、異分野の学生同士での対話の仕方も学び、ディスカッションを通して各々特定のテーマについての最終レポートを作成します。また、学生には授業前にテーマに関する資料を予習し、質疑応答やディスカッションに主体的に参加することが求められます。</p> <p>本授業への最大受け入れ可能人数は最大 30 名です。受講者多数の場合、分野のバランスを考慮しつつ選抜を行います。そのため、本授業への参加を希望される方は必ず初回授業（4月11日）への参加をお願いします。どうしても初回に参加できない場合は、教員に事前に連絡をしてください。</p> <p>なお、本授業は総合文化研究科、情報理工学系研究科、情報学環・学際情報学府、公共政策大学院の合併授業です。</p>
--	---

Course Code	5140079	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Cybersecurity)				
Faculties	HAYASHI Ryoza / ONISHI Akio				
Course Objectives/Overview	<p>The course objectives include but not limited to</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● Understanding the policy issues that center on international relations, business continuity, and risk/crisis management to protect intellectual property, assets, reputation, and other organizational assets from any threat or attack related to cybersecurity.</li> <li>● Understanding the role of technical standards to supplement legal and regulatory requirements;</li> <li>● Analyzing critical incidents including data breaches or related events to design and implement organizational strategies to address such risks;</li> <li>● Gaining a basic understanding for future technical and other research in security (whether it is public or public sector)</li> <li>● Gaining a basic grounding for policy via the examination of current research issues and problems</li> <li>● Gaining experience handling real-world security policy challenges through analysis of public documents and artifacts using written and oral communication.</li> <li>● Developing the multidisciplinary skills needed to analyze, manage, and resolve the challenges associated with public policy, international relations, and governance.</li> <li>● Students are encouraged to take experiment provided by Interfaculty Initiative in Information Studies/Graduate School of Interdisciplinary Information Studies</li> </ul>				

Course Code	5140090	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	事例研究（外交政策 I）				

Faculties	齋木 昭隆
Course Objectives/Overview	<p>授業の目標：日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、日本は外交を通じて何を達成すれば国益の確保につながるのか？</p> <p>日本外交が拠って立つ種々の原則は何か？国連を通じた平和外交の推進、米国との同盟関係の強化、近隣諸国との友好協力の増進、自由で開放的な貿易と投資の国際体制の維持など、戦後日本の平和と繁栄を支えてきた様々な国際的枠組みを検証し、日本が今後進むべき方向について考察する。</p> <p>授業の概要：春学期 13 回、秋学期 13 回の事例研究において、あらかじめ選定した様々なテーマに関して、学生による報告とこれを受けた議論を行い、それぞれのテーマについての理解を深めることに努める。また、時宜に応じて外交実務に当たる関係者を招き、意見交換の機会を設定することにより、学問の世界と現実の世界との関係につき、学生の認識を深めることに努める。</p>

Course Code	5140100	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	事例研究（外交政策 II）				
Faculties	齋木 昭隆				
Course Objectives/Overview	<p>授業の目標：日本を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、日本は外交を通じて何を達成すれば国益の確保につながるのか？</p> <p>日本外交が拠って立つ種々の原則は何か？国連を通じた平和外交の推進、米国との同盟関係の強化、近隣諸国との友好協力の増進、自由で開放的な貿易と投資の国際体制の維持など、戦後日本の平和と繁栄を支えてきた様々な国際的枠組みを検証し、日本が今後進むべき方向について考察する。</p> <p>授業の概要：春学期 13 回、秋学期 13 回の事例研究において、あらかじめ選定した様々なテーマに関して、学生による報告とこれを受けた議論を行い、それぞれのテーマについての理解を深めることに努める。また、時宜に応じて外交実務に当たる関係者を招き、意見交換の機会を設定することにより、学問の世界と現実の世界との関係につき、学生の認識を深めることに努める。</p>				

Course Code	5140105	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（現代日本外交演習）				
Faculties	小原 雅博				
Course Objectives/Overview	<p>現代世界は、主権国家システムの下での大国間のパワー・バランスの変化、テロ・サイバー・難民・気候変動などの非伝統的脅威の増大、科学技術やグローバル化・情報化の画期的進展によって複雑な様相を呈し、国際秩序が変動しつつある。現代日本外交を論じるに当たっては、こうした国際社会の構造変化を踏まえ、外交の原則や要素を確認しつつ、大局的・長期的視点に立ってアプローチする必</p>				

	<p>要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本演習は、そうした認識に立って、第一に、critical thinking を重視し、「考える力」を発揮する、第二に、presentation を懲過し、自らの考えを「伝える力」を向上させる、第三に、creativity を期待し、debate を通じて新たな問題意識や解決策を「創造する力」を導き出す、ことを目指している。参加者一人一人が外交官として思考し行動するプロアクティブな実践講座であり、積極的な討論参加と創造的な論文作成を求める。</li> </ul>
--	---

Course Code	5140143	Term	S1S2	Credits	4
Course Title	Case Study (International Political Economy)				
Faculties	HIWATARI Nobuhiro				
Course Objectives/Overview	<p>Completing one's research as a paper and presenting it in English has become a necessity for policy specialists, regardless of your occupation. This course is designed to help students write and present an original research paper based on empirical research in topics related to international political economy. Participants will obtain firsthand experience on how to formulate research puzzles worthy of a paper and an audience, how to efficiently conduct research, how to learn from other people's work, and the merits of peer criticisms in that process.</p> <p>A presentation and submission of a research paper and Power Point slides is required for credit. The course will be conducted in English but is tailored to accommodate non-native speakers.</p>				

Course Code	5140162	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（デジタル時代の行政と社会 I）				
Faculties	羅 芝賢／城山 英明／坂井 修一				
Course Objectives/Overview	<p>今日の行政に対する改革の圧力は、何を原動力として浮上したのであろうか。「オープンガバメント」や「デザイン思考」といった改革のキーワードの登場は、情報通信技術の発展に伴う行政と社会の変化を象徴する現象として受け止められがちだが、技術の特性だけによって変化が促される場面はごく限られている。技術の中には、本質的に政治的な技術もあれば、明確な政治的目的を持って設計される技術もあり、意図せざる結果としての政治的効果を伴う技術も存在するのである。こうした前提の上で、この授業では、今日さまざまな形で展開している行政改革を、過去の歴史に照らして相対化し、それを引き起こした要因を包括的に理解することを目指す。各回のトピックに合わせて、行政史、技術史、経済史などの知見を幅広く扱う。</p>				

Course Code	5140163	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（デジタル時代の行政と社会 II）				
Faculties	羅 芝賢／城山 英明				
Course Objectives/Overview	この授業は、今日の日本の中央政府と地方自治体で行われている行政改革の実態を理解することを目的とする。中央政府に関しては、内閣官房政府 CIO 上席補佐官を招き、デジタル・ガバメント実行計画、組織間協働とインターオペラビリティ、ビッグデータ解析による社会行動分析などの取り組みについてヒアリングを行う。地方自治体に関しては、自治体職員などの参加を得て、まちづくり、貧困対策、里親支援、介護現場のイノベーションなど地域の実情に即した取り組みをご紹介いただく。				

Course Code	5140205	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（公共経済政策：問題分析）				
Faculties	小川 光／深澤 映司				
Course Objectives/Overview	官公庁やシンクタンクなどで経済分野の政策分析業務に従事することを希望する受講者を対象として、そのような職場で政策課題分析型の論文を作成する際に有用な知識や技能を習得することを目的とする。 前期（S1・S2 セメスター）の「問題分析」では、この目的を達成するための基礎固めを行い、後期（A1・A2 セメスター）の授業で実際に論文を完成させるための橋渡しを行う。				

Course Code	5140206	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（公共経済政策：解決策分析）				
Faculties	小川 光／深澤 映司				
Course Objectives/Overview	官公庁やシンクタンクなどで経済分野の政策分析業務に従事することを希望する受講者を対象として、そのような職場で政策課題分析型の論文を作成する際に有用な知識や技能を習得することを目的とする。 後期（A1・A2 セメスター）の「解決策分析」では、前期（S1・S2 セメスター）の「問題分析」における基礎固めで得られた成果をさらに発展させ、授業の最終的な目的を達成することを目指す。				

Course Code	5140209	Term	A1A2	Credits	4
Course Title	Case Study (Japanese Foreign Economic Policy)				

Faculties	IIDA Keisuke
Course Objectives/Overview	The goal of this course is to explain how Japan's foreign economic policy is made and where its characteristics come from. This course is primarily intended for international students wanting to understand the political and economic underpinnings of Japan's foreign economic policy, but it will be also useful for students who anticipate practicing foreign economic policy in their professional life, or those who will help shape governmental foreign economic policy in the private sector.

Course Code	5140217	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政治とマスメディア I）				
Faculties	谷口 将紀／吉田 貴文				
Course Objectives/Overview	<p>自民党一党優位の政治「55年体制」から政権交代のある政治へ。それが平成政治の目指した基本的な方向であった。しかし、現在は「自民党一強」「野党多弱」が目立ち、政権交代の可能性は遠のいたようにも見える。</p> <p>国際政治に目を向ければ、平成のはじめに冷戦が終わり、民主主義、自由主義の「勝利」が高唱されたが、ここにきて民主主義、自由主義ともに万能感が揺らいでいる。秩序を保つためには、強権的な体制が望ましいという見方さえささやかれる。</p> <p>こうした政治の変化はメディアのあり方にも影響を与えずにはおかない。かつての「派閥取材」はいまも権力取材に欠かせないものなのか、ネットやITが発達するなか、新聞が中心だったメディアの世界も変容を強いられている。</p> <p>政治とマスメディア演習 I では、平成の30年間の政治をめぐる様々な変化を確認し、ポスト平成の政治の将来を展望してみたい。</p>				

Course Code	5140218	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（政治とマスメディア II）				
Faculties	谷口 将紀／吉田 貴文				
Course Objectives/Overview	<p>S セメスター「平成政治を超えて」で平成の日本政治を通観した。そこで得た知識をもとに後期では受講生に政党を立ち上げてもらう。政党を立ち上げるには何が必要か。党名や政策はどう策定するのか。候補者をどう見つけるのか。PRの方法は。選挙はどう戦うのか.....。そんなもろもろの作業を通して、政党とは何か、政治とは何かを考えたい。後半では、最新の政治とメディアの関係について考察し、ポピュリズムの是非、焦点になっている沖縄の政治をめぐる学生たちと徹底討論してみたい。</p>				

Course Code	5140226	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・問題分析）				
Faculties	金本 良嗣／田中 健一／長谷 知治／楠田 幹人				
Course Objectives/Overview	<p>都市地域政策と社会資本ファイナンスに関する事例研究を行う。建築物やインフラは数十年といった長期にわたって使い続けられるので、都市地域政策によって都市や地域の構造が変化するには長い期間がかかる。一方、人口減少、高齢化、自動運転、生産と消費におけるスマート化、アジア経済の発展等によって、たとえば、30年後（2050年）の都市・地域の姿は大きく変貌しているはずである。これを念頭に、新たな視点から都市地域政策を構想し、それらの実現性やインパクトをシナリオベースで予測して、社会的な望ましさを評価する。</p> <p>3名程度のグループによる共同作業が基本である。</p>				

Course Code	5140256	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・解決策分析）				
Faculties	金本 良嗣／田中 健一／長谷 知治／楠田 幹人				
Course Objectives/Overview	<p>前期の事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・問題分析）における調査・研究を踏まえて、具体的な政策代替案の分析・評価を行う。3名程度のグループによる共同作業が基本である。</p>				

Course Code	5140286	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Intellectual Property Management)				
Faculties	WATANABE Toshiya				
Course Objectives/Overview	<p>The "International IPR Management" course covers the fundamental aspects of intellectual property from business perspective. The course is organized by combining series of lectures and workshops by guest speakers for better understanding the IPR management through real issues in business scene. In order to facilitate effective interactive process in case based teaching, a number of enrolled students could be restricted. In this process, students in the TMI departments as well as those in TMI sub-major have some priority. .</p>				

Course Code	5140298	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Japanese Macroeconomic Policy: Solutions to Monetary and Fiscal Policy Challenges)				
Faculties	HAYASHI Tomoko				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide sound basis for research on the Japanese macroeconomic policy (both monetary policy and fiscal policy), with reference to other countries, from the viewpoint of the policy practitioner.</p> <p>It will cover a wide range of background knowledge from policy framework in theory</p>				

	and practice, economic assessment and data analysis to the current policy settings.
--	---

Course Code	5140299	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（日本のマクロデータによる政策分析）				
Faculties	林 伴子／梅溪 健児				
Course Objectives/Overview	<p>経済分析に多く使われるマクロ経済データについて、その概要と取扱いの仕方、分析の際の留意点等について学び、日本や海外の経済分析に必要なデータに関する実践的な知見を深める。</p> <p>政府・中央銀行や民間シンクタンクのエコノミスト、大学の研究者が経済分析を進める上で必須となる、データに関する基礎知識を身につけ、自ら読み解き、情報発信できるようになることが到達目標である。こうした能力は、エコノミスト、研究者を目指す者のみならず、政府等でしっかりした裏付けのある政策の企画・立案に携わりたい者や、企業の経営企画・コンサルタント業務を目指す者、ジャーナリズムで活躍することをを目指す者にも有益な基礎を提供する。</p>				

Course Code	5140346	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（都市地域政策と社会資本ファイナンス・政策分析入門）				
Faculties	金本 良嗣／田中 健一／長谷 知治／楠田 幹人				
Course Objectives/Overview	<p>政策分析の入門として、公共政策大学院1年生に対して提供され、都市地域政策と社会資本ファイナンスに関する事例研究を行う。建築物やインフラは数十年といった長期にわたって使い続けられるので、都市地域政策によって都市や地域の構造が変化するには長い期間がかかる。一方、人口減少、高齢化、自動運転、生産と消費におけるスマート化、アジア経済の発展等によって、たとえば、30年後（2050年）の都市・地域の姿は大きく変貌しているはずである。これを念頭に、新たな視点から都市地域政策を構想し、それらの実現性やインパクトをシナリオベースで予測して、社会的な望ましさを評価する。</p> <p>3名程度のグループによる共同作業が基本である。</p>				

Course Code	5140348	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（金融システム分析）				
Faculties	湯山 智教				
Course Objectives/Overview	<p>金融システムを巡る最近のトピックについて、関連する文献（論文・レポート）やインタビュー等を通じて、その背景や考え方等について理解し、受講者が単独または複数名によるチーム形式で、金融システムに関連した分析テーマについてサーベイし、プレゼンテーシ</p>				



	<p>ョンを行い、最終的にはレポート（論文という形式でもよい）を作成することを目的とする。また、受講人数にもよるが、受講者が、単独またはチームで概ね2～3回程度の発表を行うことを想定している。なお、後期の同じ担当教員による事例研究（金融資本市場論）を継続して受講する場合には、前後期で同じテーマとしてレポート作成することも可とする（この場合でも、前期末には中間レポートという形でのレポート提出は必要）。</p> <p>具体的な分析テーマとしては、金融政策（マイナス金利、出口政策等々）、FinTech等への対応、地域金融システムの在り方、金融監督規制の在り方、国際金融規制、等が考えられるが、初回講義で担当教員の提示するテーマ案から選択するのも良いし、受講者自身の関心に応じた金融システムに関するトピックを独自に選び、取りあげても良い。</p> <p>授業では、将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、金融システムにおける現実的課題に対して、その背景や考え方を理解し、一定の分析能力を育成することを目標とする。</p> <p>なお、担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）、日本銀行、民間シンクタンク等における勤務経験を有する行政官・実務経験者であり、授業に際しても、理論のみならず、現実の動きや政策対応・実証分析等をバランスよく取り扱っていきたいと考えている。</p>
--	---

Course Code	5140393	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Quantitative Macroeconomics I)				
Faculties	NIREI Makoto				
Course Objectives/Overview	In this course, participants practice quantitative analysis of macroeconomic models using numerical computation.				

Course Code	5140394	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Quantitative Macroeconomics II)				
Faculties	楡井 誠				
Course Objectives/Overview	In this course, participants practice quantitative analysis of macroeconomic models using numerical computation.				

Course Code	5140395	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（資本市場と公共政策）				
Faculties	小野 傑／湯山 智教				
Course Objectives/Overview	「金融資本市場における公共政策的・法的論点と課題」をテーマとする。金融資本市場においては、最近、FinTechベンチャーに代表されるような新たなプレイヤーによる参入、AI（機械学習）の進展、ビ				

	<p>ックデータの活用、キャッシュレスの拡大、仮想通貨（暗号資産）の問題、ICO（Initial Coin Offering）と呼ばれる新たな資金調達手段の可能性の出現などの大きな変革が進んでおり、これに加えて、会社法改正の動きなどを受けたコーポレートガバナンスのあり方、スチュワードシップ・コード改訂を受けた機関投資家のあり方、フィデュシャリー・デューティー、ベンチャーファイナンス、ESG投資などの従来から指摘されている課題や論点など、公共政策的・法的論点と課題は多数に上る。</p> <p>この授業では、これらの金融資本市場における論点と課題について、主として有識者を招いての講義や学生とのディスカッションを通じて、履修生が理解を進め、深く思索する機会を提供するとともに、形式ではなく本質を見据えた解決策を考える力を養うことを目指す。</p> <p>（注）本講義は、みずほ証券株式会社による寄附講座である。</p>
--	--

Course Code	5140396	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（金融資本市場論）				
Faculties	湯山 智教				
Course Objectives/Overview	<p>金融資本市場を巡る最近のトピックについて、関連する文献（論文・レポート）やインタビュー等を通じて、その背景や考え方等について理解し、受講者が単独または複数名によるチーム形式で、金融資本市場に関連した分析テーマについてサーベイし、報告・プレゼンテーションを行い、最終的にはレポート（論文という形式でもよい）を作成することを目的とする。受講人数にもよるが、受講者が、単独またはチームで概ね2～3回程度の発表を行うことを想定している。</p> <p>なお、前期の同じ担当教員による事例研究（金融システム分析）と継続して受講する場合には、前後期で同じテーマとしてレポート作成することも可とする（この場合で、前期末には中間レポートという形でのレポート提出が必要）。</p> <p>具体的な分析テーマとしては、金融資本市場に関連するものとして、金融とITを巡る問題（FinTech等）、不公正事案に対する市場監視、資産運用高度化、ESG投資、コーポレートガバナンス・スチュワードシップコード等が考えられるが、初回講義で担当教員の提示するテーマ案から選択するのも良いし、受講者自身の関心に応じた金融資本市場に関するトピックを独自に選び、取りあげても良い。</p> <p>授業では、将来、金融機関・商社やシンクタンク、コンサルティング、政策当局等において、金融実務を担うことを考えている学生を念頭に、金融システムにおける現実的課題に対して、その背景や考え方を理解し、一定の分析能力を育成することを目標とする。</p> <p>なお、担当教員は、中央官庁（金融庁、財務省）、日本銀行、民間シンクタンク等における勤務経験を有する行政官・実務経験者であり、授業に際しても、理論のみならず、現実の動きや政策対応・実証分析等をバランスよく取り扱っていきたいと考えている。</p>				

Course Code	5140397-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（信託法に関する実務上の諸問題）				
Faculties	水野 大				
Course Objectives/Overview	<p>担当教員は、信託関連法令あるいは信託銀行の業務に関する案件を専門分野の一つとする弁護士である。</p> <p><a href="http://www.noandt.com/data/lawyer/index/id/1678/">http://www.noandt.com/data/lawyer/index/id/1678/</a></p> <p>担当教員から、実際に取り扱った案件や法律問題を紹介しつつ、信託法の概説やベーシックな信託契約の読み方の説明を行った上で、各参加者が自ら選択したテーマについて発表し、その発表に基づいて担当教員や参加者が議論を行うことを予定している。</p> <p>参加者が、実定法としての信託法の内容、信託関連法令に関する基本的な知識を身につけると同時に、実務で現れる事象や問題を法的に分析することへの興味・関心・野心を抱くに至ることが、この演習の目的である。</p> <p>民法、会社法のような実定法の勉強の延長で実定法としての信託法を勉強したいという学生あるいは信託を用いた金融実務に興味のある学生の参加を想定している。</p>				

Course Code	5140398	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Macro-Financial Linkages)				
Faculties	UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	<p>Become capable of reading theoretical and empirical analyses on macro-financial linkages, which appear strongly in financial crises as well as along a typical path of economic development, at the level often discussed among international policy experts.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• To build the capacity to understand policy issues on crises.</li> <li>• To be familiar with major theoretical arguments and empirical methods.</li> <li>• To improve policy discussion skills: <ul style="list-style-type: none"> <li>o Presenting (advertising/defending)</li> <li>o Serving as discussant (praising/criticizing)</li> <li>o Open-floor discussions (involving others)</li> </ul> </li> </ul>				

Course Code	5140404-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Foreign Policy of Japan I)				
Faculties	TAKEUCHI Haruhisa				
Course Objectives/Overview	<p>The International community and the Asia Pacific region in particular is going through rapid structural changes which represent both opportunities and challenges to the region and to the world. The course will review and discuss the contemporary Japanese foreign and security policy toward Asia Pacific.</p> <p>Throughout the course, the lecturer, a former diplomat, will endeavor to share with the students his experience as a practitioner. As appropriate, guest speakers will be invited to discuss current affairs.</p>				

Course Code	5140404-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Foreign Policy of Japan II)				
Faculties	TAKEUCHI Haruhisa				
Course Objectives/Overview	<p>The International community and the Asia Pacific region in particular is going through rapid structural changes which represent both opportunities and challenges to the region and to the world. The course will review and discuss the contemporary Japanese foreign and security policy and will focus on such areas as regional integration, economic policy of Japan and its foreign policy implication and soft power. The detail will be announced later.</p> <p>Throughout the course, the lecturer, a former diplomat, will endeavor to share with the students his experience as a practitioner. As appropriate, guest speakers will be invited to discuss current affairs.</p>				

Course Code	5140412	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Financial Institutions)				
Faculties	KAWAI Yoshihiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide an overview of the theory, history, practices and challenges of international financial institutions (IFIs). In the lecture, IFIs are likely to include the International Monetary Fund (IMF), World Bank (and International Finance Corporation [IFC]), Asian Development Bank (ADB), Inter-American Development Bank (IDB), African Development Bank (AfDB), and European Bank for Reconstruction and Development (EBRD) and other key IFIs.</p> <p>Experts from these IFIs will deliver lectures in many cases. These experts may include the heads of the Tokyo offices of the IFIs. At the end of the course, students are expected to fully understand the major functions and challenges of IFIs.</p> <p>Students taking this course for credits must take part in all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.</p>				

Course Code	5140415	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（国際経済ルールの形成と利用）				
Faculties	中川 淳司／米谷 三似				
Course Objectives/Overview	<p>経済活動に対する国際ルールの規律の現状とその底流となる政策論の方向性、国際ルールの形成と実施のための手続の実際、かかる手続における政府、企業、NGO等のステークホルダーの関与等について、個別の事例の検討を通じて考察を深め、同時に今日的な課題にいかに取り組みかについて実践的な議論を行い、実務において直面する問題に対する解決能力を高めることをねらいとする。</p>				

Course Code	5140416	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Global Financial Policy Making)				

Faculties	KAWAI Yoshihiro
Course Objectives/Overview	This seminar-format course is designed to discuss international financial standard setters (IFSSs)' history, structure, governance, activities, and policy-making process. IFSSs include Financial Stability Board (FSB), Basel Committee on Banking Supervision (BCBS), International Association of Insurance Supervisors (IAIS), and International Organization of Securities Commissions (IOSCO). This course, will also cover IFSSs' operation and management. The course will allocate sufficient time to discuss key policy making process with real examples. Guest lecturers from IFSSs' representatives and stakeholders would provide their experiences during the course. Students taking this course for credits must attend all lectures, participate actively in classroom discussions, present a draft term paper on topics related to the course, and submit the final version of the term paper.

Course Code	5140485	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（政策環境検討手法としてのシナリオプランニング：理論と実践）				
Faculties	角和 昌浩／杉野 綾子				
Course Objectives/Overview	<p>官公庁での政策立案において、あるいは企業の事業戦略策定において、みなさんは、主体的に情報を集め、自分で考え、直観力と洞察力を持って新しい課題に取り組み、組織に貢献することを期待される。そのような力をつけるための一技法としてシナリオプランニングをご紹介したい。</p> <p>シナリオプランニングとは、未来研究手法の一種である。シナリオとは、起こり得る未来を説明するストーリーのこと。それは、今後の重要なイベントと主要登場人物達、そして彼らがどんな意図を抱いているかを特定するものであり、また世界がどのような仕組みで動いているかを伝えようとする。われわれは、シナリオの作成および活用を通じて、未来に直面するかもしれない困難について探求することが可能となる。われわれは、自身がもっとも不安に思っている未来の不確実性について考えるために、また、それらの不確実な要素が、将来、どのような形で現実に起こるかについて深く掘り下げて考えるために、シナリオプランニングを試みる。</p> <p>この授業はシナリオプランニング技法を、実際にシナリオを作りながら学んでゆく。</p> <p>本年度は、「脱クルマ社会と『日本がリードする車の電動化』戦略」を実習テーマとし、テーマにかかわる専門家を招いてレクチャーをいただく。</p> <p>授業の目標は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①シナリオプランニングの理論と型式を理解する、</li> <li>②シナリオプランニング手法が政策環境分析あるいはビジネス環境分析に活用可能なことを理解する、</li> <li>③シナリオプランニングの作業工程を実習する、</li> <li>④チームワークの作り方を体験的に実習する、</li> <li>⑤チーム作業でシナリオ作品を試作する。</li> </ol> <p>このため、全回出席をお願いしたいし、グループワークに貢献し、</p>				

宿題をこなしながら徐々に力をつけてもらいたい。

Course Code	5140486	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Business environment, stakeholders and issues; a learning experience in collaboration with Japanese industry)				
Faculties	KAKUWA Masahiro / KUMON Takashi				
Course Objectives/Overview	<p>The objectives of this course are to give course attendants hands-on experiences of business modus operandi of Japanese companies, and to ask the attendants to follow small scale researches on particular themes on Japanese company/industry. This course was established in 2015 in response to the call from GraSPP international students for more to learn and be exposed to the Japanese business society. Japanese Ministry of Economy, Trade and Industry has also been finding this request as fair and supports this course.</p> <p>The ultimate aim of the course is to offer the attendants an opportunity to learn business culture and operation of globalised, or globalising Japanese companies. Hence, the attendants are very much deserved to be critical and argumentative however; the organizer of the course would like to ask them for due respects to the companies.</p> <p>The organizer of the course has a variety of experience in business and governmental organization to support overseas business of Japanese companies. The co-organizer has spent 35 years in business both in Japan and abroad however; the attendants will not expect the organizers to do full lectures on theories and methods of business practices, which can be learned by reading boring books for MBA course, plenty of them.</p> <p>This is a very practical course, rare in the university.</p> <p>The attendants will expect hard works!</p>				

Course Code	5140488	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Public-Private Partnerships)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will provide students with an overview of Public-Private Partnerships (PPPs) as a framework for infrastructure development and public services provision. Thus, the course aims to prepare students for future positions engaged in infrastructure development and public services provision in both the public and private sectors, where financial perspectives are also required. As a practical training course, students will have the opportunity to debate, work in a team, make oral presentation, and produce memos and reports.</p> <p>The key motivation for PPPs is to seek efficiency gains as well as to fill public sector funding gaps through private sector participation. In recognition of such potential benefits, we have seen an increasing interest in PPPs over the past decades.</p> <p>The core task of structuring a PPP project is to reconcile the interests of various parties from the private and public sectors. These parties include investors, lenders, and contractors on the private sector side and the government and other related entities on the public sector side. PPPs are in reality very complex and most likely costly. Risk allocations are challenging because of the public nature of infrastructure services provision and inherent uncertainties over the long term. Difficulties also</p>				

	<p>arise from the different attitudes of investors, lenders, government entities, and the general public.          PPPs are equipped with a very commercial contractual structure and operational modalities, but at the same time are extremely political.</p>
--	---

Course Code	5140494	Term	通年	Credits	4
Course Title	事例研究（アメリカ政治外交史演習）				
Faculties	久保 文明				
Course Objectives/Overview	<p>近年のアメリカ政治における保守主義の変容について、連続性にも配慮しつつ、内政・外交にわたって掘り下げて考察する。とくに Tea Party とトランプ登場後の変化について詳しく分析したい。対象となる政策は、税制、福祉、移民/不法移民、通商、安全保障、アイデンティティ問題など多様である。</p>				

Course Code	5140498	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Institutions and Methods of Health Technology Assessment in Healthcare Policy)				
Faculties	KAMAE Isao				
Course Objectives/Overview	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Students learn basic methods of Health Technology Assessment(HTA) and HTA institutions in the world.</li> <li>• A group of students performs a in-class presentation regarding HTA agency/institution assigned in advance, and through the class discussion, all the students learn history, presence and new trends of the HTA agencies/institutions in the world.</li> <li>• An internet live lecture is provided by international HTA experts/professors in the world.</li> <li>• Students can develop their capability of HTA specialty in the global perspective.</li> </ul>				

Course Code	5140500	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（海洋問題演習 Va）				
Faculties	木村 伸吾				
Course Objectives/Overview	<p>この授業は、学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養することを目指し、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチについて、具体的課題に即して学ぶことを目的とする実践的な科目である。</p> <p>この授業は、冬学期に開講される海洋問題演習 Vb と内容的に一連のものとして設定されるが、それぞれ独立して履修することも可能である。</p> <p>この授業においては、海洋に関わる政策的なトピックについて、場の利用、資源の利用、安全な利用といった観点から、沿岸域総合管理、生物多様性、津波・防災、海洋安全保障等各分野の専門家、実</p>				

	<p>務家等から講義を行う。専門分野の違いを超え、問題解決に必要な知見を総合して、政策案を企画する基礎を学ぶことを目指す。</p> <p>この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである「海洋学際教育プログラム」の必修科目である。</p>
--	--

Course Code	5140501	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（海洋問題演習 Vb）				
Faculties	木村 伸吾				
Course Objectives/Overview	<p>この授業は、学問分野横断的な思考の獲得および政策立案・問題解決能力を涵養することを目指し、海洋に関わるさまざまな政策課題への総合的なアプローチについて、具体的課題に即して学ぶことを目的とする実践的な科目である。</p> <p>この授業は、夏学期に開講される海洋問題演習 <b>Va</b> と内容的に一連のものとして設定されるが、それぞれ独立して履修することも可能である。</p> <p>この授業においては、様々な研究科に所属する大学院生からなるグループを編成し、専門分野の違いを超えて海洋に関わる政策的なトピックについて共同研究を行い、問題解決に必要な知見を総合して政策案の企画に取り組む。</p> <p>この授業は、大学院横断型教育プログラムの一つである「海洋学際教育プログラム」の必修科目である。</p>				

Course Code	5140502	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（アメリカの環境・エネルギー政策と政治過程）				
Faculties	久保 文明／杉野 綾子				
Course Objectives/Overview	<p>エネルギー政策は、強力な利益団体が存在する国内政策分野である。近年、環境問題への関心が高まるにつれ、エネルギー・環境問題は、国内政策課題の中でもイデオロギー対立が顕在化する分野の一つとなっている。</p> <p>エネルギー・環境分野にもさまざまな 이슈があるが、その相互の関わりや、利益構造の広がりについて、1990年代以降の事例を取り上げながら分析する。</p>				

Course Code	5140503	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（アメリカ政治におけるメディアの役割）				
Faculties	久保 文明／山脇 岳志				
Course Objectives/Overview	<p>アメリカ政治においていわゆるマス・メディアが果たす役割について、アメリカ政治の基本を把握しつつ、その歴史、性格、最新の状況について理解することを目標とする。日本との異同についても検</p>				



	討する。インタビューの技術などについても、日米の違いも踏まえつつ、解説し、記事の書き方について実践する。
--	--

Course Code	5140600	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（科学技術イノベーション政策研究）				
Faculties	松尾 真紀子／五十川 大也				
Course Objectives/Overview	<p>[THIS COURSE IS OFFERED IN BOTH JAPANESE AND ENGLISH]</p> <p>科学技術イノベーション政策について、官公庁や調査研究機関等において政策形成やそのために必要なエビデンスの構築に携わる知識を学び、科学技術イノベーション政策を研究する際に重要な論点を俯瞰する。</p> <p>加えて、これらを実践知とするため、科学技術イノベーション政策について、政策プロセス・制度またはエビデンス構築を対象に、グループワークを中心とした事例研究を行う。各学生には、個別の専門領域に閉じることなく、文理融合・学術分野横断的な協働を通じて問題解決を図り、政策を企画立案分析する素養の体得を期待する。</p> <p>---</p> <p>This course is designed to develop necessary skills for collecting and assembling evidence for public policy-making at government agencies and research institutions, as well as to overview basic issues on science, technology, and innovation (STI) policy research. Students are encouraged to learn across academic disciplines; they are expected to work with other students from different departments/schools toward problem-solving and develop necessary skills for analyzing public issues and planning/evaluating public policy.</p>				

Course Code	5140610	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（科学技術と政治・行政 I）				
Faculties	城山 英明				
Course Objectives/Overview	<p>科学技術の研究開発、科学技術の実社会の各分野での利用に際して必要になるリスク規制やイノベーションの促進は社会の政治組織、行政組織、企業、社会集団、専門家、市民様々な主体の利益や価値に関わり、これらの課題をめぐっては諸主体間での政治が展開される。科学技術に関する判断は、しばしば科学的技術的に規定されていると認識されることも多いが、実際には多くのトレードオフや不確実性等に関する判断が埋め込まれており、一定の裁量が埋め込まれている。科学技術に関わる政治・行政においては、各主体が科学技術に関する能力をどのように確保するのか、各主体が能力確保に投資するインセンティブ構造が確保されているのかというのも、重要な局面となる。また、現代政治・行政の活動は様々な科学技術的条件の上に成立している。</p> <p>本演習では、まず、このような科学技術と政治・行政における基本</p>				

	<p>的論点について、講義及び文献講読により概観する。具体的には、科学技術自体の性格とダイナミズム、科学技術政策の概念について検討した後、リスク評価・管理や事故調査・インシデント情報共有による学習メカニズム、知識生産や技術の社会導入に関わるイノベーションのメカニズム、科学技術に関する調整メカニズム、国際レベルにおけるリスク規制（安全保障に関するリスクも含む）と国際的な知識生産、技術の社会導入を進めていくための国際協力のメカニズムについて検討する。</p> <p>その上で、AIを含む情報技術政策、国際保健政策、気候変動・エネルギー政策、航空・宇宙政策について、専門家や実務家のレクチャーを踏まえ、具体的に検討する。最終的に、参加者は関心のあるテーマに関してレポートをまとめることが求められる。</p>
--	--

Course Code	5140620	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Diversity and Inclusion)				
Faculties	MAEDA Kentaro				
Course Objectives/Overview	<p>We live in interesting times.</p> <p>In the past, it was widely assumed that the members of the nation-state shared a common culture and history. Furthermore, in many countries, there was a sharp division of labor between male breadwinners and female housewives. Under these assumptions, the public sphere was populated by a relatively homogeneous body of citizens. Differences based on gender and ethnic identity were rarely at the center of policy debates.</p> <p>Today, these assumptions can no longer be taken for granted. More and more women are entering the labor force each year, minority ethnic groups are demanding recognition, while immigrants are crossing national borders at an increasing rate. Whatever the long-term trends, this tendency towards diversity and heterogeneity is not likely to be reversed in the near future. As a result, policymakers everywhere are facing new challenges in coping with demands from groups that were hitherto excluded from the political arena.</p> <p>In this course, we will examine various policy issues that involve the problem of identity and difference. In particular, we will pay close attention to how public policies have structured racial, ethnic, and gender relations in contemporary society.</p>				

Course Code	5140700-1	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Energy Governance)				
Faculties	ARIMA Jun / TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	<p>Explore the roles of the selected energy related international organizations/processes to enhance secure, affordable and sustainable energy supply. The examples of these organs/processes are IEA, OPEC, IEF, Energy Charter, G7, G20, EU, APEC, ASEAN, IAEA IRENA, UNFCCC etc. Discuss the selected energy issues from different perspectives. Try to identify necessary conditions for global energy governance in the 21st Century to address energy and climate challenges</p>				

Course Code	5140700-2	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Energy Governance)				
Faculties	ARIMA Jun / TANAKA Nobuo				
Course Objectives/Overview	Explore the roles of the selected energy related international organizations/processes to enhance secure, affordable and sustainable energy supply. The examples of these organs/processes are IEA, OPEC, IEF, Energy Charter, G7, G20, EU, APEC, ASEAN, IAEA IRENA, UNFCCC etc. Discuss the selected energy issues from different perspectives. Try to identify necessary conditions for global energy governance in the 21st Century to address energy and climate challenges				

Course Code	5140715	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（コーポレートガバナンス）				
Faculties	林 良造 / 中原 裕彦 / 佐藤 智晶				
Course Objectives/Overview	<p>近年、コーポレートガバナンスが問題となる事例が数多く見られ、また、日本の制度に伴うバイアスについての研究も進んできている。そして、こうした事例に対応する形で、新たなガバナンスの方式が模索・提案されたりもしてきた。</p> <p>この授業では、こうした事例を取り上げ、それはどのような原因・メカニズムで発生するのか、そしてそうした問題は今後どのようにすれば改善することができるのか、コーポレートガバナンス制度の評価という視点から検討を行っていく。</p>				

Course Code	5140723	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Finance and Development in Emerging Asia)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course aims to deepen student understanding of development issues in emerging Asia with a focus on financing aspects and thus to prepare students for future professional positions in the field of development finance. We will discuss policy options to enhance the finance-development nexus and to address risks entailed in the process. As a practical training course, students will have the opportunity to debate, work in a team, make oral presentation and produce memos and reports.</p> <p>Specific features of the course are as follows.</p> <p>In order to provide the background knowledge for a better understanding of key concepts, the course will revisit development performance of Asia's emerging economies since the 1980s. Learning from the past will help identify contributing factors to development as well as risks entailed in policy actions. We will also discuss opportunities and challenges in various approaches and policy initiatives in development finance such as Public-Private Partnerships (PPPs) and community-based finance.</p> <p>One of the underlying questions is how to correct shortcomings in the finance-development nexus through public policy with an effective incentive design and</p>				

	<p>minimum market distortions. Furthermore, we will discuss policy options in a broader geopolitical context by asking such a question as how China/India and Japan could collaborate to promote sustainable development in Asia. Discussion topics will also include China's Belt and Road Initiative (BRI) and the emergence of Asian Infrastructure Investment Bank (AIIB), a new multilateral lender in Asia.</p> <p>Following several sessions for learning key concepts, the course will provide students with a policy planning exercise—students will be asked to choose a specific country case and to prepare reports on development strategy and policy proposals with a focus on the finance-development nexus.</p>
--	---

Course Code	5140730-1	Term	S 2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Field Workshop)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will aim to motivate students to seek ways to collaborate with diverse stakeholders in the international fora by offering opportunities to exchange views and discuss with senior officials, management staff and experts in government agencies, international organizations, global business entities, NPOs, and research institutions located in Asia. Planning and participating in discussion sessions with such professionals are expected to help students to identify today's social challenges from global and regional perspectives and to design solutions in line with the concept of the Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM) [<a href="http://gsdm.u-tokyo.ac.jp/en/">http://gsdm.u-tokyo.ac.jp/en/</a>].</p>				

Course Code	5140730-2	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Case Study (International Field Workshop)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro				
Course Objectives/Overview	<p>This course will aim to motivate students to seek ways to collaborate with diverse stakeholders in the international fora by offering opportunities to exchange views and discuss with senior officials, management staff and experts in government agencies, international organizations, global business entities, NPOs, and research institutions located in the United States. Planning and participating in discussion sessions with such professionals are expected to help students to identify today's social challenges from global and regional perspectives and to design solutions in line with the concept of the Global Leader Program for Social Design and Management (GSDM) [<a href="http://gsdm.u-tokyo.ac.jp/en/">http://gsdm.u-tokyo.ac.jp/en/</a>].</p>				

Course Code	5140735	Term	A 2	Credits	2
Course Title	Case Study (GraSPP Policy Challenge for SDGs 1)				
Faculties	SUZUKI Hiroshi / SHIROYAMA Hideaki / ORSI Roberto				
Course Objectives/Overview	<p>*Details to be announced on web site.</p> <p>GraSPP Policy Challenge (GPC) is an initiative at GraSPP, in which Japanese and international students collaborate and seek to improve their teambuilding and policy-making skills. Participants are tasked with responding to pressing real-world policy</p>				

	challenges as a group, and with designing policies and proposals in response to those challenges.
--	---

Course Code	5140738	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Writing public policy cases for SDGs)				
Faculties	NISHIZAWA Toshiro / SEETHARAM K.E.				
Course Objectives/Overview	<p>The course aims to discuss the public policy-related challenges and opportunities to achieve Sustainable Development Goals (SDGs). In this course, participants will be introduced to problem solving in public policy using teaching cases. The cases will cover topics relating to SDGs such as water, sanitation, transportation, spillover effect of infrastructure, fin-tech, micro-financing, philanthropy and others. During the course, participants will also learn to write a teaching case.</p> <p>A teaching case is a narrative which provides information on a real-world situation where people, such as policy makers or business executives, are supposed to make a decision or solve a problem. Students are required to do analytical work in a small team with a given narrative by interpreting the relationships among incidents, identifying possible options, evaluating choices and their outcomes. Analytical work with a teaching case (often called "the case method") also helps students understand the relevance and importance of abstract concepts and theory in practice.</p>				

Course Code	5140741	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Project Based Learning on the Technological Innovation and the Social Solutions)				
Faculties	SUZUKI Hiroshi / ISOZUMI Koji / SHIROYAMA Hideaki				
Course Objectives/Overview	<p>This class is the PBL (project base learning exercise) for public policy. Students hear the perspectives and concerns of stakeholders in the various fields combining technological and institutional/ policy innovation and and are asked to work collaboratively as a group for the problem definition and identifying and assessing policy alternatives concerning public policies.</p>				

Course Code	5140751	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	事例研究（社会構想マネジメント、ソフトパワー・人材政策 I）				
Faculties	鈴木 寛				
Course Objectives/Overview	<p>ソーシャル・イノベーション、Social Design and Manegement について理解を深める</p> <p>人材政策（教育・雇用）、ソフトパワー政策（スポーツ・文化政策、科学技術政策、医療イノベーション政策、ICT政策、パブリックディプロマシー、インテリジェンス、アジア政策、産業政策）の概要を理解し、実際の政策形成を理解する。政府・国会で行われている政策動向の把握の手法を理解し、さらに、国家公務員・地方公務員としての政策分析・提案できる実力を身につける。</p>				

Course Code	5140752	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	事例研究（社会構想マネジメント、人材政策、ソフトパワー政策 II）				
Faculties	鈴木 寛				
Course Objectives/Overview	<p>ソーシャル・イノベーション、Social Design and Management について理解を深める</p> <p>人材政策（教育・雇用）、ソフトパワー政策（スポーツ・文化政策、科学技術政策、医療イノベーション政策、ICT政策、パブリックディプロマシー、インテリジェンス、アジア政策、産業政策）の概要を理解し、実際の政策形成を理解する。政府・国会で行われている政策動向の把握の手法を理解し、さらに、国家公務員・地方公務員としての政策分析・提案できる実力を身につける。</p>				

Course Code	5140771	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Current Global Economic Issues)				
Faculties	UEDA Kenichi				
Course Objectives/Overview	<p>Become capable of reading theoretical and empirical analyses on current global economic issues at the level often discussed among international policy experts.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• To build the capacity to understand policy issues on current macroeconomic and financial issues in the world.</li> <li>• To be familiar with major theoretical arguments and empirical methods.</li> <li>• To improve policy discussion skills: <ul style="list-style-type: none"> <li>o Presenting (advertising/defending)</li> <li>o Serving as discussant (praising/criticizing)</li> <li>o Open-floor discussions (involving others)</li> </ul> </li> </ul>				

Course Code	5140790	Term	S1S2	Credits	2
Course Title	Case Study (Empirical Development Microeconomics I)				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course (CS1) is to develop 1) to acquire knowledge and skills to read and criticize research papers in development microeconomics; 2) to develop a research proposal on development; and 3) to develop presentation, discussion, and research writing skills.</p>				

Course Code	5140791	Term	A1A2	Credits	2
Course Title	Case Study (Empirical Development Microeconomics II)				
Faculties	TAKASAKI Yoshito				
Course Objectives/Overview	<p>The objective of this course (CS2) is to 1) to develop a research project on development; 2) to acquire skills to analyze micro data; and 3) to develop presentation, discussion, and research writing skills.</p>				

リサーチペーパー

Research Paper

研究論文

Thesis





Course Code	5150010	Term	通年	Credits	2
Course Title	リサーチペーパー				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>特定の課題について、文献、インタビュー、その他の調査を行い、その検討結果をまとめ、リサーチペーパーとして作成する。これを通じて、学生が特定の政策課題について調査し、問題を分析する力を養うとともに、これをペーパーとしてまとめ、表現する能力をつける。課題に応じて指導教員は、ペーパー作成に必要な助言を行う。提出されたペーパーについて審査委員による口述試験を通過して所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p> <p>You are to write a Research Paper on a specific topic based on your research findings through literature review, interviews or other researches. The Research Paper is meant to nurture both your analytical and presentation skills. The academic advisor will give advice relating to the topic of your research paper. The Research Paper submitted will be assessed by a panel of judges through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p>				

Course Code	5150011	Term	年度跨り	Credits	2
Course Title	Research Paper				
Faculties	Each Academic Advisor 各教員				
Course Objectives/Overview	<p>You are to write a Research Paper on a specific topic based on your research findings through literature review, interviews or other researches. The Research Paper is meant to nurture both your analytical and presentation skills. The academic advisor will give advice relating to the topic of your research paper. The Research Paper submitted will be assessed by a panel of judges through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p> <p>特定の課題について、文献、インタビュー、その他の調査を行い、その検討結果をまとめ、リサーチペーパーとして作成する。これを通じて、学生が特定の政策課題について調査し、問題を分析する力を養うとともに、これをペーパーとしてまとめ、表現する能力をつける。課題に応じて指導教員は、ペーパー作成に必要な助言を行う。提出されたペーパーについて審査委員による口述試験を通過して所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p>				

Course Code	5150020	Term	通年	Credits	6
Course Title	研究論文				
Faculties	各教員 Each Academic Advisor				
Course Objectives/Overview	<p>選定した特定の研究課題について、文献調査、インタビュー、資料分析、その他の綿密な調査と分析を行い、それに基づく研究成果をまとめ、これを研究論文として作成する。研究課題に応じて指導教員は、研究課題の確定及び課題に関する研究計画の策定等について助言を与え、研究方法や参考文献の指示、その他の助言等を行うことによって、学生の研究論文の作成を支援する。提出された研究論文に対して口述試験を行い、これを通過することによって所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p> <p>You are to write the Thesis on a selected specific topic based on your research findings through literature review, interviews, data analysis or other detailed research and analysis. The academic advisor will give advice on your research topic and research plan, supervise on research methods and academic references, as well as give other advices to assist student in the writing of the Thesis. The Thesis submitted will be assessed through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p>				

Course Code	5150021	Term	年度跨り	Credits	6
Course Title	Thesis				
Faculties	Each Academic Advisor 各教員				
Course Objectives/Overview	<p>You are to write the Thesis on a selected specific topic based on your research findings through literature review, interviews, data analysis or other detailed research and analysis. The academic advisor will give advice on your research topic and research plan, supervise on research methods and academic references, as well as give other advices to assist student in the writing of the Thesis. The Thesis submitted will be assessed through an oral examination, and upon passing of which will be awarded of relevant credits.</p> <p>Details will be posted on the bulletin boards etc.</p> <p>選定した特定の研究課題について、文献調査、インタビュー、資料分析、その他の綿密な調査と分析を行い、それに基づく研究成果をまとめ、これを研究論文として作成する。研究課題に応じて指導教員は、研究課題の確定及び課題に関する研究計画の策定等について助言を与え、研究方法や参考文献の指示、その他の助言等を行うことによって、学生の研究論文の作成を支援する。提出された研究論文に対して口述試験を行い、これを通過することによって所定の単位を与える。</p> <p>詳細については、別途掲示等で指示する。</p>				